

授業評価調査報告書

—よりよい授業への改善を目指して—

2013

四條畷学園短期大学

FD委員会

目次

1. 全体像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
2. 学科・コース別評価点分布・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
3. 自己点検報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

付表 「教員による自己点検報告書」
—学生による授業アンケート調査結果を受けて
2013 年度前期
2013 年度後期
《保育学科→ライフデザイン総合学科→総合福祉コースの順》

別紙 1. 2013 年度前期「授業についてのアンケート」実施要領
2. 自由記述用紙
3. 2013 年度前期「教員による自己点検報告書」(様式)
《実施要領、自己点検報告書の内容、様式は後期についても
実質同じであり、前期分だけを掲載》

2013 年度前期・後期授業評価アンケート調査報告

2011 年度前期から新しい方式で実施した授業評価アンケート（注1）も定着した感があるが、本報告書では 2013 年度前期および後期のアンケート調査結果の内容を取り上げる。

注1：マークシート方式のアンケートから、携帯電話（補完的に学内のパソコン）を使用してアンケートサイトにアクセスする Web 形式のアンケートに変更した。また、質問項目も大幅に変更したが、新しい質問項目は下記を、更にアンケート実施要領についても巻末に掲載しているので、それぞれ参照されたい。

1. 全体像

全体の結果は下記の表1「授業評価アンケート比較（2013 年度・2012 年度・2011 年度前期～後期）」の通りである。学科ごとにアンケートの質問事項に対してその評価点平均値を示している。授業内容が学科ごとに大きく異なることから、学科ごとに集計し、3 学科・1 コース全体（注2）での集計は意図的に避けている。2011 年度、2012 年度のデータに 2013 年度の結果を加えた体裁としている。

注2：2012 年度から介護福祉学科は、ライフデザイン総合学科「総合福祉コース」に改組した。2011 年度入学生は介護福祉学科にとどまるが、2012 年度生からは「総合福祉コース」に属している。本報告書ではこの介護福祉学科・総合福祉コースは本文、表ともに「介護」と表記している。

表 1 授業評価アンケート比較(2013年度・2012年度・2011年度前期～後期)

年度・期	学科	回答率	I			II-A				II-B		II-C	II-A 1～4 平均	II-B 1～2平 均	II-A/ II-B 平均 (*)
			1	2	3	1	2	3	4	1	2				
2013年度 前期	保育	57.8%	0.81	3.59	3.88	3.79	3.75	3.86	3.85	3.78	3.76	3.84	3.81	3.77	3.79
	ライフ	60.3%	1.28	3.79	4.06	4.08	3.98	4.19	4.15	4.15	4.05	4.15	4.10	4.10	4.10
	総合福祉	70.2%	0.70	4.03	4.16	4.32	4.27	4.38	4.32	4.29	4.30	4.39	4.32	4.30	4.31
2013年度 後期	保育	45.3%	1.41	3.58	3.72	3.78	3.74	3.85	3.85	3.84	3.83	3.90	3.80	3.83	3.82
	ライフ	56.0%	1.73	3.98	4.15	4.10	4.10	4.25	4.18	4.18	4.11	4.31	4.16	4.14	4.15
	総合福祉	79.4%	1.14	4.09	4.24	4.24	4.22	4.29	4.25	4.23	4.21	4.35	4.25	4.22	4.23
2012年度 前期	保育	53.9%	0.64	3.81	4.02	3.86	3.82	3.96	3.93	3.92	3.83	3.96	3.89	3.88	3.88
	ライフ	56.2%	1.34	3.82	4.05	4.08	4.04	4.19	4.10	4.21	4.02	4.18	4.10	4.10	4.10
	総合福祉	72.7%	0.67	3.57	3.95	3.94	3.91	3.99	3.94	3.94	3.90	4.01	3.94	3.92	3.93
2012年度 後期	保育	40.8%	1.12	3.73	3.92	4.02	3.95	4.11	4.05	3.98	3.99	4.08	4.03	3.99	4.01
	ライフ	51.0%	2.05	3.99	4.20	4.26	4.22	4.36	4.31	4.30	4.21	4.39	4.29	4.26	4.27
	総合福祉	69.6%	1.16	3.66	3.80	4.01	3.97	4.03	3.90	3.94	4.00	4.17	3.98	3.97	3.97
2011年度 前期	保育	59.0%	0.90	3.66	3.93	3.83	3.82	3.92	3.89	3.94	3.84	3.97	3.86	3.89	3.88
	ライフ	67.2%	1.12	3.81	4.06	4.17	4.16	4.26	4.25	4.27	4.10	4.25	4.21	4.19	4.20
	介護	69.1%	0.78	3.36	3.68	3.98	3.94	3.95	3.93	4.00	3.93	4.04	3.95	3.97	3.96
2011年度 後期	保育	42.0%	1.59	3.68	3.96	4.14	4.14	4.21	4.15	4.19	4.17	4.24	4.16	4.18	4.17
	ライフ	60.4%	1.48	3.87	4.16	4.31	4.24	4.40	4.35	4.37	4.28	4.37	4.33	4.33	4.33
	介護	68.9%	1.06	3.51	3.72	3.90	3.92	4.01	3.92	3.99	3.98	4.17	3.94	3.98	3.96

・数値は授業科目ごとの結果を単純平均したもの。

* II-A 1～4平均とII-B 1～2平均

・授業科目ごとに担当教員に還元しているグラフ入りの結果では平均は項目ごとの平均で授業科目の枠を取り払って算出している。

のさらに平均をとったもの

I は学生が授業評価を行うに当たってまず自分自身の受講態度を振り返るために設けた質問項目である。このような導入プロセスを踏むことで授業評価に真摯に取り組む姿勢を助長することを狙ったものである。(注3)

注3:「自己点検報告書」では、一部の教員の間でこのIの点数も学生の授業評価の対象と理解されている向きがあったが、FD委員会としては、このデータは参考として捉えている。

II が授業評価の中心となるものだが、教員の姿勢（授業の「教え方」）についての質問項目（II-A）と授業の内容（授業の「中身」）についての質問項目（II-B）に大きく分かれる。

次に、新方式のアンケートでは授業全体の総合評価を II-C として独立させている。

質問項目は次の通りである。

授業評価アンケート項目

あなたの授業への取り組み姿勢について評価して下さい。

1. あなたのこの授業の欠席回数を選択して下さい。

0回・1回・2回・3回・4回・5回

2. 授業中に私語、メール、居眠りなどしませんでしたか。

そう思わない（私語などした）・あまりそう思わない ・ どちらでもない ・
ややそう思う ・ そう思う（私語などしなかった）

3. 授業中、勉学に集中していると思いますか。

そう思わない ・ あまりそう思わない ・ どちらでもない ・ ややそう思う ・ そう思う

教員の取り組み姿勢と授業内容について評価して下さい。

A) 教員の姿勢（授業の「教え方」）

1. 教員の話し方は聞きとりやすかった（声の大きさ、スピードなど）。

そう思わない ・ あまりそう思わない ・ どちらでもない ・ ややそう思う ・ そう思う

2. 内容が理解できるように授業が工夫されていた

（テキスト、プリント、板書、スライド、視聴覚教材、実演など）。

そう思わない ・ あまりそう思わない ・ どちらでもない ・ ややそう思う ・ そう思う

3. 教員は、学生の質問や発言に適切に対応していた。

そう思わない ・ あまりそう思わない ・ どちらでもない ・ ややそう思う ・ そう思う

4. 教員は、学生の私語を注意し、勉強しやすい環境を作っていた。

そう思わない ・ あまりそう思わない ・ どちらでもない ・ ややそう思う ・ そう思う

B) 授業の内容（授業の「中身」）

1. シラバスに書かれた授業目標を達成するのに、適した授業内容だった。

そう思わない ・ あまりそう思わない ・ どちらでもない ・ ややそう思う ・ そう思う

2. 授業内容は理解しやすかった。

そう思わない ・ あまりそう思わない ・ どちらでもない ・ ややそう思う ・ そう思う

C) 総合評価

良くなかった ・ あまり良くなかった ・ どちらともいえない ・

やや良かった ・ 良かった

各教員にはこの II-C までの数字が還元されているが、表 1 では II-A の中の項目 1~4 の単純平均および II-B の中の項目 1~2 の単純平均を算出している。授業の教え方と授業の自身とで評価に差がないかを見るためのものである。そして最終的にこの II-A の平均と II-B の平均のさらに単純平均をとったのが II-A/II-B 平均である。この数値と II-C を比較することで、総合評価の数字の出方の傾向を見ようと試みたものである。

尚、表 1 では回答率というデータを提供しているが、これは授業ごとの有効回答数を当該授業の受講者人数（アンケートを行う時点での UNIPA での履修登録人数）で割って得られる百分率の形で示している。主に携帯電話でアンケートを行う方式としていることの副作用としてマークシート方式でのアンケートに比べて回答率の低下が顕著にみられることから、このデータを算出している。履修登録人数には失格者やアンケート実施日に欠席した学生も含まれており、これらの学生にはアンケートを実施していないため、回答率は実際より過小評価される傾向がある。

こうした理解をした上で、表 1 をグラフ化したものが図 1 である。各学科・コースごとに前期、後期に分けて年度ごとのデータをグラフにした。

図 1 授業評価アンケート比較 (2011 年度～ 2013 年度)



学科ごとに見ていくと次のように言える。

- ① 保育学科 (以下、「保育」と略す) では、2013 年度は 2012 年度に比べ前期、後期ともに評価が低下した。前期については、II-A/II-B 平均 (項目ごとの評価平均値) が 2012 年度、2011 年度ともに 3.88 に対して、2013 年度は 3.79 に低下。一方後期は、II-A/II-B 平均が 2011 年度 4.17、2012 年度 4.01、2013 年度 3.82 と低下傾向が顕著である。後期はこれまで前期より評価が高かったが、2013 年度はほぼ同一水準となったことが特記事項としてあげられる。
- ② ライフデザイン総合学科 (以下、「ライフ」と略す) では、2013 年度前期の評価点は 2012 年度前期と比較すると同一水準であった。2011 年度前期と比較するとやや低下している。II-A/II-B 平均では 2011 年度 4.20 に対して 2012 年度、2013 年度ともに 4.10 となっている。後期に関しては、2013 年度は II-A/II-B 平均は 4.15 となり、2011

年度 4.33、2012 年度 4.27 からさらに低下している。保育と同様に後期の方が前期より高い傾向が 2013 年度は崩れ、ライフでも評価が同一水準に近づきつつある。

- ③ 介護福祉学科・総合福祉コース（以下、「総合福祉」と略す）では、前、後期共に 2013 年度は 2012 年度比、評価が大幅にアップした。2011 年度、2012 年度の 2 年間はほとんど同じ評価となっていたことから比べると特筆すべき結果となっている。II-A/II-B 平均では、前期は 2013 年度 4.31、2012 年度 3.93、2011 年度 3.96。後期は同じく、4.23、3.97、3.96 という評価である。前、後期の比較では、2013 年度は前期のほうが後期より評価が若干上回っていることも従来の傾向と異なる点として指摘できる。

尚、2011 年度、2012 年度と同様に 2013 年度に関しても学科間で次のことが共通して言える。

- ① II-A 1～4 平均と II-B 1～2 平均の間には大きな差がない。
- ② II-C は II-A/II-B 平均（項目ごとの評価平均値）より大きい、すなわち総合評価は個別項目の評価より高くなる傾向が見られる。

一方、回答率については、表 1 に依拠すると学科別に次の事が言える。

- ① 保育では、前期に比べ後期が低い傾向がはっきりしているが、2013 年度は 2011 年度、2012 年度に比べ同じ傾向を示しつつ、回答率の水準が 2013 年度は後期については 2012 年度の回答率 40.8%から 45.3%に反転、また前期についても 2012 年度の 53.9%から 57.8%に上昇した。
- ② ライフでも、前期と後期間の関係では保育と同じ傾向が見られるが、2012 年度に見られた回答率の下落は 2013 年度では見られず、前期、後期ともに回答率はそれぞれ、56.2%から 60.3%、51.0%から 56.0%に上昇した。
- ③ 総合福祉では、2013 年度前期は 2011 年度、2012 年度より若干高い程度の回答率の上昇が見られたが、2013 年度後期は回答率が 79.4%と大幅に上昇した。保育、ライフに比べ圧倒的に高い回答率水準がさら引き上げられた。

2. 学科・コース別評価点分布

個別の授業科目の評価結果をリストアップすることはできないが、評価点を一定のバンドで分類し階層化したデータは各教員がその担当授業科目の評価を全体と比較する上で参考に資するものと判断し、表 2-1、2-2、2-3「学科・コース別評価点分布」のようにまとめた。これも年度間の比較ができるよう 2011 年度～2013 年度のデータを表にしている。更に、これをグラフ化した図もその後に付け加えた。

表 2-1 学科・コース別評価点分布 (2011 年度)

学科	評価点	2011年度前期		2011年度後期	
		授業科目数	授業科目数構成比率	授業科目数	授業科目数構成比率
保育	4.50～5.00	4	4.7%	19	22.9%
	4.25～4.49	13	15.1%	18	21.7%
	4.00～4.24	18	20.9%	19	22.9%
	3.75～3.99	17	19.8%	17	20.5%
	3.50～3.74	19	22.1%	8	9.6%
	3.25～3.49	10	11.6%	1	1.2%
	3.00～3.24	4	4.7%	0	0.0%
	3.00未満	1	1.2%	1	1.2%
	計	86	100.0%	83	100.0%
ライフ	4.50～5.00	17	18.3%	37	41.1%
	4.25～4.49	30	32.3%	19	21.1%
	4.00～4.24	21	22.6%	16	17.8%
	3.75～3.99	14	15.1%	7	7.8%
	3.50～3.74	5	5.4%	8	8.9%
	3.25～3.49	5	5.4%	2	2.2%
	3.00～3.24	1	1.1%	0	0.0%
	3.00未満	0	0.0%	1	1.1%
	計	93	100.0%	90	100.0%
介護	4.50～5.00	0	0.0%	1	4.2%
	4.25～4.49	2	6.7%	3	12.5%
	4.00～4.24	13	43.3%	8	33.3%
	3.75～3.99	8	26.7%	7	29.2%
	3.50～3.74	6	20.0%	2	8.3%
	3.25～3.49	1	3.3%	2	8.3%
	3.00～3.24	0	0.0%	1	4.2%
	3.00未満	0	0.0%	0	0.0%
	計	30	100.0%	24	100.0%

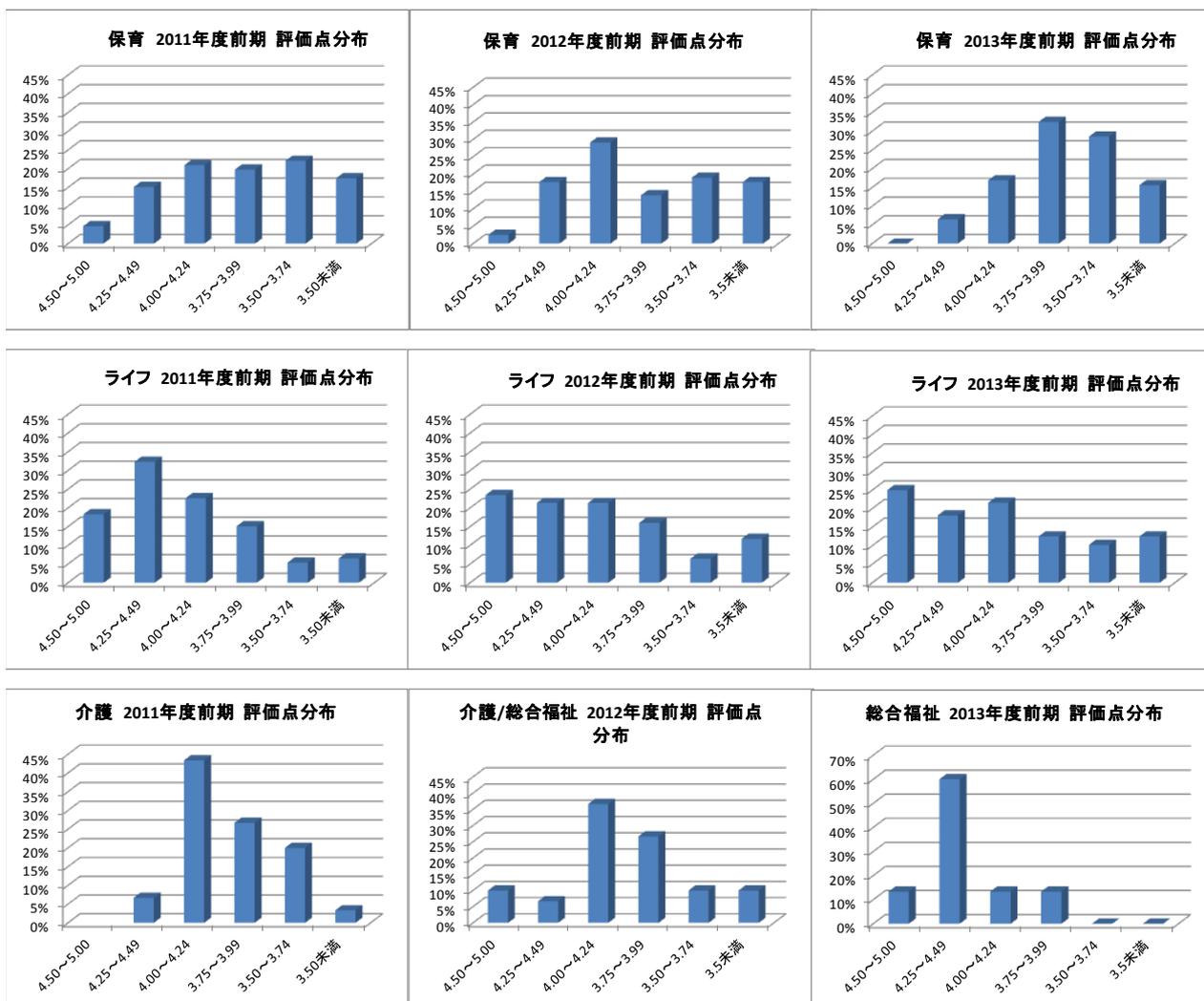
表 2-2 学科・コース別評価点分布 (2012 年度)

学科	評価点	2012年度前期		2012年度後期	
		授業科目数	授業科目数構成比率	授業科目数	授業科目数構成比率
保育	4.50～5.00	2	2.5%	6	8.2%
	4.25～4.49	14	17.7%	17	23.3%
	4.00～4.24	23	29.1%	17	23.3%
	3.75～3.99	11	13.9%	16	21.9%
	3.50～3.74	15	19.0%	10	13.7%
	3.25～3.49	8	10.1%	4	5.5%
	3.00～3.24	5	6.3%	2	2.7%
	3.00未満	1	1.3%	1	1.4%
	計	79	100.0%	73	100.0%
ライフ	4.50～5.00	22	23.4%	35	38.9%
	4.25～4.49	20	21.3%	20	22.2%
	4.00～4.24	20	21.3%	17	18.9%
	3.75～3.99	15	16.0%	7	7.8%
	3.50～3.74	6	6.4%	5	5.6%
	3.25～3.49	6	6.4%	4	4.4%
	3.00～3.24	2	2.1%	1	1.1%
	3.00未満	3	3.2%	1	1.1%
	計	94	100.0%	90	100.0%
介護/ 総合福祉	4.50～5.00	3	10.0%	2	7.7%
	4.25～4.49	2	6.7%	6	23.1%
	4.00～4.24	11	36.7%	8	30.8%
	3.75～3.99	8	26.7%	3	11.5%
	3.50～3.74	3	10.0%	5	19.2%
	3.25～3.49	2	6.7%	0	0.0%
	3.00～3.24	0	0.0%	0	0.0%
	3.00未満	1	3.3%	2	7.7%
	計	30	100.0%	26	100.0%

表 2-3 学科・コース別評価点分布 (2013 年度)

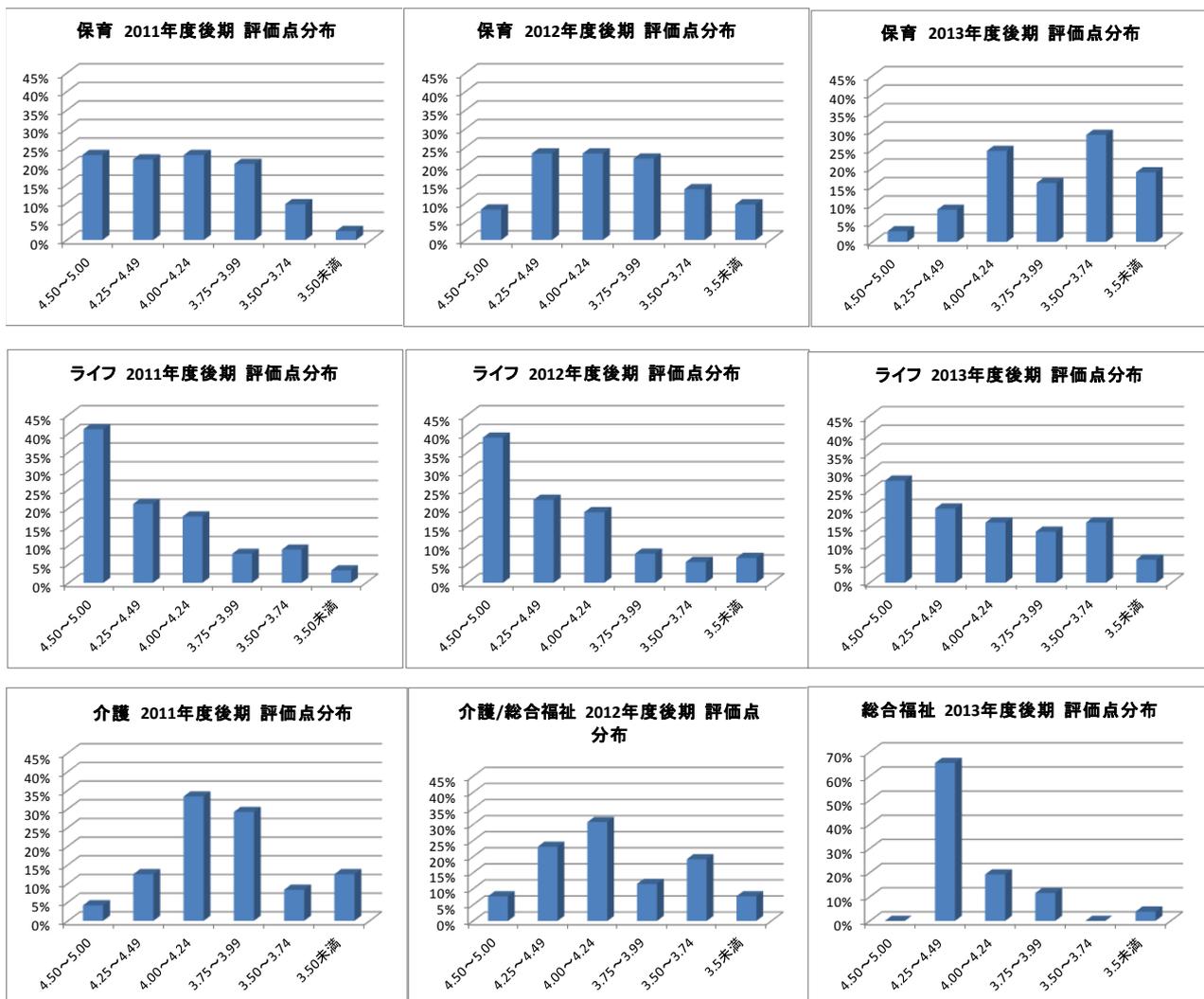
学科	評価点	2013年度前期		2013年度後期	
		授業科目数	授業科目数 構成比率	授業科目数	授業科目数 構成比率
保育	4.50～5.00	0	0.0%	2	2.9%
	4.25～4.49	5	6.5%	6	8.7%
	4.00～4.24	13	16.9%	17	24.6%
	3.75～3.99	25	32.5%	11	15.9%
	3.50～3.74	22	28.6%	20	29.0%
	3.25～3.49	10	13.0%	12	17.4%
	3.00～3.24	2	2.6%	0	0.0%
	3.00未満	0	0.0%	1	1.4%
	計	77	100.0%	69	100.0%
ライフ	4.50～5.00	22	25.0%	22	27.5%
	4.25～4.49	16	18.2%	16	20.0%
	4.00～4.24	19	21.6%	13	16.3%
	3.75～3.99	11	12.5%	11	13.8%
	3.50～3.74	9	10.2%	13	16.3%
	3.25～3.49	5	5.7%	1	1.3%
	3.00～3.24	3	3.4%	2	2.5%
	3.00未満	3	3.4%	2	2.5%
	計	88	100.0%	80	100.0%
総合福祉	4.50～5.00	4	13.3%	0	0.0%
	4.25～4.49	18	60.0%	17	65.4%
	4.00～4.24	4	13.3%	5	19.2%
	3.75～3.99	4	13.3%	3	11.5%
	3.50～3.74	0	0.0%	0	0.0%
	3.25～3.49	0	0.0%	0	0.0%
	3.00～3.24	0	0.0%	1	3.8%
	3.00未満	0	0.0%	0	0.0%
	計	30	100.0%	26	100.0%

図 2-1 評価点分布（前期）



注 3 総合福祉 2013 年度前期分だけ縦軸のパーセンテージの最大値を 70%としている。

図 2-2 評価点分布（後期）



注 4 総合福祉 2013 年度後期分だけ縦軸のパーセンテージの最大値を 70%としている。

3. 自己点検報告書

授業毎に学生によるアンケート評価結果を担当教員に還元しているが、従来通り、この結果に対して担当教員がアンケート結果をレビューし、授業改善に取り組むFD活動の実践を自己点検報告書の作成の形で行っている。前期、後期とに分けて、授業科目コード順（保育、ライフ、介護・総合福祉での開講科目順）に以下の通り、この自己点検報告書内容を掲載している。

この自己点検報告書の内容については、授業を担当している各教員のレビューの内容を他の教員も授業改善の参考としてご覧いただくこととして、本報告書ではコメントは差し控えたい。

以上

付表:「教員による自己点検報告書」
 ー学生による授業アンケート調査結果を受けてー

2013年度前期 保育学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
子ども文化Ⅰ (音楽)	大森由美子	学生の取り組む姿勢については学内平均を下回っているが、授業内容については予想以上に良い評価を頂いた。	楽しかった・充実していたという前向きな感想が多かった。	この授業で習得したことを礎に後期(11月)の「こどもげきじょう」につながるよう、授業内容を吟味する必要がある。	1	1	1
子ども文化Ⅱ (腹話術)	谷本丹津子	丁寧な指導ができ学生それぞれがかなりのレベルまでマスターしたと思うのでこの評価に満足している。	恥ずかしさを乗り越え人前に立つ自信がついた、機会があれば教育実習などで試してみたいとの前向きな意見が多かったので喜ばしく思っている。	ハードルを上げてもついてくる学生がいることがわかったので個々人の能力をよく把握してそれに応じた指導をしていきたい。	0	0	1
日本国憲法と人権	曾和信一	総合評価において、学内平均よりも私の授業平均の方が上回っているものの、授業中の私語や勉強の集中について、それが下回っている。	授業に関して、その内容が難しく理解できなかったという複数の回答があった。	授業中の私語への注意喚起と勉強への集中とが相まって、授業内容への理解の深まりの前提となるものであり、その注意喚起と集中に取り組んでいきたいと思う。	1	1	1
日本国憲法と人権	曾和信一	教員の取り組み姿勢と授業内容について、すべての項目で学内平均よりも高い評価を受けたが、授業中の私語や勉強への集中度を問う項目は、授業平均が学内平均をやや下回っている。	授業内容についてのそれなりの理解ができるという意見が見られ、学生が積極的に授業に臨んでいることがわかった。	授業への集中度を高めていくために、平易な表現と深い内容の理解に心掛けていきたいものである。	1	1	1
英語 (英会話A) (4・5・6組)	伊藤紀美江	2時間目というだけで1時間目よりも授業はしやすいが、それでも去年に比べて大変クラスのマネージメントがしにくくなった気がする。それが評価にも表れていると思う。	自由に記述してくれる学生は好意的なものばかりで救われた。	英語はやはりどうしても必修にしないといけないのでしょうか。他大学の科目に口出しすることは大変失礼だと思うのですが、英語がどうしても嫌な学生への逃げ道として日本語表現などの選択肢があれば、とは思います。もし無理であってもせめて大雑把でも習熟度別にして頂くか、人数をもう少し少なめに設定して頂くとかなどの措置は無理でしょうか。失礼なコメントで申し訳ございません。担当していても効果があまり期待できないことを痛切に感じております。(力不足と言われればそれまでなのですが)	1	0	0
英語 (英会話A) (1・2・3組)	伊藤紀美江	月曜日1時間目の資格とは関係ない必修科目の演習は正直大変しんどいです。去年よりも人数が増えたこともあるかもしれませんが、教科書も内容も変えていないのに、今までに無い厳しい評価でしたし、常に態度の悪い学生には悩まされました。(結局は以前から全く英語は理解していないということも分かってきましたが)	自由に記述してくれる学生は好意的なものばかりで救われた。	同上	1	0	0

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
情報基礎	柳本 哲	全体に学内平均より高く、いい評価となった。前年度の反省より、改善すべく心掛けた結果といえそう。遅刻、欠席は昨年同様に多い傾向にあったが、評価には影響しなかったようだ。	ピアノの後なので指が疲れる。説明が速いときがある。前のスクリーンが見えにくいつきがある。わかりやすかった。上達した。	説明をなるべくゆっくりして理解状況を確認するようにする。個別指導での理解促進をはかる。スクリーン表示ができるだけ見やすくなるように工夫する。	1	1	1
情報基礎	柳本 哲	全体に学内平均よりやや低い評価となった。前年度の反省より、改善すべく心掛けたが、1限目の授業で、遅刻者、欠席者も入れ替わりよくあったことが影響しているのではないかと考えられる。	特に記述なし (記述を促さなかったため?)	欠席(遅刻)しないように促す。	0	0	1
情報基礎	柳本 哲	全体に学内平均よりやや低い評価となった。前年度の反省より、改善すべく心掛けたが、この4限目では疲れている学生も多く、私語や居眠りが見られる場面もあったからかもしれない。	進むのがはやい。エクセルが難しい。10分入力が苦手。ためになった。	説明をなるべくゆっくりして理解状況を確認するようにする。個別指導での理解促進をはかる。スクリーン表示ができるだけ見やすくなるように工夫する。	1	1	1
情報基礎	柳本 哲	全体に学内平均より高く、いい評価となった。前年度の反省より、改善すべく心掛けた結果といえそう。遅刻、欠席はほとんどないが、仲良しグループでの私語は多い。	難しかった。はやい時がたまにある。ワードは楽しいが、エクセルは難しい。先生が2人いて聞きやすい。	説明をなるべくゆっくりして理解状況を確認するようにする。個別指導での理解促進をはかる。スクリーン表示ができるだけ見やすくなるように工夫する。	1	1	1
保育者 キャリア 支援演習A (1・2・3組)	合田 誠	全体的に学内平均よりほぼ全ての項目が下回る結果となった。過去この授業では初めての現象である。授業内容は過去とほぼ同様の内容となっているにもかかわらず、この結果となった理由が現在のところ不明である。	自由記述に関しては、現場の園長先生(幼稚園、保育園、児童養護施設)の話が聞けて大変参考になった等の記述があった。	前述したように、過去の授業内容を変更していないが、学内平均を下回るといふ初めての結果となった原因を探る必要がある。	1	1	1
保育者 キャリア 支援演習A (4・5・6組)	合田 誠	全体的に学内平均より全ての項目が下回る結果となった。過去この授業では初めての現象である。授業内容は過去とほぼ同様の内容となっているにもかかわらず、この結果となった理由が現在のところ不明である。	自由記述に関しては、現場の園長先生(幼稚園、保育園、児童養護施設)の話が聞けて大変参考になった等の記述があった。	前述したように、過去の授業内容を変更していないが、学内平均を下回るといふ初めての結果となった原因を探る必要がある。	1	1	1
言葉と表現 1 (1・2・3組)	工藤真由美	授業内での文章作成などの到達度が学生によりばらつきがあり、早く作成し終える学生と、いつまでも仕上がらない学生との進捗調整が難しく、集中力を書いた結果となった感がある。一考の余地あり。	比較的文章作成に苦手意識のない学生からは概ね好評を得た。作文嫌いなどのように対処するかは大きな課題である。	レベル別だが作成時間を統一できるような内容、教材の研究が不可欠と感じた。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力して下さい		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
言葉と表現 1 (4・5・6組)	工藤真由美	授業内での文章作成などの到達度が学生によりばらつきがあり、早く作成し終える学生と、いつまでも仕上がらない学生との進捗調整が難しく、集中力を書いた結果となった感がある。一考の余地あり。	比較的文章作成に苦手意識のない学生からは概ね好評を得た。作文嫌いにどのように対処するかは大きな課題である。	レベル別だが作成時間を統一できるような内容、教材の研究が不可欠と感じた。	1	1	1
音楽 I (Aクラス)	久保雅世	学内平均とほぼ同じ、4に近い評価を得ることができた。特に教員の取り組み姿勢と授業内容の項目で、そう思うの高評価を多くの学生から頂けた点は、良かったと思う。	授業に対して良かったという内容の感想も頂いたが、学生が有意義な時間を過ごせるよう、さらなる工夫や努力が必要だと感じた。	今年度は、昨年度より高い評価を得ることができた。実技の取得には時間がかかり、授業外での練習が不可欠である。学生にとっては大変な授業であると思うが、保育現場に通用する技術を身に付けていくことで、学生自身も満足できる指導を心がけたい。	1	1	1
音楽 I (Bクラス)	森脇由紀	学生の勉学に集中している項目で学内平均を上回ったのは、授業に対するやる気意識がある、という意味で良かった。授業内での課題は難しいものとなっており、学生の理解、意識改革、習得にはさらに教員の努力が必要といえる。	課題が難しい、課題の量が多い等の意見があった。	複数の教員で担当する授業なので、教員間での話し合いを深めたい。学生のやる気を引き出し、将来実際の現場で役立つ授業内容とするために必要な課題になるよう授業内容を精査し、学生には前向きに取り組んでもらえるよう、授業づくりを進めていかなければいけない。	1	1	1
音楽 I (学保1 クラス)	麴谷さつき	学生の授業への取り組み姿勢についての評価は、学内平均を上回っているのに対し、教員の取り組みの評価は、いずれの項目も平均より下回った結果となった。		ピアノ実技の実力向上のために、課題も少しハードな内容にしてきたが、上級者、中級者の実力アップにつながっているように思う。今後の指導目標は、初級者への教材活用を更に工夫し実力アップに繋げたい。また、苦手意識のある学生の普段の練習についての指導も工夫したい。	1	1	1
音楽 I (学保2 クラス)	森 麻希子	学生の授業への取り組み姿勢については、学内平均に近い値となったが、殆どの項目で学内平均を大きく下回る結果となった。なかでも、「どちらでもない」を回答した学生が多く見受けられる。普段、私語が多い印象を受けるが、取り組もうと努力する姿勢が感じられる結果だった。	声楽の時間に1年生が騒がしい、授業の待ち時間に練習がしたい、お互いのレッスンを聴講するのは嫌だ、という意見の他に、歌曲の由来を教えてほしい、という前向きな意見があった。	お互いに聴講すると、それぞれがどのように指導されているか、曲によってどう演奏すれば良いか、第3者の目で見て気づく事もあるので、他の視点からもレッスンが受けられるように指導ができれば良かったと思う。学生らが前向きに取り組んでいけるように、努めたい。	1	1	1
音楽 II (1・2組)	小齊由美	予想以上により評価だったが、全体的に学内平均を下回る結果となり、改善点が多々あることを痛感した。	試験の課題が多い、授業の待ち時間を有効に使いたい等の意見があった。	授業の理解度を深めるため 教材や説明に工夫を凝らしながら、学生一人一人の授業が有意義な授業になるように努めたい。	1	1	1
音楽 II (3・4組)	木谷祐子	一つ一つの項目を細かく見ると、良い評価の占める割合が高いものの、平均をとると、学内のものよりも低い評価となっており、学生の受け取り方にばらつきがあることがうかがえた。	個人レッスンの待ち時間に、電子ピアノのある部屋で自習をして待ちたいとの意見が多数あった。	課題の量について、短期間でこなす量が多く、どれも中途半端になり、何かから手をつけていいか分からなくなるとの意見が心にひっかかった。同じ量でも、学生が見通しを立てて、やる気を維持して取り組めるように、工夫したいと思う。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力して下さい		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
音楽Ⅱ (5・6組)	島長恵美	学生側の取り組み姿勢については、積極的に授業に臨んでいる様子が伺えた。一方、教員の取り組み姿勢に対する評価は、学年平均に近い項目が多かったが、「学生の質問や発言に適切に対応していた」の項目で「そう思わない」とした学生が2割余りを占め、「授業内容は理解しやすかった」ものの「学生が本当に教えて欲しいこと」に届いていない面があったのかもしれないと、今後の参考になった。	ピアノの個人レッスンを受ける順番を待っている時間に、ローランド(理論講義室の電子ピアノ)を使って各自で練習ができるようにしてほしいという希望が、多数あった。	今年度は、童謡の課題曲を“保育の現場で役立つよう各学生が自分で考えて組み立てる”という方法も取り入れたためか、「課題が多い」という声を聞くことが例年よりは少なかったようにも思える。卒業後に現場で通用するための個々の実力を確実に高めていけるよう、そして総合評価として「どちらともいえない」ではなく「良かった」が増えるよう、さらに努めていきたい。	1	1	1
図工Ⅰ	服部正志	忘れ物と、欠席者が多かった。この点での改善は昨年同様に、毎授業での確認作業を怠らなければならぬ。	時間内に仕上げているが、もう少し丁寧に作れば良かったという反省があった。	上手・下手という考えではなく、自分らしく精一杯に、責任を持って取り組むことを繰り返し伝える。	1	1	1
図工Ⅰ	服部正志	他人と比べてしまい、挑戦ではなく、無難に仕上げる学生が目立った。	じっくりと時間をかけて作っていたという意見が印象的であった。	学生自身が、将来現場でどう発案し、行動するかということをもっと意識させることが重要だと改めて感じた。こなす作業ではなく、知識・経験を蓄える意識改革。	1	1	1
図工Ⅰ	香月欣浩	毎年、内容や授業の進め方を改善しているが評価にはそれが出ていない。	楽しかった。ためになったという感想が多かったが具体性にかけているのであまり参考にならないものがほとんどだった。	ためになる授業内容と学生の評価はすべて一致するとは思わないが、達成感を感じ、将来に役立つ時間になるように今後も改善していきたい。	1	1	1
図工Ⅰ	香月欣浩	授業中の声の大きさや分かりやすさで、もう一方のクラスデータよりも数値が良かった。原因を分析してみたい。	楽しかった。ためになったという感想が多かったが具体性にかけているのであまり参考にならないものがほとんどだった。	ためになる授業内容と学生の評価はすべて一致するとは思わないが、達成感を感じ、将来に役立つ時間になるように今後も改善していきたい。	1	1	1
生活Ⅰ (1・2・3組)	長谷秀揮	総合評価をはじめ、全ての項目の評価が学内平均を上回った。特に教員の姿勢については、かなり高い評価結果となった。	授業が楽しかった分かりやすかった、との意見が多数あった。板書についても、ノートしやすかったという意見が多かった。	視聴覚教材の活用等も含め、学生の理解しやすい授業内容となるように、さらなる工夫、改善に努めていきたい。	1	1	1
生活Ⅰ (4・5・6組)	長谷秀揮	総合評価及び授業内容は学内平均より少し高い評価だった。しかし他のほとんどの項目では若干だが学内平均を下回った評価結果となった。	ノートが大変だったとの意見が少しあった。書くことの大切さや意義についての学生の理解をさらに深めることの必要性を感じた。	授業内容の理解の項目は、高い評価結果だったが、教員の姿勢については評価にばらつきが見られたので、話し方をはじめ、一層、工夫改善に努めていきたい。	1	1	1
教育原理 (1・2・3組)	工藤真由美	難しい原理の内容をできるだけ噛み砕こうとした結果、質問などを多く丁寧に受ける時間をとったことに対して、高い評価を頂け、良かった。	テキスト以外のエピソードなどにより、授業内容に教務が持たという指摘があり、今後も取り入れていきたい。	わかりやすく講義内容のレベルダウンをしないことの両立は年々難しさを増しているが、さらに教材研究を重ねたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
教育原理 (4・5・6組)	工藤真由美	難しい原理の内容をできるだけ噛み砕こうとした結果、質問などを多く丁寧に受ける時間をとったことに対して、高い評価を頂け、良かった。	テキスト以外のエピソードなどにより、授業内容に教務が持てたという指摘があり、今後も取り入れていきたい。	わかりやすく講義内容のレベルダウンをしないことの両立は年々難しさを増しているが、さらに教材研究を重ねたい。	1	1	1
保育原理 (1・2・3組)	美越芳枝	総合評価で初めて平均に達した。教え方等に昨年と変化はないのであるが、基礎的なものに重点を置いたのが良かったのかもしれない。	プリント等があり、とても分かり易くて良かった。授業が楽しかった。という意見が多数あった。 中間に小テストをしたのが良かったという感想もあった。しかし、進めるのが早いという意見もあった。	授業内容についていけない生徒とそうでない生徒との差がある。授業の理解ができない生徒の傾向は、姿勢も悪く、集中していない場面が多くあり注意をするが効果なし。教科書等の忘れが目立つ。どこに焦点を当てるのか今後の課題となる。	1	1	1
保育原理 (4・5・6組)	美越芳枝	上記のクラスと教え方等になら変化はないのであるが、総合評価では平均より下回っている。授業の時間帯、クラスの雰囲気等で評価が異なるのが面白い。	上記クラスと同じく、プリント等があり、とても分かり易くて良かった。授業が楽しかった。という意見が多数あったが、進めるのが早いという意見や板書をして欲しいという意見もあった。	授業内容についていけない生徒とそうでない生徒との差がある。授業の理解ができない生徒の傾向は、姿勢も悪く、集中していない場面が多くあり注意をするが効果なし。教科書等の忘れが目立つ。どこに焦点を当てるのか今後の課題となる。	1	1	1
発達心理学 I (1・2・3組)	鍛冶谷静	昨年度とほぼ変わらない評価であるが、「学生の質問や発言への対応」の評価が少々低い。	好意的なコメントが多いが、否定的な感想をもった学生はそもそも白紙提出かもしれない。	ためになる授業だったとのコメントは、より一層授業の内容を充実させようとモチベーションが上がる。講義ではあるが、学生とのやりとりができるような時間の導入も検討してみたい。	1	1	1
発達心理学 I (4・5・6組)	鍛冶谷静	昨年度も同様であったが、同じ科目であるのにクラスによって評価に差がある。このクラスの評価は平均を下回った。	試験を持ち込み可にしてほしい学生が数名。授業内容の量が多すぎるのか。	今年は学生の質がクラスによって違うという印象があまりなかっただけに、評価の差が気になる。学生の理解度を授業中にしっかり見られる方法を考えたい。	1	1	1
幼児臨床心理学 (1・2組)	鍛冶谷静	昨年度と比べ、クラス人数が小規模になり学生の反応が良く見えた。内容を整理し、パワポのリニューアルも行った。全体的には良い評価であるが、教員がねらった「理解のしやすさ」が低いのが残念。	事例や教員の現場経験の話が勉強になったとのコメントが数名あった。	学生にコメントを求める課題をいくつか出したが、少々難しかったようである。段階的に子どもの行動に対して理解を深められるような発問を工夫したい。	1	1	1
幼児臨床心理学 (3・4組)	鍛冶谷静	3クラスのうち、一番評価が低い。学生によって興味・関心の度合いの差が一番大きいクラスだったのかもしれない。	コメントは好意的。	全体的な雰囲気はそこそこ悪くない中で、授業がツマラナイ、と感じている学生に目を向けるのは教員として必要だと思うがなかなか難しく、課題と受け止めている。	1	1	1
幼児臨床心理学 (5・6組)	鍛冶谷静	有効回答数も多く、評価も高い。	静かな環境で授業に集中できたとのコメントが散見された。眠くなってしまった学生もいたようだが。	心理学に興味・関心が高い学生が多かったように感じている。学生のコメントをもっと生かして議論を深めることが可能だったかもしれない。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
子どもの保健Ⅰ (1・2・3組)	佐藤とみ子	全体的に学内平均評価を下回った。しかし授業の教え方や内容においては半数以上が4や5の評価をしていた。今後授業方法は継続しながら、学生全体に行き渡るような授業のあり方を工夫したい。	板書する場所が固定せず読みにくかったとの意見が少数あった。	今後授業方法は継続しながら、読みやすい理解しやすい板書の工夫も含めて、学生全体に行き渡るような授業にしていきたい。	1	1	1
子どもの保健Ⅰ (4・5・6組)	佐藤とみ子	全体的に学内平均評価を下回った。しかし授業の教え方や内容においては半数以上が4や5の評価をしていた。今後授業方法は継続しながら、学生全体に行き渡るような授業のあり方を工夫したい。	板書する場所が固定せず読みにくかったとの意見が少数あった。	今後授業方法は継続しながら、読みやすい理解しやすい板書の工夫も含めて、学生全体に行き渡るような授業にしていきたい。	1	1	1
子どもの保健Ⅱ (1・2組)	上村聡子	学生のレジネスに配慮し、授業内容を検討・修正したが、内容の理解にはつながらなかった。実技演習を教員一人で対応することは、かなり難しいのではないかと感じています。	教科書に沿った進め方のため、わかりやすかったという意見と、わかりにくかったという意見の両方が見られた。穴埋めのプリントを配布して欲しいという意見が多かった。働き始めてからためになる授業内容であった、演習が多くて楽しかった、具体的な事例の提示があり解りやすかった、という意見が合った。	今年度で終了	1	1	1
子どもの保健Ⅱ (3・4組)	上村聡子	学生のレジネスに配慮し、授業内容を検討・修正したが、内容の理解にはつながらなかった。実技演習を教員一人で対応することは、かなり難しいのではないかと感じています。	教科書に沿った進め方のため、わかりやすかったという意見と、わかりにくかったという意見の両方が見られた。穴埋めのプリントを配布して欲しいという意見が多かった。難しかったという意見が多かった。演習が多くて楽しかった、具体的な事例の提示があり解りやすかった、という意見が合った。私語の多い学生への注意が甘いという意見が見られた。	今年度で終了	1	1	1
子どもの保健Ⅱ (5・6組)	上村聡子	学生のレジネスに配慮し、授業内容を検討・修正をしたためか、内容の理解につながっているようだ。実技演習を教員一人で対応することは、かなり難しいのではないかと感じています。ただ、このクラスは、演習に参加する学生が多く、授業中の質問も多かった。同じ授業内容で、後の2クラスと差が出ているのは、学生のレジネスによるものと思われる。	教科書に沿った進め方のため、わかりやすかったという意見と、わかりにくかったという意見の両方が見られた。穴埋めのプリントを配布して欲しいという意見が多かった。演習が多くて楽しかった、具体的な事例の提示があり解りやすかった、一人ひとりに丁寧な対応が良かったという意見が合った。私語の多い学生への注意が甘いという意見が見られた。	今年度で終了	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力して下さい		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
子どもの食と栄養 (Aクラス)	石村哲代	当該クラスは履修登録者23名中3名が失格、実受講者20名中14名の回答結果(回答率70%)である。残念ながら授業内容に関する総合評価は3.5で学内平均を下回った。これに対して学生自身についての受講態度評価は学内平均を上回った。毎週2コマ続きの授業で、時に講義が2コマ続くことがあり、この間、学生の私語やドタバタを抑え、静かな授業環境で学習に集中できるように努めたつもりであるが、一部の学生を除き、こうした努力が必ずしも多くの学生の満足度を高める結果とはなっていないことに改めて気付かされた。具体的反省点としては、「教員の声がかきとりにくい」、「授業の工夫が足りない」という声を心に留めたい。	白紙提出を阻止するため、前回に引き続き、受講者全員に必ず5行以上記述したものを提出するように伝えた上で実施、回収した。その結果、ほぼ全員からのコメントが得られた。内容的には、「将来役立つ」、「実習が楽しかった」、「静かな環境で授業に集中出来てよかった」、「講義が2コマ続くのはとてもしんどかった、もっと工夫してほしい」、「プリントに書き込む時、口頭か、板書か、統一して欲しい」などが主なものであった。	毎回回答率が低いので、今回は「送信の有無をチェックさせて貰う」という前置きの後に実施した。それでもこのクラスの回答率は70%に留まった。自由記述からも明らかのように、学生は実習には嬉々として取り組むが、講義は苦手である。しかも2コマ続きで私語は出来ない、眠れないとなると多くの学生から拒絶反応が起こるのも無理はない。かといって厚労省の指定範囲の内容をこなすためにはこれ以上実習を増やす訳にもいかない。なかなか難しい問題ではあるが、可能な限り、学生参加型の授業を取り入れるなど、学生の興味を促すような授業が出来るように工夫をしていきたい。	1	1	1
子どもの食と栄養 (Bクラス)	石村哲代	このクラスでは受講者全員の回答が得られた。このクラスでも授業に対する総合評価は一部の学生を除いて満足度が高い結果とは言いがたい。具体的反省点としては上記に同じである。	上記に同じ。	「送信の有無をチェックする」と伝えたことでこのクラスの回答率は100%となった。Aクラスに比べて総じて意欲的なクラスであったので、評価の低かった「教員の話し方」、「授業の工夫」などについては重く受け止めて改善に努めたい。	1	1	1
子どもの食と栄養 (Cクラス)	奥田玲子	受講態度、集中度の評価が高かったが、それ以外の項目で学内平均点を下回る評価であり、前年度と評価点の傾向が逆転した。	前年度は実習への満足度の高い意見が多かったのに対し、今年度は講義でも実習でも記入する量に対する不満が多く見られた。	学生の理解度を確認しながら、講義を進めるスピードを、それに合わせていくこととする。実習後の記述課題の内容と量の見直しを図り、要点への学生の理解度を高める。	1	1	1
乳児保育	城野富美代	平均して良い評価をいただけた。学生自身も私語・居眠り等をしなかったと自己評価の結果が示されていることから、話を聴くことで理解がしやすかったのではないかとと思われる。	楽しかった、もっと勉強したい。といった意見が多く、就職が近づくことで、勉強の必要性を感じているようである。	後期は、現場で必要となる実践的なことを中心に進めていく。	1	1	1
乳児保育	城野富美代	授業の内容も理解しやすかったという評価をいただき、プリントを利用した授業が学生には理解しやすいと思われる。	実践が楽しかった。よくわかったと言った意見が多く、全員が意見を書いて提出し、白紙の学生が1人もいなかったことが、非常にうれしいかぎりです。	特に現場においては、生活と遊びが中心であり、前期では「生活」を学び後期では子どもの学びを支える遊び等を実践していきたい。	1	1	1
乳児保育	城野富美代	クラスによって理解度も違うことから、指導方法もクラスによって変えることが必要。	意見は、楽しいということを書いてくれているが、評価としては違う結果となることから難しい思いがします。	前期では、テキスト及びプリントを同時に使用し、プリントにはテキストの大切な部分をまとめ、テキストの内容がよく理解できるよう言った思いで指導しています。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力して下さい		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
障害児保育	曾和信一	教員の取り組み姿勢などについて高い評価となっているが、学生の授業への自己評価はそれとは反対に低い評価となっている。	授業内容の中で、わかりやすい授業をという意見が見られた。	授業への集中度を高めるために、授業環境への工夫を図っていききたいものである。	1	1	1
障害児保育	曾和信一	学生の授業への取り組み姿勢への評価について、授業平均が学内平均をやや下回っている。	授業内容について、障がい児問題とその保育への理解が深まったという意見が見られた。	授業に臨む学生の心構えに適度な緊張と緩和をもてるように、授業への更なる工夫と配慮していききたいものである。	1	1	1
家庭支援論	曾和信一	学生と教員の授業への取り組み姿勢を全体的に見て、学内平均と授業平均との間に開きが見られないという結果になっている。	私語や居眠りなどは少ないものの、勉強への集中が高まったとう内容の意見が複数あった。	授業への取り組み姿勢を改めて問い直し、授業に関して日常的によりよいものにしていく必要がある。	1	1	1
家庭支援論	曾和信一	授業の中身を問う質問項目について、授業内容の理解度が学内平均を下回っている。	授業内容に即してのパワーポイントやビデオを用いるなど、授業への工夫が見られるといった意見があった。	全体的に授業の質をより高めるために、視聴覚教材の活用創意工夫を加えていきたいと考える。	1	1	1
社会福祉	合田 誠	9項目の内、学内平均を上回ったのは、4項目であった。保育士関連の原理経過目の中心となる科目であるため、まさに学生にとっては、苦戦をした証であると判断している。	自由記述は、授業内容の評価とは少し異なり、「大変分かり授業であった。」と記述してくれている学生が散見された。逆に、「スピードが速い。」や「黒板を消すのが早い。」などの記述もあった。	前述したように、専門科目であるが故に、「最低ライン」の知識の教授は絶対的に必要となる。毎回悩むところではあるが、いかに伝えていくかを考えていく必要がある。	1	1	1
社会福祉	合田 誠	9項目の内、学内平均を上回ったのは、6項目であった。別のクラスと同様に授業内容であるにもかかわらず、比較すると違う結果が出ていることに着目できる。その理由は不明だが、理解力の「差」がクラスによって偏りがあるのかも知れない。	自由記述には、「分かりやすい授業であった。」と記述した学生もあれば、「授業のスピードをもう少しゆっくりしてほしい。」など一人ひとりによって、理解する度合いが違うことが伺えた。	保育士必修科目で保育系の原理系科目の代表となるため、「最低ライン」の知識の教授は絶対的に必要となる。毎回悩むところではあるが、いかに伝えていくかを考えていく必要がある。	1	1	1
相談援助 (1・2組)	石川 肇	8割以上の学生が理解のしやすさ、総合評価で高い評価してくれたので、授業の意図が伝わったように思われる。	事例が沢山あって、その問題解決を考えるのが楽しかったと言う意見が多かった。板書が多く、字も読みにくいとの指摘があった	有効回答数がきわめて受講者に比べ少なく正確な評価とは言えないかもしれないが、高い評価をいただいた			
相談援助 (3・4組)	石川 肇	理解しやすかったと言う評価が少なかったので、授業方法に問題があったかもしれないが他の組と同じような内容で授業をしているのに違う評価があつて意外であった	解りやすい授業だったと言う意見と解りにくかったと言う意見があった。板書量が多くて大変だったと言う意見もあった	有効回答数がきわめて受講者に比べ少なく正確な評価とは言えないかもしれないが今後わかりやすい授業を心がけたい			
相談援助 (5・6組)	石川 肇	理解しやすかったと言う評価が少なかったので、授業方法に問題があったかもしれないが他の組と同じような内容で授業をしているのに違う評価があつて意外であった	解りやすい授業だったと言う意見と解りにくかったと言う意見があった。板書量が多くて大変だったと言う意見もあった	有効回答数がきわめて受講者に比べ少なく正確な評価とは言えないかもしれないが、今後わかりやすい授業を心がけたい			

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力して下さい		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
社会的養護内容	合田 誠	全項目、「学内平均」を上回った評価結果となり、安堵している。ただ、有効回答数が、受講者の半数に満たしていない点もあり、確実に入力してもらう努力は必要であると考えている。	自由記述には「施設実習の振り返りができて良かった。」との記述が多く、その他「施設に関して興味深く学べた。」など殆どの記述が好評的な内容であった。	1年次の12月、3月に行った「施設実習」の振り返りを題材にしたが、実習終了後の期間が相当空いてからの学生が大半であったため、学習効果を上げるためには、実習直後にこの授業が開講できれば理想的である。しかしながら、施設実習の時期を簡単に動かせないという「足かせ」があるため、現状の方法しか今のところ思いつかない。	1	1	1
社会的養護内容	合田 誠	9項目中、「学内平均」を上回ったのは3項目であったのは大変残念な結果となった。同様の授業を、他に2グループで行っているが、なぜだかこのグループのみがこのような結果になってしまった。原因を探れば、そのひとつに他科目の「再履修者」の関係で、ベースとなるクラスに加えて他クラスからの受講者が多くなり、授業展開がしにくかったのも事実である。	評価とは裏腹に自由記述は、殆どの記述内容が概ね好評であった。記述と評価の「ズレ」がどのように出ているのかは不明である。	1年次の12月、3月に行った「施設実習」の振り返りを題材にしたが、実習終了後の期間が相当空いてからの学生が大半であったため、学習効果を上げるためには、実習直後にこの授業が開講できれば理想的である。しかしながら、施設実習の時期を簡単に動かせないという「足かせ」があるため、現状の方法しか今のところ思いつかない。	1	1	1
社会的養護内容	合田 誠	全項目、「学内平均」を上回った評価結果となり、安堵している。ただ、有効回答数が、受講者の半数に満たしていない点もあり、確実に入力してもらう努力は必要であると考えている。	自由記述には「施設実習の振り返りができて良かった。」との記述が多く、その他「施設に関して興味深く学べた。」など殆どの記述が好評的な内容であった。	1年次の12月、3月に行った「施設実習」の振り返りを題材にしたが、実習終了後の期間が相当空いてからの学生が大半であったため、学習効果を上げるためには、実習直後にこの授業が開講できれば理想的である。しかしながら、施設実習の時期を簡単に動かせないという「足かせ」があるため、現状の方法しか今のところ思いつかない。	1	1	1
保育内容総論	富永美栄子	授業内容の理解が学内平均を上回り学生から予想以上の評価をいただいた。	授業の合間に絵本や手遊び、折紙などを教えてもらい楽しかったとの記述があり、実践に役立つものを増やし、保育士志望が高まるように努めます。	板書も読みやすく、資料も分かりやすく、見やすかった。難しい言葉の意味も丁寧に説明してもらったとの意見もあり、より授業の改善に取り組めます。	1	1	1
保育内容総論(4・5・6組)	富永美栄子	休み明けの月曜日1時限目で、疲れがあるのか、集中しにくかった学生が多い様に感じました。授業内容の理解が学年平均を少し下回りましたが学生からは良い評価を頂いた。	授業の合間に絵本や手遊び、折紙などを教えてもらい楽しかったとの記述があり、実践に役立つものを増やし、保育士志望が高まるように努めます。	板書も読みやすく、資料も分かりやすく、見やすかったとの記述もあり、より授業の改善に取り組めます。また、私語は厳しく注意していきます。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
保育内容演習 (言葉・人間関係)	城野富美代	非常に厳しい評価を受けることになりました。今回は、教科書を使用している取り組みを予定したのですが、手配のミスが重なってしまい、テキストが学生の手に届いたのが7回授業回数の中で5回目に届くと言った結果になってしまい、学生には迷惑をかけてしまいました	テキストが手元に届くのが遅かったため、テキストを使用する機会が少なく残念だったという意見もあり、申し訳なく思います。	授業の組み立てを全面的に見直していく。	1	1	1
保育内容演習 (言葉・人間関係)	城野富美代	学内平均をかなり下回り、授業の内容においても理解できなかったよう保育指針・教育要領を基にした授業は、なかなか理解しにくい。ワークショップを多く取り入れながら進めてはいるが、大きな見直しが必要である。	意見には、ワークショップは楽しいと言った意見が多かったのですが、白紙で提出する学生も何人かあったことから、授業の理解はしにくかったということが評価に表されたものと思われる。	言葉の授業が7回と人間関係が7回の14回まとめが1回で15回の授業回数となるので、少ない回数なので、できるだけわかりやすく進めるようにしていきたい。	1	1	1
保育内容演習 (環境・健康) (1・2・3組)	美越芳枝	総合評価は平均より下回る。しかし、Bでは平均を少し上回った。教え方等は基礎的なものに絞ら込んだが、Aに関しては疑問が残る。	プリント等があり、とても分かり易くて良かった。授業が楽しかった、毎回真剣に授業を受けることができた。という意見や 中間に小テストをしたのが良かったという感想もあった。しかし、進めるのが早いという意見や声が小さく聞こえにくかった。などの意見もあった。	比較的良くとおる大きな声で講義をしているが、私語等により聞こえづらいという意見がありマイクを使用したことがあるが、マイクの機械的な音が嫌という意見も出た。授業妨害？をする生徒の対処方法の再考が必要である。	1	1	1
保育内容演習 (環境・健康) (4・5・6組)	美越芳枝	全ての評価が平均より下回る。上記クラスと同じ内容、進め方である。授業の時間帯、クラスの雰囲気等で評価が異なるのが面白い。	プリント等があり、とても分かり易くて良かった。授業が楽しかった。という意見が多数あった。中間に小テストをしたのが良かったという感想もあった。しかし、進めるのが早いという意見もあった。	授業内容についていけない生徒とそうでない生徒との差がある。授業の理解ができない生徒の傾向は、姿勢も悪く、集中していない場面が多くあり注意をするが効果なし。教科書等の忘れが目立つ。どこに焦点を当てるのか今後の課題となる。	1	1	1
保育内容演習 (総合表現)	香月欣浩	あまりいい数値は出しておらず、毎年の課題である。	指導者が複数で、意見が別れることが学生のストレスである。完全にはなくならないことではあるが、手を打つ必要性を感想を読みながらひしひしと感じた。	歴史のある伝統の授業であり、最後には夏の保育祭という素晴らしい行事ではあるが、外からは見えない問題は山積している。指導者が多いことが原因であるが、それが良さでもあるので改善点を諦めずに見つけていきたい。	1	1	1
保育内容演習 (総合表現)	香月欣浩	あまりいい数値は出しておらず、毎年の課題である。	指導者が複数で、意見が別れることが学生のストレスである。完全にはなくならないことではあるが、手を打つ必要性を感想を読みながらひしひしと感じた。	歴史のある伝統の授業であり、最後には夏の保育祭という素晴らしい行事ではあるが、外からは見えない問題は山積している。指導者が多いことが原因であるが、それが良さでもあるので改善点を見つけていきたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
保育内容演習 (総合表現)	香月欣浩	私語、携帯の使用率が高い数値が出ていた。携帯の使用を厳禁していたのでこちらの思いが伝わってなかったようだ。	指導者が複数で、意見が別れることが学生のストレスである。完全にはなくならないことではあるが、手を打つ必要性を感想を読みながらひしひしと感じた。	歴史のある伝統の授業であり、最後には夏の保育祭という素晴らしい行事ではあるが、外からは見えない問題は山積している。指導者が多いことが原因であるが、それが良さでもあるので改善点を見つけていきたい。	1	1	1
保育実習指導Ⅰ (1・2・3組)	長谷秀揮	評価結果は予想以上によく、総合評価をはじめ全項目で平均を上回った。また学生自身の取り組みの姿勢も平均を大きく上回っていた。全体としてかなり高い評価結果となった。	授業内容が良かった、まだ話がわかりやすかった、楽しく学べたという意見が複数あり大いに力づけられた。勉強しやすい環境づくりについては、さらに配慮が必要であることが分かった。	現場での事例やエピソードなどを多く取り入れ、わかりやすかつ充実した授業内容にと、考え配慮して授業を進めたが、評価を踏まえ一層の工夫改善に努めたい。	1	1	1
保育実習指導Ⅰ (4・5・6組)	長谷秀揮	評価結果はあまりよくなく、総合評価をはじめ教員の姿勢の項目でかなり平均を下回った。学生の取り組みの姿勢及び授業内容は若干平均を下回った結果となった。	授業がわかりやすかった、楽しく学べたという意見が複数あり、おおいに励まされ、力づけられた。勉強しやすい環境づくりについては、一層の配慮が必要であることが分かった。	事例やエピソードなどを紹介して、現場の様子をわかりやすく伝えながら、授業を進めたが、質問への対応、私語対策について、さらに配慮して工夫改善に努めたい。	1	1	1
卒業ゼミ	合田・淡路・曾和・工藤・山田・長谷・香月・千田・鍛冶谷	(合田)すべての項目において学内平均を上回っており、内容が学生のニーズに合致していると思えた。(淡路)前年度評価を上回る評価項目が多く、後期授業への期待が感じ取れる結果だった。(曾和)すべての項目にわたって授業平均が学内平均を上回っており、授業する側の熱意が伝わったと思われる。(工藤)昨年より高い評価。後期集大成(ゼミ発表会)に向けてさらに向上するよう努力したい。(山田)どの項目も高い評価になっており、学生にとって満足いく授業になっているようだ。(長谷)昨年度より全体的にさらに高い評価になっていて、授業の充実度の向上がうかがわれる。(香月)いい評価を見てひとまず安心するとともにこれからの内容をしっかりとしていきたい。(千田)全ての評価項目が高評価となっており充実した授業となっていたと思われる。(鍛冶谷)学生にとって充実した授業になっているようで安心した。	(合田)興味・関心が近いメンバーとの議論が大変意義深い内容になっているとのコメントが多い。(淡路)後期授業への期待と前向きな姿勢が伝わる内容だった。(曾和)ゼミのプレゼンへの好意的な意見が多く見られ、前向きに授業に臨んでいることがわかった。(工藤)第一希望決定者は大満足だが、そうでない者は少しずつゼミに適応しようとしていた。(山田)より具体的・実践的な内容で進めているのでわかりやすく楽しく学べているという意見が多かった。(長谷)実践的で具体的な内容なので、実習や現場に出た時に役立つとの記述が多かった。(香月)具体的な内容が伝わっていたようで安心しました。(千田)楽しく受講できているとの記述が多かった。(鍛冶谷)ゼミ全員で互いのプレゼンにコメントし、各人の興味がさらに広がったようである。	(合田)個々人の問題意識をさらに深化させるべく取り組みの内容を検討したい。(淡路)学生個々の意欲をさらに高められるような授業にしていきたい。(曾和)ゼミの内容への集中を高めるために学生の興味関心をひきだしていく工夫が必要ではないか。(工藤)学生のモチベーションを維持し、成果につながる努力をしていきたい。(山田)実践的な内容をそれぞれの学生の興味に応じてどのようにまとめるかが今後の課題である。(長谷)実践的な内容についてさらに分かり易く、理解しやすい形で学習内容を深められるように努めたい。(香月)卒業後、人生のこれからも役立つような内容をすすめていきたい。(千田)楽しいだけではなく、内容の充実を実感してもらえるような工夫も必要である。(鍛冶谷)やはり自分の関心のある分野の学習は楽しい。成果を形にするのが後期の課題である。	1	1	1
こども音楽療育概論	千田耕太郎	学生からは予想以上に良い評価を頂いた。しかし私語、居眠りの項目が唯一平均を下回っていた。DVD教材を見せたときに眠さを感じた学生がいた点と、積極的な授業参加を求めよく発言させていたが、けじめがつけられていなかった点は反省したい。	授業内容については、わかりやすかったという感想と、難しかったという感想に分かれた。初めての授業なので手探り状態で行ったが、よりいっそうの研究が必要であると感じた。	授業内容についてのよりいっそうの研究が必要である。また、授業内で視聴覚教材を使う部分があったが、その時眠さを感じる学生がいたようなので、その内容について吟味したい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力して下さい		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
こども音楽療育演習	淡路和子	学生の授業への取り組み姿勢は学内平均より僅かに上回っていたが、理解できない部分が多いことが分かった。次年度にはいろいろな面で改善する指針にしたい。	手遊びや楽器遊びを通じて障害児の活動について考える機会になった、という記述の反面、内容が多岐にわたり「ねらい」が分からなかった」という意見があった。	「こども音楽療育士、資格取得」必修科目であるが、学生の音楽経験、技量、目的意識に多少の差があり、授業内容に苦慮した。改善に努めたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
モチベーション演習	新田真一 他7名	総合評価では昨年度比評価が向上したが、授業の「教え方」、授業の「中身」では昨年度比評価は低下した。入学当初の慣れない時期に集中的に机に向かうことから評価は概して厳しい。	履修登録54名に対して45名の学生が自由記述を書いてくれた。アンケート実施当日の卒業生の話が良かったという意見が多かった。次いで、「モチベーション演習」全体についてプラスに評価したコメントも多かったが、一方で批判的な内容も見られた。	モチベーション演習の授業目的に沿った内容を入学当初の学生に分かりやすく教え、学習意欲を高め、実のある時間割作成ができるよう工夫する。年度初めの集中授業でもあり、学生の理解を得ているかチェックして、教員からの一方的な話に終わらないよう努めたい。	1	1	1
くらしのマナー(A)	荊木治恵	学生の評価はよかった。この結果の要因は、授業全体をマナーにつなげて行ったこと、学生が身につくことを念頭において進めたことが考えられる。しかし、授業形態の工夫という点では、学内平均を下回っており、今後の課題であることがわかった。	30人分の記述があった。「社会にでたとき役立つ」「敬語・手紙がよくわかった」「丁寧」「ペースがよい」等ほとんどが良い方向での記述であった。少数意見として、「むずかしい」「配布プリントの整理が大変」「重要ポイントがわからない」「板書を増やしてほしい」等があった。	授業内容の理解を深めるための工夫をしていきたい。また、プリントの配布の仕方や進め方についても今後、工夫をしていきたい。	1	1	1
くらしのマナー(B)	荊木治恵	Aクラス同様、学生の評価はよかった。この結果の要因は、授業全体をマナーにつなげて行ったこと、学生が身につくことを念頭において進めたことが考えられる。しかし、授業形態の工夫という点では、学内平均を下回っており、今後の課題であることがわかった。また、学生の質問や発言に適切に対応していたについても、このクラスは学内平均を下回ったが、どの点をさしているのかよくわからないので、今後もう少し客観的にみていきたい。	20人分の記述があった。「マナーが知れた」「敬語や手紙がわかった」「ためになる」「わかりやすい」「板書がみやすい」等ほとんどが良い方向での記述であった。少数意見として「むずかしい」「進度がはやい」「覚えることが多く大変」等があった。	授業内容の理解を深めるための工夫をしていきたい。また、プリントの配布の仕方や進め方についても今後、工夫をしていきたい。	1	1	1
日本語表現法(い)	荊木治恵	学生の評価はよくなかった。この結果の要因は、ややもすると一方的になりがちな授業形態にあったのではないかと考えられる。3クラス中の上位者クラスであったため、結果として内容を盛り込み過ぎたと思われる。また、異学年の学生とのバランスに苦戦したので、授業のよい雰囲気を作ることが最後までできなかったことも要因の一つであると思われる。	17人分の記述があった。「難しい」「大変だった」「当てないでほしい」等の意見が半数あった。少数意見として「進度・話し方がよかった」「わかりやすい」等があった。お礼を述べるのみの記述もあった。	学生の理解を中心とした授業を行うためにも、柔軟に授業内容を考えていきたい。また、学生とのコミュニケーションを図る手立てについても工夫をしていきたい。しかし、学生の嫌がる課題については、力をつけさせる意図において継続したいと考えているが、学生の様子を見ながら検討していきたい。	1	1	1
日本語表現法(は)	荊木治恵	学生の評価は思っていたより良かった。(い)クラスよりも、学生の理解度を意識する結果となったためであろう。授業形態の工夫という点では、学内平均を下回っており、今後の課題である。	13人分の記述があった。「よかった」「勉強になった」「楽しかった」等の意見が半数、「難しい」「大変だった」「板書が大変」等の意見が半数であった。進度や話し方については、「よい」と「早い」の両方の意見があった。	学生の理解を中心とした授業を行うためにも、柔軟に授業内容を考えていきたい。学生の嫌がる課題や板書については、力をつけさせる意図において継続したいと考えているが、学生の様子を見ながら検討していきたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
英語 (英会話A) 「い」	奥田 純	本年度は入学生の人数の関係で3つのクラス編成となったが、この「い」のクラスは成績上位者からなる。授業をスムーズに行え、大半の学生が真面目に取り組み、その実態が反映された良い評価を得た。アンケート回答率が100%であった。昨年度と比べて評価も格段に向上した。	大半の学生が意見を書いたが、「分かりやすかった」という評が多かった。スライドを使った授業方式もプラス評価された。	教材はぴったり合っていると思われる。発音練習がもっと出来る環境作りを目指したい。	1	1	1
英語 (英会話A) 「ろ」	奥田 純	「ろ」のクラスは成績中位者からなるクラスだが、授業をする環境作りに苦労した。ただ、評価は良好であった。ただ、回答率は半分以下であった。昨年度比では評価は向上した。	自由記述を書いた学生はクラスの半分くらいであったが、理解しやすかった、楽しかったという意見が大半であった。	本年度はこのクラスでは「い」より簡単なレベルの教科書を使ったが、功を奏した。授業環境の改善を考えたい。	1	1	1
英語 (英会話A) 「は」	奥田 純	「は」は成績下位者からなるクラスで、基本的に英語を苦手とする学生が大半であったが、本年度は真面目に授業を受けてくれる学生が多く、評価も通年比格段に向上した。回答率は3分の2強であった。	大半の学生が意見を書いたが、「分かりやすかった」という評が多かった。英語が嫌いだったが、少し好きになったという評も若干あった。	教材はぴったり合っていると思われる。発音練習がもっと出来る環境作りを目指したい。	1	1	1
情報基礎 (A)	三木大史	新しい内容を取り入れた授業であり、学生の評価にはばらつきがあると考えられる。21人中4人の学生があまり良くなかったとの総合評価であった。何がよくなかったのかはこの調査では読み取ることが難しい。	難易度が高いという意見が多い。興味深い授業であるとの意見もある。	新しい内容を取り入れた授業であり、どのように教授すべきか教育環境も含め再検討したい。	0	0	1
情報基礎 (B)	三木大史	17人中2人の学生にはすべての項目でよくなかった評価されたものと思われ、それが原因となって全体の評価が低くなっている。集計結果からは授業の至らなかつた点を読み取ることが難しい。	難易度が高く、進度が早いという意見が多い。面白く、役に立つという意見もある。	業内容をどのように選ぶか、学生のレディネスに応じて考え直したい。	0	0	1
文書処理 演習 I (A)	新田眞一 他1名	Ⅱ-1,2については学内平均を下回っているが、概ね学内平均を上回っている。学生はまあ良かったとの評価である、と考えられる。	授業の進め方が早く、ついでいけない時があったとの指摘がかなり(約半数)あった。より早く進めてほしいとの意見は1件であった。	授業の進め方をよりゆっくりとすること。学生の理解度を絶えずチェックすること。	1	1	1
文書処理 演習 I (B)	新田眞一 他1名	Ⅱ-1,2については学内平均を下回っているが、概ね学内平均を上回っている。学生はまあ良かったとの評価である、と考えられる。	なぜか楽しかったとの内容が約4分の1ほどあった。説明が速かったとの指摘は1件であった。	2211031と同じ科目であるが、こちらの受講生はローラーである。今後もより丁寧にゆっくりと授業を進めること。	0	1	1
自分探しの 心理学	北村瑞穂	全体的に学内平均とほぼ同じ評価だった。授業の環境づくりについては、平均を下回った。例年より評価は低くなった。	「心理学に興味がいいた。後期もとりたいたい」という意見が多数あった。「後ろの方がうるさい」という意見も複数あった。	今年度は受講者が例年より少なかったため、非常に授業はやりやすかったが、一部の2年生に私語があった。来年度はより厳しく指導したい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
くらしと環境	伏木真理子	教員の話し方、授業の工夫、学生の質問や発言に対する対応において評価が低く、目標達成に適した授業内容であるが理解しにくく、総合評価はあまり良くないという結果であった。	環境に興味を持ってよかった。人為的に環境が壊されている事を肝に銘じて生活していきたい。先生が熱心でしっかり聞こうと思った。Eco検定の過去問のプリントがありよかった。難しかった。話がよくわからなかった。説明や話が長く、全く伝わってこなかった。	eco検定受験の一助ともなる授業を目指しており、近年検定内容がレベルアップしてきているので授業内容のレベルを下げられないが、受講した学生の学力レベルが2極化していた為、よく理解できた学生とそうでない学生に分かれた。専門用語などは、特に理解度を確認しながら進めたいと思う。	1	1	1
くらしとパソコン	岡本久仁子	授業中の態度について、自分で私語・メールなどがあったといったので、自覚していたようだ。	記述なし		0	0	0
ライフデザイン基礎演習Ⅰ	新田眞一 他7名	オフィスごとにグループ分けして学生に答えを見つけてさせる参加型の授業を試みたが、学生からの評価はかなり厳しいものであった。授業の「教え方」、授業の「中身」とも同じレベルの評価であった。ライフの専任教員全員が担当した授業だが、新しい方式での授業を試みたこともあり、教員の間でも教え方になじめなかったところがあった。	履修登録53名に対して38名の学生が自由記述を書いてくれた。「グループ分けが良かった」という意見が15、「役立った。楽しかった」など前向きな評価が13、一方批判的なコメント(「力にならない。机のセッティングが一部の学生に偏っている」など)が10に大別される。	コミュニケーション検定初級の合格を目標にした科目だが、学生の参加度をあげるための施策(学生によるテキストの音読など)を検討する必要がある。一方、毎回の授業での学習成果も考慮した授業展開を考える必要もある。	1	1	1
ファッションコーディネート演習	中野恭子	概ね、学内平均より評価は高かったが、授業への集中度が低い生徒がいた。個人で集中してマップを作成したい生徒と友人と相談しながら自己認識し、作成する生徒に分かれるので、席を離れた。	ファッションコーディネート演習は芸術的価値を育てる授業なので、生徒にとって「楽しいので、後期の授業もとりたい。作業しながら分からないところを質問できるので、コーディネートの基本が理解でき、知らなかった専門用語も学べた。」との意見が多かった。	ファストファッションの発展で、日本のファッションはますますサブカルチャー化しているが、1回生のなかに集中力が高く、一回限りの非常に芸術性の高い作品がみうけられた。また2回生や留年生も昨年より成長したことも喜ばしい。	1	1	1
ファッションビジネス	中野恭子	概ね、学内平均より評価は高かったが、授業への集中度と授業の工夫が低かった。生徒にあったスライドを用意し、私語も注意したが、通年の範囲を前期で網羅するには時間が足りないので進度が早くなる。	ファッションビジネスは商業的価値を学ぶ授業なので、生徒にとっては苦手だと思われるが、「ファッションは楽しいので、頑張りたい。先生の声が大きく、具体的に例をあげていたので分りやすかったが、授業の進み方が早かった。」との意見があった。	2名が検定試験を受験し、前期試験も追試1名、欠席1名以外は例年より成績が良かった。来年度は、まず語彙の解説をした後、問題を解く方式に変えたいが、前期だけで参考書と問題の両方の説明には時間不足なので、全ての範囲が終了するか心配である。	1	1	1
トータルビューティエクササイズ	新野弘美	Ⅱの設問に対して、どちらでもないが1つ、どちらかといえば2つの項目に回答がありました。次期に向けて、改善出来るものは、積極的に準備や実践をしていきたいと考えております。	・色々なことが出来て楽しかった。夏になって、暑かった。 ・配布プリントをカラーにして欲しい。などの意見がありました。アンケート実施の翌週にこれらの記述に対して、返答しました。施設面以外のことは、次期に向けて、参考にしていきたいです。	授業中に時間を設けたのですが、有効回答数が1ということで、他の学生さんからの授業についての評価が得られなかったのは、残念でした。1名だけの評価ですが、授業での工夫の設問に対して、実演というよりは、どちらでもないという回答は使用する教材(配布プリントなど)についてに対してと考えられました。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
プライダル総論1	小野清和	今まで興味のある分野であったにも拘らず受講者が4名で常に受講している学生が2名と言う事もあり、シラバス通りに中々進まなかった。授業のモチベーションを維持させるのに苦勞した。	プライダル演習Iと連携して、模擬挙式実施をする為の基礎学習にも関わらずプライダル総論1・プライダル演習I共に受講者2名だった事により本来意図する授業が出来なかった。	前年・前々年度用に最低模擬挙式実施をする条件をまず整えたい。	1	1	1
プライダル演習I	國田育代	有効回答数が少ないので判断できない。	本人のやる気や思いと実際の状況に乖離がある。	少人数の中で何を授業で行うかが今後の課題。			
ホスピタリティとサービス	小野清和	学内平均値より全て高かった事は嬉しいことです。何故それをしないといけないのか、その意味合いの奥にある本来の意図を具体的に教えた事が良かったと思われる。	社会人となっていく上で大切な事柄やマナーを習得。ビジネスマナーの基本である「報・連・相」が持つ意味とその重要性が習得できたとの趣旨が多かった。	今後はもっと現場の状況を動画配信にて何故そうする事が必要なのかを徹底して教えてモチベーションの切り替えの大切さや、自分の仕事のほかの人に与える影響、自分の仕事の社会的な意義や役割は何かと言うサービス業本来の人を中心としたビジネスの本質に触れて行きたいと思っております。	1	1	1
プレゼンテーション概論(金3)	畑野清司	学生の評価は、昨年同様いつれの項目も大変高い評価だった。昨年より受講生の数が減ったが皆の取り組み意欲は高く、授業内容をしっかり理解した。	学生の記述に共通しているのは、授業に集中できたこと、説明が分かり易く、目標が明確だった。楽しかった。など例年と比べて大きな違いはない。	プレゼンテーションの意味や仕方が理解でき、人前で話すことに少しだけ自信がついたらと授業を進めてきました。その成果が伺えます。	1	1	1
プレゼンテーション概論(金4)	畑野清司	3時間目の授業とほぼ同様の評価であった。学生の評価は、昨年同様いつれの項目も大変高い評価だった。途中で断念した学生が数名出て、受講生の数が減ったが、皆の取り組み意欲は高く、授業内容をしっかり理解した。	このクラスの自由表記では、特に共通しているのはわからない時や、わからない所を丁寧に分かり易く教えてくれた。1人だけ、もっと厳しく「だめだし」してほしかった、と追記した学生があった。	プレゼンテーションの意味や仕方が理解でき、人前で話すことに少しだけ自信がついたらと授業を進めてきました。その成果が伺えます。「だめだし」の学生は後期での伸びが期待されます。	1	1	1
プレゼンテーション演習I	服部美樹子	学生からは学内平均以上の評価を得た。しかし、本当に授業内容を理解できて、身につけたかどうか、成果としての発表内容から見て疑問が残る。	各自の発表内容によく相談に乗ってくれたとのコメントをもらった。また、発表に自信がついたなどの意見もあった。	学生自身の自己評価では授業が理解できたとするが、授業での発表の内容や態度から見て、ギャップが大きい。また、予習復習が徹底されないため、教員の予定していた内容がシラバス通りにこなせないことがしばしばある。この点が今後の課題である。	1	1	1
色彩の基礎I(火1)	倉本真紀	同じ科目が2科目あり、3時間目と足並みをあわせたため物足りないのではないかと感じていましたが、比較的好い数値が出ていたため、授業の進行について工夫した結果が出たのではないかと思います。	今回は実践の授業をできるだけ増やし、進行スピードについてもかなり緩やかにしていたため、例年にみられる「わかりにくい」「難しい」という意見はありませんでした。	理解度アップ=理論と実践と考えているため、現在の比重を変更することなく、より理解と興味を示してもらえるような授業内容にしていきたいと思っております。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
色彩の基礎Ⅰ (火3)	倉本真紀	人数に関して1/2程度の有効回答数しかなく、潜在的に満足度が低かったのではないかと思います。持参物について何度も言っているにもかかわらず、一度も持ってこなかった生徒がいました。対応に苦慮しました。	「楽しかった」という意見もありましたが、昨年までの意見も踏まえ、実験的なことも取り入れていたため、物足りないこともあったのかな、と思いました。	理解度アップ=理論と実践と考えているため、現在の比重を変更することなく、より理解と興味を示してもらえるような授業内容にしていきたいと思います。	1	1	1
色彩の演習 (シルクスクリーン含む)	中路規夫	学生からは良い評価を頂いた。が、学生の私語を注意し勉強しやすい環境を作れてなかったようで、そこが残念。前年まで気を付けていたのだが、初めての指摘で気付いた。	皆から楽しい授業だと言ってもらえたのが幸いである。楽しくなければ良い作品は生まれてこないから・・・。	良い作品が生まれるように楽しく作れるような環境を作っていきたいと思う。	1	1	1
カラーセラピーⅡ	倉本真紀	今年カラーセラピーⅠの授業内容を深く理解している生徒ばかりで、総合評価100%を達成でき、今後この数字を維持できるように授業内容を組み立てていきたいと思いました。	色を学んだことで人との付き合い方がラクになった、自分を知ることができた、恋愛の悩みが解消できたという意見が多かったことがうれしかったです。今後このように生徒が自分をより輝かせるための観点から、色彩をレクチャーしていきたいと思いました。	カラーセラピーⅠの授業内容をよりカラーセラピーⅡに近づけられるよう、組み立てなおしたいと思っております。	1	1	1
医療事務総論	河口祐子	授業内容の理解が思ったよりよかった。更に理解できるように授業に工夫が必要である。	難しい用語が沢山あったが説明が解りやすかったという意見をいただいた。時々スライドが早いという意見もあったため注意していきたい。	難しい内容を理解させるためのスライドの活用の仕方やプリントなど更なる工夫が必要である。	1	1	1
医療事務総論	河口祐子	他の曜日と同じ授業内容であるが、理解度が少し落ちている。話し方、授業の進め方に工夫が必要である。	難しい用語が沢山あり、理解するのが大変だった。レベルに合わせてゆっくり説明してくれたのがよかった。という意見が多かった。	他の曜日の同授業の学生より理解度が低く、レベルに合わせて進捗が遅れてしまう。授業の進め方を再検討する必要がある。	1	1	1
医療事務Ⅰ	河口祐子	授業内容は理解しやすかったという評価をいただいたが、実際の成績は今一つであった。	丁寧に教えてくれたが難しかったという意見が多かった。一緒にやればできるが一人で計算するのは難しい。練習する時間がもっとほしかった。	難しい内容であり、応用のきかない学生が多い。理解度アップに練習問題等授業の工夫が必要である。	1	1	1
医療事務Ⅰ	河口祐子	授業の教え方は思ったよりいい評価をいただいたが、授業への工夫は見直した方がいいようである。	丁寧に教えてくれたが難しかったという意見が多かった。一緒にやればできるが一人で計算するのは難しい。	難しい内容であり、応用のきかない学生が多い。理解度アップに練習問題等授業の工夫が必要である。	1	1	1
医療事務演習	倉戸啓子	概ねどの項目も4, 5の評価が多いが、話し方、教材の工夫など一部で3の評価もあった。	わかりやすく説明してくれた、わからないところや間違えたところを教えてもらえるのでよかったという感想があったが、一方で内容が難しかったという感想もあった。	内容をもう少し基礎的なものに変更する。	0	1	1
医療秘書実務	東野園子	学生からは概ねよい評価を頂いた。	ゲームをしたり、ロールプレイ車イスの実習などが特に楽しかったようだ。	全ての項目において「そう思う」「良かった」と思ってもらえる授業を目指したい。	1	1	0

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力して下さい		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
公衆衛生学	杉井俊二	講義内容(項目)に対して授業時間数に制限があり、また予習しないで受講している学生が多い印象を受けていたので、学生から厳しい評価を受けたと理解している。	15回の講義で担当科目の全般を教授することを目指していた。その結果、多くの学生から、授業の進め方が早いという指摘があった。	講義内容を全般的なものから主要(あるいは基礎的な)項目に絞り、理解度の改善に努める。	1	1	1
解剖生理学	奥田喜一	昨年と同様に学生からよい評価を頂いた。	板書の量が多い、読みづらいという意見があった。でも大半は解り易かったとあった。	概ね内容が理解されたようだ。板書の量はそれ程多いとは思わない。読み易いように努力しようと思う。	1	1	0
社会福祉概論	保科和久	いつもながら、私の実感より高めの評価を受けた。授業内容の理解にかなして、視覚的教材(DVD)は評価されたのではないかと考えている。今後も教材の工夫は必要であろう。	特段の意見は無かった。	授業の際の話し方の速度に少し気を付けていきたい。(早口であると言われることが他校でもあるので。)	1	1	1
介護概論	小室八千代	・授業に集中しているが平均より多いのは、実技が眠れずメールもできなかったからと思う。 ・自由記述ではほとんど楽しかったとあるのに集計では平均以下になっている。	ビデオを見たり、実習が多く楽しかった。実技なので頭に入った。福祉についてよくわかった。(というのが自由記述の内容であった)	テストに語群をつけて欲しいとみんなに言われたが、なしにした。難しいテストだったと反省している。介護の専門職として就職するのではないのにきびしく注意しすぎた感がある。	1	1	1
臨床医学概論Ⅱ	河口祐子	思ったより評価は良かったが、寝る学生が多かった。	テキストにない説明をスライドで説明してくれたのがよかったとの記述があった。視覚的に説明することの効果を実感した。	専門的な内容であるため、興味の持てない学生は寝てしまう。話し方や、身近なことを取り入れ説明する工夫が必要である。	1	1	1
医療事務コンピュータⅠ	倉戸啓子	授業については4、5の評価が多いが、「授業中私語などをした」「教員が私語を注意し…」の項目等で3の評価があった。	初めは難しかったが、やっていくうちに理解していくことができた。わかりやすく説明してもらえたのでよかったという感想があった。	特にありません	0	0	0
医療事務コンピュータⅡ	倉戸啓子	「授業中私語などをした」という項目で1、2の評価があった。	とても難しかったが楽しかったという感想もあったが、わからないときに、先生が他の人に教えていると質問できないので先に進めないという意見もあった。	授業中、一部の学生に質問の機会が偏らないように配慮する。	0	0	1
診療報酬請求事務演習Ⅱ	河口祐子	回答数が少なかった。好意的な評価をいただいた。	検定のための授業ができよかった。時間が長かった。	この授業をとった学生の合格率はよかった。練習問題の取り組み方を検討することと、理解度の低い内容を強化することが必要。	1	1	1
食生活と健康	奥田玲子	総合評価は学内平均と近似していた。授業環境は勉強しやすく、学生は集中できているが、講義内容がやや難しいうえに、進捗が速かったため、必ずしも理解が十分でなかった状況が評価点に表れていた。	自分の食生活を見直す良い機会となり、食生活の重要性を再認識できたという記述が多く見られた。	食と健康について、日々発信される情報の中から、学生にとってより身近で役立つものを、授業の中に取り込む。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
食生活アドバイザー	奥田玲子	前年度と同様に、どの項目も高い評価を頂いた。検定試験の対策講座であるので学生の興味も意識も高い。殆どの学生から受講してよかったと評価された。	課題への満足度は概ね高かった。食生活を中心に多くのことが学べてよかった、との満足感が表現されていた。	特になし。	0	0	0
食の歴史と文化	坂口守彦	授業開始前に想像したとおり、ほぼ学内平均のレベル(前年も同じ)であった。授業のスピードを遅くし、プリントを配布して、カラー写真やビデオを示して授業を実施したが、授業内容等が十分に理解されたとはいいがたい。	一般常識として既知であったり、高校の歴史の教科の中で、すでに学習したところまで重複して教授しているところがあるので、今期もこの点に注意をはらったが、内容の一部を理解がたいという不満が見られた。	授業評価アンケートで好評であっても、期末試験の結果がこれに見合うものになっていない。来期はショートテストを実施しつつ、授業の理解度を深めたい。	1	1	1
食の安全性	坂口守彦	本科目は比較的教授しやすい科目に属するが、学生の評価「授業の教え方」および「授業の中身」は学内平均を上回っていた。しかし、総合評価は前年と同じ学内平均のレベルであった。熱意をこめて授業の実施に努めたが、授業内容等が十分理解されていないのは遺憾である。	教え方については全般的に好評であったが、一部に授業内容が難解な部分があるという意見もあった。しかし、積極的な意見の陳述は少なかった。	授業は主としてプリントを配布して進めたが、ときおり写真、図表などを提示した。これらは学生の理解を助けるために不可欠である。プリントの説明、補助教材などを組み合わせる授業の要点を明示し、これまで以上によく理解させることに努めたい。	1	1	1
食品材料の基礎知識	平田 孝	総合評価は平均を上回っており、授業の方向は全体として大きな問題はなかったと思う。ただ、受講姿勢は学生の自主性に任せたためか、勉学に集中できなかった学生がいた。	楽しく興味深い内容であったとの記述がほとんどであった。もう少し板書したほうが、整理しやすいとの意見が一つあった。	今後、学生が授業により集中できる環境づくりを考る。	1	1	1
フードマネージメント・メニュープランニング	播賢知	ほぼ学内平均と同じレベルの評価を頂き、大声はりあげ、何度も同じことを話した甲斐があった。	今年は悪く言われることが無く、将来に役立つ話が多くて為になった、良かったという回答がほとんどであった。そして調理をして試食をしてもらった時間を設けた事が気に入られて、今後は調理実習もやってほしいと何人にも言われた。	改善という訳ではないが、アンケートに記されてとおり、単に授業というものではなく自分達の将来に役立つということを憶えて、その事を更に強調して話していきたいと思う。	0	1	1
フードマネージメント・メニュープランニング	播賢知	自分的にはこの授業の方がよい評価を得ていたのに少し低い評価だったの??と思う。	今年は悪く言われることが無く、将来に役立つ話が多くて為になった、良かったという回答がほとんどであった。そして調理をして試食をしてもらった時間を設けた事が気に入られて、今後は調理実習もやってほしいと何人にも言われた。	改善という訳ではないが、アンケートに記されてとおり、単に授業というものではなく自分達の将来に役立つということを憶えて、その事を更に強調して話していきたいと思う。	0	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
テーブルコーディネート実習	中出真理子	まず履修人数11人に対してアンケート回答数が8人、というのが気になります。全員がアンケート回答をしてこそ正しい結果を知ることができるので、工夫が必要です。学生の評価は概ね良く、授業内容に満足していることがわかります。しかし、授業時間が長く、集中力が欠けて居眠りをする学生もいます。毎年、この評価だけが他と比べて低いので、実習回数を増やして「手を動かす」ように心掛けてきました。もうひとつ工夫が必要だと感じます。	楽しみながら学べたという声が大半ですが、自分でコーディネートを考えるのが難しいと感じた学生もいます。一人一人の個性に合わせた指導が必要だと感じました。	自分で考えてやるのが難しい学生も、実習を重ねることに成長が見られます。実習時間が長いこともあり、集中力が欠けがちなので、毎時間、小さな実習から大きな実習まで取り入れて実習の数を増やしたいと思います。	1	1	1
調理学演習Ⅰ (テーブルマナー含む)	奥田玲子	学内平均を上回る項目と、下回る項目が同数という結果であった。授業中は静かで、よく集中できている。説明や実習の指示などに学生が十分理解できていない部分のあったことがわかった。	多くの学生が興味を持って受講していた。実習で学んだことが実生活の役に立ったという感想も見られた。	引き続き、学生が興味を持って積極的に学ぶ意欲の持てる、また生活に活かせる授業、実習を目標にする。	1	1	1
調理学演習Ⅰ (テーブルマナー含む)	末吉明美	学生の総合評価は、まずまず良かった。A教育の姿勢の①が学内平均を下回り。②、③、④が平均と変わらずで、全年度と比べると大幅にダウンした。	「料理の基礎やポイントがよくわかって、家で料理することも増えた」という嬉しい意見もあり、「とてもわかり易く、丁寧に教えてもらった」という意見と「説明がもうちょっと短い方がよい」という意見もあり。	今年の学生に合わせた綿密な指導をしてゆき、技術力アップに努める。食育に力を注ぐ。	1	1	1
製菓材料の基礎知識	林真千子	学生からは予想以上に良い評価を頂いた。しかし授業内容の理解が学内平均を下回っていた。	身近にある食品について知らなかった知識が得られてよかったという意見を多数いただいた。しかし、実演や味見などもしてみたかったという意見が少数あった。	授業内容の理解度向上については、視聴覚教材や実演の取り入れを検討して改善に努めたい。	1	1	1
製菓・ラッピング実習Ⅰ	岩崎初音	学生からは評価表Ⅱ・A、B、Cともに平均を上回る良い評価を頂いていたが、Ⅱ・A・3「学生の質問や発言に対応していた」という項目に「そう思わない」と回答した学生がいたので、次回から授業時間中にQ&Aを実行したい。	お菓子作りとラッピングに関しては好評のため、より興味を持ち技術アップしていけるような授業内容にしたい。	従来は前期・後期授業終了後、ラッピングコーディネーター資格試験を受験していたが、今年から前期授業終了後にラッピングコーディネーター資格試験を行うことになった。試験を実施した結果、受験者全員合格した。前期の授業内容で知識、技術ともに合格レベルに達していたということが分かったので、今後も継続していきたい。	1	1	1
アロマセラピー (演習を含む)	倉津三夜子	以前に比べ、どちらでもない、どちらかといえば、といった中間的な評価が増えている。良かった、そう思う、という積極的な肯定感を得られるような授業にしていきたいと考える。	例年に引き続き、実習が楽しかったという記述がほとんどではある。わかりやすい説明、環境の作りへの配慮などにも意識が向けられていた。	実習以外の時間での集中力が保てない様子なので、今回はDVD教材を用いたが、興味のレベルに個人差があった。画像のみ写し、口頭で説明を加えるよう試みてみたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
クロスカルチャー	中村真里絵	概ね学内平均を上回っており、昨年度と同じような評価であった。しかし、教員の話し方、声の大きさとスピードが下回っていた。これについては、今後、改善していきたい。	講義内容について、関心を持ってもらえたようである。	もう少しゆっくりはつきり話すよう、心がけたい。評価については、今年度の評価をキープできるようにしたい。	1	1	1
情報処理演習 I (Word)	岡本久仁子	すべての項目について、授業平均が上回っていた。	わかりやすく楽しかったとの記述があった。教科書と連動して進めた授業が、評価されたようである。	授業評価だけでいえばよい評価であったが、実質的に理解がおいっていない学生を散見した。教材などをもう少し工夫していかないといけないと感じた。	1	0	1
情報処理応用演習 I	渡邊伸樹	学生からは予想以上によい評価を頂いた。課題としては「教員の話し方」などが挙げられる。		「教員の話し方」についてはさらに評価が向上できるように、授業のペース配分などを改善しようとする。	1	1	1
情報処理演習 II (Excel)	岡本久仁子	私語などをしたという学生が多かった。	難しかった、わかりづらかったとの記述が複数あった。	基礎的な部分ではよかったが、応用問題になるとついていけない学生が多かったので、練習問題に工夫が必要と感じた。	1	1	1
情報応用演習 II (EXCEL)	新田真一	学生の授業への取り組み姿勢は学内平均とほぼ同じであったが、他の項目にあっては学内平均を明らかに下回っている。昨年はほぼ学内平均と同じであった。今回のアンケート結果を活かさなくてはならないと考える。	内容が難しかったという指摘が多く見受けられた。これは昨年と同じである。ただ、難しいがよかったという内容が3分の1ほど見受けられた。説明をもっとゆっくりしてほしいとの指摘もあった。	難しいと感じられる内容をいかに丁寧に理解できるようにするには、学生の理解度を絶えずチェックすること。	1	1	1
ウェブデザイン II	三木大史	前年同様、受講者からよい評価を得ているように見える集計結果であるが、今回どの項目も8人中だいたい3人が「どちらでもない」と答えている。授業のどこを改善すればよいのかこの評価結果からは読み取ることは難しい。	難易度が高かったが、わかるようになったという評価が多かった	この授業は他の関連科目とともに積み上げていく内容となっており、全体の教育課程の中でどの程度のことを修得させるかを再検討したい。	0	1	1
ビジネス実務概論	仁平章子	授業の内容に関する評価は、学内平均値より総じて低い評価であった。概論という特性上理解しにくい部分があったのかと思われる。木曜日の2時限目の回答者は2名であったために木曜日3時限目の評価と合わせて記述した。	社会にでて役に立つ内容であったという記述が複数あった。しかし一方では、難しい内容であったとも記述している。	企業社会で経験のない学生に、いかに企業社会のことを理解させるのか工夫することが求められていると考えられる。経験を話ながら身近な事例をとりあげても必要であると考えられる。さらに工夫をして、理解度を高めるようにしたい。			
ビジネス実務演習	仁平章子	評価は学内平均より高い評価であった。月曜日3時限目では7名、4時限目では3名の学生が回答しているので、2クラスを合わせて記述した。	実務演習の授業であり、もう少しロールプレイングがあった方が良かったと記述している意見が少数であった。他には、社会へ出てから役に立つ内容であり満足していると記述していた。	ロールプレイングを取り入れながらビジネス実務の基本が学べるように工夫したい。			

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力して下さい		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
秘書概論	仁平章子	授業中の自己評価は学内平均値より低かった。教員の取組については、学生の質問や発言に適切に対応している評価が高かった。他はすべてにおいて学内平均値より低い評価であった。木曜日2時限目の回答が2名であり、木曜日3時限目の回答と合わせて記述した。	秘書の仕事がよくわかったという記述が複数あった。また、秘書検定試験の取組も評価している。	会社での取り組み方を分かりやすく概説する工夫をしたい。また、秘書検定試験への取組を強化して、社会に出て働く意欲を創出できるように工夫したい。			
秘書実務演習	仁平章子	学内平均値より高い評価の項目もあったが、シラバスに書かれた授業目標を達成するのに適した内容であったかについては、学内平均値を下回っていた。回答人数が月曜日の授業では、2名、金曜日の授業では、4名であり合わせて記述した。	秘書の勉強ができて良かったという意見が多かった。	演習科目で、授業の人数が少ないために学生への負担が大きかった分、学生は真剣に取り組めたのではないかと思う。少数でも学生が、楽しく取り組める授業になるように工夫したい。			
簿記入門	吉田 弘	授業のテーマを明確にし、全体に流れや要点をつかみやすくし、理解のアップにつなげたい。	限られた授業時間の中での、授業の進捗と到達度のバランスに苦慮した。	元	1	1	1
現代社会論	伏木真理子	教員の話し方、勉強しやすい環境作りにおいて評価が低く、目標達成に適した授業内容であるが、総合評価はどちらでもないという結果であった。	情報セキュリティについて詳しく知ることができた。内容は難しいが、伝えようと言われていた。勉強になった。難しい言葉が多かった。難しくわからなかった。やさしくわかりやすく教えてほしい。	学期の途中で私語が増えたので終盤に座席変更したが、もう少し早い時期に座席を見直せばよかった。昨年より教える内容を絞り込んだが、専門用語は難しく感じる学生がおり、それが理解度に影響している。噛み砕いて説明する必要があると思う。	1	1	1
Business English	奥田 純	受講生8人に対して回答してくれたのは1人で、評価は芳しくなかった。自由記述の内容(右記)があまり反映されない結果となっている。	自由記述は8人中6人の学生が書いてくれたが、分かりやすかった、楽しかった、集中できたという意見が多かった。ただ、難しかった、聴き取りの英語が速すぎるという評もあった。	Business Englishのため英語の内容はやや難しくなる。教科書の中でも取捨選択して適切な項目を取り上げているが、授業の進め方もさらに工夫したい。	1	1	1
国内観光地理研究	西川 博	関心の高い学生とそうでない学生の差が大きく、身近な観光地と結びつけながら学習を進めていく必要性を感じました。	日本の観光地を知ったことで、地理や旅行に関心を持ってたという積極的な意見も出ていました。映像を利用した観光地の紹介などに反応も良く、視聴覚教材を適切に利用することも大事と感じました。	関西の身近な観光地と、日本の主要な観光地をリンクさせながら学習を進めていくことが大事だと感じています。学生の目線に近いところから観光地理をとらえていくような授業展開の工夫をしたいと思います。	1	1	1
トラベル実務基礎	西川 博	前年度に比べ、学生の科目への関心も低下しているように感じられます。科目への興味・関心を向けていくことから授業展開していく工夫が必要なのかと感じています。	内容は難しいけど、プリントに書き込めることで理解が進んだ等積極的な意見と共に、板書への注文もあり、授業の進め方の中での改善も必要であると感じました。	旅行実務は内容が難しいという指摘もあり、基礎的なものを中心にもうすこし中身を絞って、じっくりと展開しながら進めて行く必要もあるのではないかと感じ、この点をしっかりとおさえて授業を行っていきたいと思います。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力して下さい		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
人間関係論	北村瑞穂	全体的にはよい評価を頂いているが、授業を受けやすい環境づくりと学生の集中度が低めであった。昨年度よりも評価がやや低くなっている。	「身近な出来事を心理学で説明してもらえたので関心を持った」という意見があった。全体的に好意的な意見が多かった。	授業自体の満足度はそれほど低くはないが、学生の集中は途切れがちであることが分かった。より興味を持たせる内容を検討したい。	1	1	1
臨床心理学	北村瑞穂	ほぼ学内平均と同じくらいの評価だった。この授業は内容が専門的で昨年も総合評価があまり伸びない傾向にある。	「心の病気やカウンセリングについて知れてよかった」という意見があった。「内容が難しすぎた、ビデオが観たかった」という意見があった。	心理エリアの授業の中では、臨床心理学は内容が高度で理解しにくいようである。今期はビデオ教材を控えたが、来期は適切なものがあれば使用したい。	1	1	1
家族心理学	森石加世子	予想以上に、また、前年度と比較しても良い評価がされたので、今後、継続されるように細部に配慮して授業を行いたい。	全体的に評価が良く、今後も研鑽に励みたい。	今年度は、学習意欲や関心の高い学生が比較的多かったために、授業評価も高くなったように思われ、その点を今後、考慮したい。	1	1	1
性格の理解と把握	北村瑞穂	教員の授業については、かなり高い評価を頂いた。しかし、学生の授業態度は平均を下回った。	心理テストが好評だった。「自分の性格について興味を持てるようになった」という意見があった。	授業アンケートの結果はかなりよかったが、授業中は私語がおさまらず、真面目な学生に迷惑をかけた。例年に比べて、授業への関心も高いとは思えなかった。来年度は私語対策をしたい。	1	1	1
心理学演習	北村瑞穂	学生の授業態度も教員の授業についても、かなり高い評価だった。	「占いや疑似科学について疑ってみる姿勢を身につけることができた」という意見があった。	少数の授業だったため、アンケート評価は高かったのだと思うが、実際には授業に関心がない学生もいた。内容が高度で統計への理解が必要なため、数学が苦手な学生には関心を持ってもらいたい。内容を見直したいと思う。	1	1	1
カウンセリング概論	鍛冶谷静	ライフと保育の授業であるが、ライフの学生がほとんど失格で脱落してしまいとても残念に思っている。最後まで受講した学生はモチベーションがそもそも高いためか、評価も高く出た。	理論中心でかなり専門的な内容のためか、受講しきった学生には「頑張った」という達成感をもたらすようである。	学生にとってハードルの高い授業だったかもしれないが、学生の頑張りや教員のモチベーションも上げる。一方で、脱落(履修辞退)を減少させるための方策も考えたい。	1	1	1
子どもと絵画	中路規夫	学生からは良い評価を頂いた。が、学生の私語を注意し勉強しやすい環境を作れてなかったようで、そこが残念。前年まで気を付けていたのだが、初めての指摘で気付いた。	皆から楽しい授業だと言ってもらえたのが幸いである。楽しくなければ良い作品は生まれてこないから…。	良い作品が生まれるように楽しく作れるような環境を作っていきたいと思う。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
いのちの科学	坂口守彦	授業の教え方については、前年はほぼ学内平均のレベルにとどまっていたが、今年は学内平均をかなり上まわっていた。授業の中身についても今年度は比較的好評であった。本科目は理科系科目の中で重要なものであるから、授業のはじめにこの点を強調するが十分に理解されているとは言いがたい。	授業のスピードはとくに問題はないが、内容が高度で理解しがたいところがあるという意見が少数ながら認められた。しかし、例年のことだが、自由記述の用紙に何らかの意見を述べているのは、きわめて一部に過ぎない。	一般に授業にたいする熱意が希薄であるため、内容をさらに基礎的なものに変更し、また授業内容の範囲を限定する。	1	1	1
くらしと環境	伏木真理子	教員の話し方、授業の工夫、学生の質問や発言に対する対応、勉強しやすい環境作りの全てにおいて良いという評価であり、目標達成に適した授業内容で理解しやすく、総合評価は良いという結果であった。	静かで聞きやすかった。熱心に教えてくれた。説明はわかりやすいが、説明だけでなく板書もあるほうがよい。書くほうが理解しやすい。進むのが早い。難しく、よくわからなかった。	テキストに既に重要なポイントが整理されており、それに関連した図表も載っているため、板書はテキストに載っていないもののみしていた。書くほうがよいという声もあるので、テキストを使わず、プリント配付と板書にするのも検討しようと思う。	1	1	1
視覚障害者の生活と支援	安田知博	少人数の実習科目ということで、学生一人ひとりの意欲や学習スタイルを見極めながら授業を進めたが、そのような姿勢がおおむね好意的に評価されたものと理解している。	今回、点字を本格的に学びたいと考える学生が少なかったため、視覚障害者の生活や支援についての話を長くし、点字の実技の時間を短くした。それに対して、点字をしっかりと学びたいという反応があったものと理解している。最もな指摘であると考えて。今後、科目設置の経緯や私の守備範囲を再検討したうえで、より良い授業の方向性を模索したい。	何をどのように学びたいのかを、一人ひとりから十分に聞き取ったうえで、それを最大限に生かした授業を心がける。	1	1	1
くらしと音楽	仲宗根稔	学内平均を上回っているとはいえ、前年度の評価よりポイントは下がった。原因は分かっているので授業準備をしっかりとしていきたい。	多く意見を書いてもらったのがミュージックベルの課題、次に高齢者施設で歌われていそうな昭和歌謡の課題に満足した声が多かった。もっと歌を教えて欲しいと言う声もあったが覚えて歌えることを到達目標にしたのでどうしても限られた曲数になってしまった。	今回登録時は20名を超える履修者であった。途中辞退者が数名出たのはこちらの指導方法に問題があると考えている。人数に左右されない授業工夫や改善が必要であると考えている。	1	1	1
人間の尊厳と自立	石川 肇	7割以上の学生が総合評価で高い評価をしてくれたので、授業の意図が伝わったように思われる。	難しい内容だったが、丁寧な説明や質問にすぐ答えてくれたなど、理解が出来たと言う意見が多くあった。板書に対する批判も多かった	板書方法の工夫やスライドの使い方などを工夫し、より興味を持ちやすい内容にしていきたい。	1	1	1
人間関係とコミュニケーション	石川 肇	7割以上の学生が理解のしやすさ、総合評価で高い評価をしてくれたので、授業の意図が伝わったように思われる。	事例や教員の体験団などが聞けて楽しかった。コミュニケーション理解が新生児から高齢者までつながっていて理解しやすかったとの意見が多かった。板書に対する批判も多かった	板書方法の工夫やスライドの使い方などを工夫し、より興味を持ちやすい内容にしていきたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
社会の理解Ⅱ	石川 肇	8割以上の学生が理解のしやすさ、総合評価で高い評価してくれたので、授業の意図が伝わったように思われる。	社会福祉制度の理解が難しかったが、プリント配布があつて理解しやすかったと言う意見が多かった。板書量が多いとの批判もあった。	板書方法の工夫やスライドの使い方などを工夫し、より興味を持ちやすい内容にしていきたい。	1	1	1
介護の基本A	石川 肇	7割以上の学生が理解のしやすさ、総合評価で高い評価してくれたので、授業の意図が伝わったように思われる。	授業での教員の話が多すぎたこと、内容が難しかったと言う意見と、板書が多く、字も読みにくいとの指摘があつた	板書の字が読みにくい(字が下手)との指摘があつたので、丁寧な板書の心がけたい。量的な配慮も必要かと感じた。	1	1	1
介護の基本B	吉井珠代	全般的に学内平均を上回り、昨年度と比較してかなり高い結果となった。当該科目は、介護の基本や尊厳などという抽象的な概念・本質論を伝える科目なので、学生には難易度が高いと思われるが、私自身は視聴覚教材を効果的に取り入れ、昨年以上にイメージが付きやすいエピソードを入れる工夫をして、よりわかりやすく説明したことが高い評価につながつたと思われる。	視聴覚教材を多く用いてわかりやすい説明を心がけたので、学生からも「わかりやすい」といった好意的な感想を多く受けた。日常の授業が、日ごろ高齢者との接触頻度が低い学生にとって、介護に対する良いイメージ形成に役立っていると思われる。	昨年度以上に、教科書に沿った授業展開を心がけた。毎回、学生に発問して考えさせながら次に進めていく方法をとるようにしていたので、学生の授業中の反応も良く、前向きに授業に参加してくれていたと思う。	1	1	1
介護の基本D(介護福祉士のはたらく場)	植北康嗣	学生評価の平均は全体的に高かったが、教員の取り組み姿勢と授業内容では3割の人がどちらでもないという意見が多かった。また、授業の中身についても、25%がどちらでもないという評価している。さらに改善を検討したい。	介護福祉士の役割とはたらく環境について、わかりやすく学ぶことができたという意見が多かった。また、介護職の歴史的な背景について説明したことも良かったという意見もあった。	はじめての実習に向けて、職場環境をイメージできるようにすすめた。ただ、既存の施設紹介資料やビデオでは、具体的な利用者の状況を想像しにくいようにも感じた。特に障害者施設は、経験者も少なく実習現場でカルチャーショックを受ける学生もいたようだった。	1	1	1
介護の基本E(実践における連携)	植北康嗣	学生からは他の科目以上に高い評価を受けることができた。学生自身も主体的に取り組み、考える機会を作ったのがよかったのではないだろうか。	グループワークを通じて、自身の性格や考え方に気づく機会が多かったことを良かったと書いている学生が多かった。	演習を通じて、自分や他者の考え方を知り、共感受容することが職場内での連携に重要であることを感じたことで、組織やチームでの立ち振る舞いが学べたと思う。コンセンサス演習後には、すべての人に発言の機会を与えることができなかったことを客観的に反省する学生もおり、学生の成長も感じられた。	1	1	1
コミュニケーション技術Ⅰ	小室八千代	グループワークを多く取り入れたので眠れなかったと思う。	小テストはありがたかった。演習が多く楽しかった。(というのが自由記述の内容であった)	毎回テストは多すぎたかもしれない。テキストが1年生には難しい内容が多い。	1	1	1
生活支援技術A(居住環境・睡眠)	植北康嗣	学生評価の平均は全体的に高かったが、教員の取り組み姿勢と授業内容では3割弱の人がどちらでもないという評価している。さらに、改善点を検討したい。	演習に集中できる環境だったやわかりやすい内容だったなど、全体的に高く評価された。	授業では、学生が公平に演習時間がもてるよう班編成なども随時調整できるようにしたい。	0	0	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
生活支援技術C (移動・移乗)	植北康嗣	学生評価の平均は全体的に高かったが、教員の取り組み姿勢と授業内容では2割の人がどちらでもないと評価している。また、授業の中身についても、3割がどちらでもないと評価している。さらに改善を検討したい。	たのしく授業に取り組めたなど学生が主体的に授業に参加していたことが伺えた。また、授業時間外に行っている演習項目別に取り組むスタンプラリーを通じて、しっかり演習体験ができたという意見もあった。	授業では、学生が公平に演習時間がもてるよう班編成なども随時調整できるようにしたい。	1	1	1
生活支援技術D (食事)	吉井珠代	全質問項目において学内平均を上回る授業評価(昨年度より高い点数になった)が得られた。当該科目は、介護技術の習得を目指しているため、学生に、利用者役・介護者役ロールプレイによる実技演習を繰り返し体験させたので、学生の満足度が高かったのだと推察する。	「実技演習が多くて楽しかった」という感想から、体験学習には興味を感じてくれているようである。また、最終時間に全学生と「演習を通して気づいたことの自由討論会」を実施したが、活発な意見が出たが、授業アンケートの自由筆記でも最終授業の満足度が高く出ていることから、参加型学習の効果が大きいといえる。	本年度同様、次年度も、学生自身が演習体験を通じて、共に自分たちの気づきを学び合う(振り返り)のための討論会)機会を取り入れていこうと思う。	1	1	1
生活支援技術G (家事)	上村聡子	学生から非常に高い評価を得ることが出来ている。演習・対話型の学習形態を多く取り入れたことが、学生の学びにつながったのではないだろうか。	実技が多く楽しかった、ためになったという意見が多かった。講義内容が少し難しいという意見も見られた。質問しやすい環境であったという意見があった。	講義内容の検討が必要。また、シラバスを検討し、講義と演習、GWを効果的に配置する必要性がある。実践化になる学生のため、対話型の講義で学生のモチベーション、自己効力感を高めることは、非常に重要と考える。	1	1	1
生活支援技術H (栄養・調理)	林真千子	学生からは予想以上によい評価を頂けた。今後も続けて好い評価を頂けるように努めたい。	調理実習を楽しんでとりくめたようで、回数を増やして欲しいという要望が多数あった。しかし、板書について、少々わかりにくいところがあったという意見が少数あった。	板書については、もう少しわかりやすくなるように努めたい。調理実習の回数については検討したい。	1	1	1
介護過程 I	吉井珠代	今年度初めて担当する科目であり、入学したての学生(高齢者との生活体験が少ない・皆無)に、個別援助計画を含む、利用者理解のための介護過程の理論を教えるのは非常に難しかった。しかし、学生も勉強が進み、他の科目の介護知識が増えてくると当該科目の理解も進んだようであり、最終的には、学内平均をかなり上回る授業評価が得られた。	当該科目は、2年間を通じて5科目配当・連続して教える科目である。特に、1年次前、後期は理論を教えることになるため、教科書を中心にして、対象者の生活がイメージできるように説明を加える工夫をした。その例題として、イラストで高齢者の介護場面を2題出し、3~4人でグループワークをさせたところ、活発な意見交換の場になり、今回の自由筆記でも好評だった。講義という授業形態科目であっても、ケア計画の立案が必要な場合は、他学生のアイデアを聴取させることが必要だと再認識できた。	本年度同様、次年度も、学生たちがグループワークを通じて、共に自分たちの気づきやケア計画を出し合う機会を取り入れていこうと思う。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
介護過程Ⅲ	吉井珠代	全質問項目において、学内平均を上回る授業評価(私自身の授業アンケートで最高点を得た)となった。中でも、学生の自己評価項目である「授業の集中度」と「総合評価」特に高かった。当該科目は、9月の介護実習において『利用者への“個別援助計画”を実際に立てられるようになる』という授業の目標を達成させるために、宿題(課題レポート)を多く課したが、学生は真面目に取り組んで提出できていた。これにより学生も、一人で援助計画立案することに自信がついたものと推察されるので、授業評価が高くなったと考える。	学生が立案した援助計画はカンファレンス方式による発表会として運営した。これにより「授業中に他の学生のケアプランが聞けて、いろいろな援助計画があることがわかり参考になった」「宿題を頑張ったので、自分で援助計画が立てられる自信がついた」などの好意的な記述が多かった。	1か月間の介護実習Ⅱの達成課題である“個別援助計画の立案・実施・評価：介護過程の展開”には、いくつかの介護事例を通して、「実際に援助計画を立案すること」が必須条件である。そのため、当該科目では、ペーパー事例2題、ビデオ事例1題を出している。次年度は、さらに授業で提供する事例の内容をコンパクト化して、学生が比較的簡単に介護上の課題を見つけることができる(授業中にかなりの範囲の介護計画立案が進む)ように工夫して、宿題の負担軽減を図るとともに、発表回数を増やして、学生に多くのケア計画(案)を持たせるようにしたいと思う。	1	1	1
介護過程Ⅳ	吉井珠代	今年度初めて担当する科目であり、在宅生活をする要介護高齢者の、個別援助計画を含むケアマネジメント知識や、住み慣れた自宅の住環境改修なども取り入れた介護過程の授業とした。学生の多くは要介護状態になっても在宅生活を継続させることに理解を示し、6月中に体験した「居宅介護実習」の学びを生かしながら、いろいろなプランを出していき、結果的には、学内平均をかなり上回る授業評価が得られた。	高齢者との生活体験が少ない学生が多いので、ペーパー事例の個別援助計画立案は、3～4名のグループ単位で考えさせた。各グループの計画をそれぞれ発表させることで、多くの援助計画を共有することができたようで、非常に満足度の高いコメント(“カンファレンス方式の発表会”は好評だった)が寄せられた。	本年度同様、次年度も、学生たちがグループワークとケア計画の発表会を通じて、共に自分たちの気づきや多くのケア計画の共有し合う機会を提供していこうと思う。	1	1	1
介護総合演習Ⅰ	植北康嗣	学生評価の平均は全体的に高かったが、教員の取り組み姿勢と授業内容では3割前後の人がどちらでもない」と評価している。また、授業の中身についても、3割がどちらでもない」と評価している。さらに改善を検討したい。	実習に向けての書類準備や実習てびきの理解など課題も多く、予想以上に苦労したという学生の意見も多かった。	学生の多くが、面識のない人と話す機会が減少している。そのため、授業では、実習先での対応方法や一般的マナーだけでなく、相手の感情理解や自身の気持ちのもち方を十分に指導していきたい。	1	1	1
介護総合演習Ⅲ	植北康嗣	学生評価の平均は全体的に高く、とりあえずは満足できるものであった。学生の取り組み姿勢も以前の調査に比べて集中できていたのは良かった。	居宅及び最終実習に向けての準備ができてよかったという意見が多く聞かれた。実習記録の書き方について、再度説明を受けてよかったが、もっと時間をとって学びたいという意見も少数あった。	実習の総括に向けて、モチベーションを高めることを意識して授業を進めた。今後は、さらに自身の課題を明らかにして目的意識をもち実習に臨めるよう課題シードや実習項目別のチェックシートなども提案したい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力して下さい		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
認知症の理解Ⅱ	榊原和子	教員の授業内容への取り組みに関し、授業内容の工夫についての評価が平均より約0.2ポイント下回っている。授業に際し、プリント作成等工夫したが、学生の学修には不十分だったと考える。したがって、授業内容の理解も平均より約0.3ポイント低い値につながったと評価できる。昨年の考察結果から、講義内容の精選とプリントの活用をしたが不十分であったと考えられるため、より一層の精選を目指す。	時々早口になるという指摘が少数の意見としてみられた。	授業内容を前回の復習を徹底し、基礎的な内容の確認から積みあげる授業進行をするようにするとともに、資料の活用を工夫するように努める。	1	1	1
障がいの理解Ⅰ	石川 肇	9割以上の学生が理解のしやすさ、総合評価で高い評価をしてくれたので、授業の意図が伝わったように思われる。	解りやすく、体験談や事例の話が楽しかったと言う意見が多かった	板書の字が読みにくい(字が下手)との指摘があったので、丁寧な板書の心がけたい。量的な配慮も必要かと感じた。	1	1	1
こころとからだのしくみA(身じたく)	上村聡子	学内平均よりも高い評価を得ることが出来ている。初年時教育の必要性を考えながら授業案を作成したことが、このたびの結果につながったのではないだろうか。ただ、講義中に居眠りをする学生もみられたため、講義の方法を検討する必要性が合った。	DVD、スライドなど、視聴覚教材を使用することへの良い評価が得られた。授業の進行が少し早い、難しいという意見と、わかりやすいという意見の両方がみられた。	今年度で終了	1	1	1
こころとからだのしくみB(移動・睡眠)	植北康嗣	学生評価の平均は全体的に高かったが、教員の取り組み姿勢と授業内容では3割前後の人がどちらでもないと評価している。また、授業の中身についても、25%の人がどちらでもないと評価している。さらに改善を検討したい。	わかりやすい説明だったという意見が多かった。専門用語や漢字についても少しゆっくりと説明してほしいという意見もあった。	単調な授業にならないよう、視覚教材を取り入れたことは、学生たちには好評だった。もっと事例を学びたいという意見もあったので、日常生活と結びつくような説明や資料の提供をしていきたい。	1	1	1
こころとからだのしくみC(食事・排泄)	吉井珠代	全般的に学内平均を上回る授業評価を得ることができた。当該科目は、医学知識を覚えることが中心になるので、暗記が苦手な学生には難易度の高い科目だったと思われるが、授業の総合評価も学内平均をかなり上回った。	「健康に関する知識が増えて、役だった」「小テストが助かった」「覚える科目は苦手だったが、知識が増えてきて嬉しくなってきた」という好意的な感想が多かった。	昨年度から、授業内容に関して一回に教える内容をやや少なくして、復習の意味において、次の週の初めには前回の知識確認しながら新しい単元に入っていく方法(小テストも3回実施)をとったので、今後もよりフィードバックを確実にしていきたい。	1	1	1
レクリエーション理論	池邊美保子	やる気のある学生達で、いつも明るく取り組んでくれ理解度も大変良かった。予想以上の評価を頂いて後期にもつなげたい。	毎回自己評価表を提出してもらい、不明な点等がわかりホローもでき、よく理解できたとの意見が多かった。	学生の人数が13名とコミュニケーションがよくとれているので、この積極性を伸ばしていきたいと思います。	1	1	1
医療事務演習	河口祐子	とてもいい評価をいただいた。	難しかった。つまずいてもフォローしてくれたのがよかった。	進路と関係ない授業であったが、良好なコミュニケーションのもと授業ができた。テキストが難しかったため、わかりやすい物に変更したい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
英語 (英会話B) (1・2・3組)	伊藤紀美江	前期同様、わざと授業妨害をしているような学生に悩まされ注意するために授業を中断したり、表情も硬くなっていたと思う。それが平均を下回る結果に繋がったのかもしれない。ただし、この学生は他の授業でも同じような態度であることを他の教科の先生から聞かされ、私への個人的な反発では無いことが分かり少し救われた。	自由記述で書いてくれた内容は非常に好意的なものであったが、3階の小児保健の教室の真ん中の列を3列にして座らせると、いくら教員が注意しても喋り続ける学生がいるので、2列にして欲しいという意見があった。	2014年度は担当しないが、新しく担当される先生からメールで質問があったので、注意点など率直にお話した。	1	0	0
英語 (英会話B) (4・5・6組)	伊藤紀美江	II 限目の方が学生の反応も良く授業も和やかに出来ていたと思っていたし、また力を抜いて授業をしたことは無いと思うのだが、1の評価があったのにはショックだった。	自由記述で書いてくれた内容は非常に好意的なものであった。	2014年度は担当しないが、新しく担当される先生からメールで質問があったので、注意点など率直にお話した。	1	0	0
保育者 キャリア 支援B	工藤真由美	教材の提供の仕方に問題があったようである。難易度が高すぎたという声ともう少し難しくても良いという意見に向き合う努力に努めたい。	自由記述は概ね満足しているものの意見が目立つ。記述の仕方にもアンケート時に言及したい。	教材の難易度について、学生をよく見極めて理解度の定着を図りたい。	1	1	1
保育者 キャリア 支援B	工藤真由美	教材の提供の仕方に問題があったようである。難易度が高すぎたという声ともう少し難しくても良いという意見に向き合う努力に努めたい。	自由記述は概ね満足しているものの意見が目立つ。記述の仕方にもアンケート時に言及したい。	教材の難易度について、学生をよく見極めて理解度の定着を図りたい。	1	1	1
言葉と表現 II	工藤真由美	基礎科目に比べて、専門科目であるので、興味関心が高く評価も高かった。それでも内容の理解にはばらつきがあり、それが評価にも表れたと思われる。	自由記述で満足だと記したものは記述量も大変多く、示唆に富んでいた。今後記載の仕方を含めてアンケート時に言及していきたい。	専門科目としてのレベルと、学生の理解度の定着とを勘案しながら授業を改善していきたい。	1	1	1
言葉と表現 II	工藤真由美	基礎科目に比べて、専門科目であるので、興味関心が高く評価も高かった。それでも内容の理解にはばらつきがあり、それが評価にも表れたと思われる。	自由記述で満足だと記したものは記述量も大変多く、示唆に富んでいた。今後記載の仕方を含めてアンケート時に言及していきたい。	専門科目としてのレベルと、学生の理解度の定着とを勘案しながら授業を改善していきたい。	1	1	1
音楽 I (Aクラス)	久保雅世	ほとんどの項目で、学内平均を上回る評価を頂いた。特に授業の教えた方や中身についての項目では「そう思う」と答えた学生が多かった。	自由記述では、丁寧に教えて貰えた等、個人に合わせた1対1のレッスンが評価されていたと思う。	音楽 I の授業では、自分で楽譜を読み、演奏する力を身につけるために、まずは基礎の部分の徹底が大切だと感じる。拍子をとる事、指番号を書く事等、その必要性が伝わる授業作りを心掛けたい。	1	1	1
音楽 I (Bクラス)	森脇由紀	学生の私語注意の項目で4近い評価を得たのは、取り組みが学生に伝わっているという意味で良かった。授業内での課題は難しいものとなっており、学生の理解、意識改革、習得にはさらに教員の努力が必要といえる。	課題が難しい、課題の量が多い等の意見があった。また、個人レッスンの時間を増やしてほしいという記述も複数あった。きめ細かい指導を授業の時間をうまく使ってしていきたい。	複数の教員で担当する授業なので、教員間での話し合い、意見を出し合いさらに良くしていきたい。学生のやる気を引き出し、将来実際の現場で役立つ授業内容とするために必要な課題であることを理解して前向きに取り組んでもらえるよう、授業づくりを進めていかなければいけない。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
音楽Ⅰ (学保1クラス)	穂谷さつき	学生の授業での取り組み姿勢についての評価は、半数の学生が集中して授業に取り組んでくれたようだが、授業内容の項目に対する評価が低い結果となった。課題が多い事も一因していると思うが、この科目は授業以外の日々の練習の積み上げも重要となるので、課題の指導目的や内容と共に、日頃の練習計画、及びその計画実行について考えたい。	課題の量が多い。 課題が難しい。 等の記述が目立った。	実技授業の特性から個人差が大きいのので、初心者が現場で反映できる技量を身に着けるための課題をこなすのは大変なようである。しかし、今年度も初心者ながらもよい結果を出せた学生もいる。反面、能力がありながら普段の練習が足らず思うように試験で結果を出せなかった学生もいた。上手くルールに乗れない学生についての対策として授業内テストなどを実施してきたが、後期終了間際に課題がこなせていない学生がいた事は否めない。課題の提示の工夫は勿論であるが、日頃の自宅練習についての大切さを真剣に考えさせる工夫が必要である。	1	1	1
音楽Ⅰ (学保2クラス)	森 麻希子	全項目において、学内平均を下回る結果となった。中でも「どちらでもない」と回答した学生が多かった。	「ピアノのテスト曲数を減らしてほしい」「ピアノを丁寧に教えてくれた」「ピアノの時間配分ができてないときがある」「丁寧に指導してくれているが、時間がもう少しほしい」「1年生の授業態度がよくない」など様々な意見があった。	課題の量について、不満を漏らす声もあるが、じっくりと学ぶ機会は学生の間にないことを、繰り返し伝え、将来現場で生かせるように指導していきたい。学生一人一人が、必要なことを前向きに取り組めるよう授業内容を工夫していきたい。	1	1	1
音楽Ⅱ (1・2組)	小齊由美	前期と比較して、「勉強しやすい環境を作っていた」の項目のみ学内平均を上回る結果となったが、全体的には評価が上がった。	授業内テストが多い、ピアノの時間が短い等の意見がある反面、就職対策に役立った、たくさん課題がこなせて良かったなどの意見もあった。	教材や説明に工夫を凝らし、学生一人一人が有意義な授業になるように、授業の理解度を高める努力をした。	1	1	1
音楽Ⅱ (3・4組)	木谷祐子	学生の取り組み姿勢は学内平均より高かった。教員の取り組み姿勢は若干、学内平均を下回ったが、前期に比べると改善されていた。学生の質問等への対応や、私語注意の項目が高い評価だったのは良かったと思う。	最後の授業を定期試験ではなく演奏会にしたが、自主的な要素を含んでいたためか、学生も積極的に取り組んでいたようで、そのことに触れての前向きな記述が多かった。	日々、分かりやすい話し方や、伝え方を考え、工夫したいと思う。また、ピアノは目に見えてすぐに上達するものではなく、日々のコツコツした積み重ねが力となっていくので、学生が将来を見据えて努力を維持できるよう、教員全体で熱意を持って授業にあたりたいと思う。	1	1	1
音楽Ⅱ (5・6組)	島長恵美	全項目にわたって学年平均を上回る評価を頂いた。担当者全員が熱意をもって授業に臨んだことが学生のモチベーションをより高め、積極的に授業に取り組む姿勢につながったのではないかと嬉しく思う。	最終授業を発表会形式にしたこともあって、「演目をみんなで練習できたことが楽しかったし良い思い出になった」という意見が多かった。また、「ピアノは難しかったが、いろいろな曲に取り組んで、今ではピアノを弾くことが楽しくなった」「授業を通じていろいろ学ぶことや知ることができて、とても良かった」という記述もあった。	年度当初からやる気のある学生の多いクラスではあった。しかし、前期のアンケート結果では、教員の熱意が学生の“本当に教えて欲しいこと”に届いていない面があったのかもしれないと考え、後期は、担当者全員がさらなる熱意と工夫をもって授業が良い方向になるように努めたことが、今回の結果につながったと思う。学生が持っているいろいろな力を最大限に発揮させることができるようなアプローチを常に大切にしながら、新年度を迎えたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
図工Ⅱ	服部正志	授業内容の理解において学内平均を下回る結果となっていることから、伝達の方法(可視化)を改めて考える必要がある。	「課題数が多かった」という意見があり、もう少しゆとりを持って考える時間を確保する。	成績のためにただ作るのではなく、課題制作が、将来自ら子どもたちと向き合う時の実践イメージにつながるよう努める。しっかりと作ることを意識させる。	1	1	1
生活Ⅱ	長谷秀揮	授業の工夫に関する項目は学内平均よりかなり高い評価だったが、環境づくりの項目が少し低い評価となった。授業の内容の2つの項目は学内平均より高い評価結果となった。	授業がとても理解しやすく、分かりやすかった、との意見が多数あり、反面書くことが多く大変だったとの意見も若干あった。ノートすることの意義についてさらに理解を促す必要性を感じた。	学生の勉強しやすい環境づくりについては、私語を徹底して注意するなど、さらに丁寧に取り組むようにしたい。また、より理解しやすい内容となるように授業の工夫改善に努めたい。	1	1	1
保育者論(4・5・6組)	富永美栄子	月曜日の1時限で集中しにくく疲れ気味の学生が多かったです。学年平均はやや低かったが、学生への私語の注意やシラバスに沿った授業内容などは良い評価を得ることができた。	実際の保育園の様子や事例などを聞けたり、絵本・歌・手遊びなどを取り入れてもらい楽しかったとの記述もあり、実践に役立つ教材を増やし、保育士志望がより高まるように努めます。	授業全般に保育者からの視点・観点のあり方を学び、実践に役立てられる内容を今後も続けていきたい。資料にある難しい言葉の意味や丁寧に教えてもらったとの記述もあり、より授業の改善に取り組めます。	1	1	1
保育者論(1・2・3組)	富永美栄子	授業評価はやや下回りましたが、学生からは予想以上の評価を貰う事ができた。	実際の保育園の様子や事例などを聞けたり、絵本・歌・手遊びなどを取り入れてもらい楽しかったとの記述もあり、実践に役立つ教材を増やし、保育士志望がより高まるように努めます。	授業全般に保育者からの視点・観点のあり方を学び、実践に役立てられる内容を今後も続けていきたい。資料にある難しい言葉の意味や丁寧に教えてもらったとの記述もあり、より授業の改善に取り組めます。	1	1	1
発達心理学Ⅱ(1・2・3組)	鍛冶谷静	担当して2年目であるが、昨年度より良い評価だった。パワポなど授業の工夫が評価されており、準備に時間をかけた部分でもあったので今後の励みになった。	教員の雑談的なエピソードによって授業内容に興味を持てたとの意見がいくつかあった。	内容ももちろんだが、学生が興味を持てるような提示のしかたがカギと思う。	1	1	1
発達心理学Ⅱ(4・5・6組)	鍛冶谷静	担当して2年目であるが、昨年度より良い評価だった。特に理解しやすさが評価されていた。学生の受講態度も良く、助けられたと思う。	立ち位置によってスクリーンが見えにくかったという声があった。留意したい。	内容ももちろんだが、学生が興味を持てるような提示のしかたがカギと思う。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力して下さい	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
子どもの食と栄養	石村哲代	1. 学生の授業への取り組み姿勢については、2、3共に4.0を超えており、私語や居眠りをせず、授業に集中したと、自身の姿勢を高く評価している。実習や演習の他、2コマ続きの講義があったにも関わらず、真面目に授業に取り組んでくれた様子がうかがえる。 2. 教員の取り組み姿勢では、1.の「聞き取りやすさ」の評価が4.0を下回っていた。これまで気づかなかった指摘であり、大いに反省している。 3. 3.の「質問に対する対応」、4.の「人的学習環境」については、特に留意した点であるが、その努力が学生に伝わり、相応の評価をしてくれたことは嬉しい。	毎回のことであるが、全員に、「必ず5行以上は記述するように」との指示の下で実施した。 毎回大体同じような内容で、「2コマ続きの講義は辛く」、「実習の回数を増やして欲しい」、「将来役に立つことが多かったのだった」との記述が多かった。実習を増やしたいのは山々であるが、授業内容については厚労省の基準があるためこれ以上は難しい。2コマ続きの講義については、学生の不満ももつともなので、さらに工夫が必要と考えている。	毎回、学生の不満の原因は、「2コマ続きの講義がしんどい」ということであり、これに対する改善が必要と考えている。これまでに実施した改善点は次の2点である。 ①連続する2コマ目の授業の終了20分前に小テストを実施。授業中に書き込んだプリントやテキストの持ち込みを可としているので、授業中に私語をしたり眠っていたりしていると明らかに書けないので、学生は必然的に授業に集中せざるを得ない。また授業をきちんと聞いていれば高い点数が取れるので、学生の意欲向上にも役立っているように思われる。 ②重点事項については、演習問題の形式にして、テキストや参考書を参考にして学生自身に解答を見つけさせ、全員の前で解答させたりする機会を増やしている。	1	1	1	
子どもの食と栄養	奥田玲子	全ての項目で前期の評価点、学内平均を、ともに上回る高い評価をいただいた。全ての項目で改善の効果が見られた。理解度の評価点は、前期から大きく改善したが、過去最高の昨年度後期よりはやや低い結果であった。	教員は厳しかったが、その分受講しやすい環境であり、授業に集中できたという意見が多かった。また、実習は楽しく、生活にも役立つ内容であったとの意見も多く見られた。	学生の理解度の向上のため、重要事項を繰り返し丁寧に説明するなど改善に努める。	1	1	1	
乳児保育	城野富美代	学生自身の授業への取り組み姿勢において、授業中、私語、メール、居眠りをした及び授業中勉強に集中していなかったという率が高いほど、授業内容においても理解できなかつたようです。授業が楽しく集中できる方法を検討。	絵本作りや、手遊び等実践がとても楽しく勉強になったといった意見が多かった。	授業の組み立てをクラスの雰囲気によって変えるなど工夫をする	1	1	1	
乳児保育	城野富美代	クラスによって理解度も違うことから、指導方法もクラスによって変えることが必要。	楽しかった、もっと勉強したい。といった意見を多くいただきました。就職が近づくことで、勉強の必要性を感じているようです。また、授業の始まりに前回の学習した大切な所を復習してから当日の授業に入るのにより理解できたと言った意見もあった。	講義の場合はしんどい学生が多いことから、できるだけ実践やワークショップ形式を取り入れた内容で展開する。	1	1	1	
乳児保育	城野富美代	授業の内容も理解しやすかったという評価をいただき、プリントを利用した授業が学生には理解しやすいと思われる。	とても勉強になったという意見が多く、非常にうれしうれしいです。もっと早くこの授業を勉強したかったという意見を多くいただきました。実習の現場で役立つことが多かったようです。	テキスト及びプリントを同時に使用し、プリントにはテキストの大切な部分をまとめ、テキストの内容がよく理解できるように言った思いで指導している。	1	1	1	

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
障害児保育	美越芳枝	前期担当者と異なるため、授業の教え方が異なっているため、同じ科目なのに学生に戸惑い？が生じていたのかもしれない。(前期は障害に関する専門的な教授が指導されていた)今後、このような場合は改善していきたい。	「授業の進み方が早い」「書くことが多い」「試験を持ち込み有りにして欲しい」等の意見が少数あった。「声が大きく聞き取り易かった」「プリントが分かり易かった」また「楽しかった」等の意見も比較的多くあった。今後の授業構成の参考としたい。	アンケート I 2, 3 の学生評価から授業への取り組み姿勢の甘さが気にかかる。全ての学生が授業への意識を高めていく為にも、授業内容の理解度を考慮し、工夫しながら進めていく必要性を感じた。 毎回、全学生の評価の平均値を知りたいと思う。	1	1	1
障害児保育	美越芳枝	前期担当者と異なるため、授業の教え方が異なっているため、同じ科目なのに学生に戸惑い？が生じていたのかもしれない。(前期は障害に関する専門的な教授が指導されていた)今後、このような場合は改善していきたい。	「授業の進み方が早い」「書くことが多い」「試験を持ち込み有りにして欲しい」等の意見が少数あった。「声が大きく聞き取り易かった」「分かり易かった」また「楽しかった」等の意見も比較的多くあった。今後の授業構成の参考としたい。	アンケート I 2, 3 の学生評価から授業への取り組み姿勢の甘さが気にかかる。全ての学生が授業への意識を高めていく為にも、授業内容の理解度を考慮し、工夫しながら進めていく必要性を感じた。 毎回、全学生の評価の平均値を知りたいと思う。	1	1	1
児童家庭福祉	曾和信一	教員の授業への取り組み姿勢について見ると、学内平均と授業平均との間に大差がないという結果になっている。	授業内容がやや難しく、勉強へ集中が必ずしも高まったという内容の意見があった。	教員の授業への取り組みの姿勢(授業の教え方)を点検し直し、授業の教え方に関して自己研鑽していきたいと考える。	1	1	1
児童家庭福祉	曾和信一	授業の内容(授業の中身)を問う質問項目について、授業内容の理解度が学内平均をかなり上回っている結果である。	パワーポイントやビデオを用いるなど、内容は難しいがわかりやすい授業への工夫が見られるという意見があった。	全体的に授業の内容をより高めていくために、視聴覚教材をはじめとして学生の授業への理解を促す創意工夫を重ねていきたいと考える。	1	1	1
社会的養護	曾和信一	教員の授業への取り組み姿勢について、全体的に授業平均が学内平均を下回っているという結果になっている。	授業内容が難しく、その内容への興味や関心が失せる時があるという意見が見られた。	授業への取り組み姿勢(教え方)を問い直し、学生にとってよりよいものにしていく努力をしていきたいと考える。	1	1	1
社会的養護	曾和信一	教員の姿勢及び授業の内容を問う項目について、すべての項目において授業平均が学内平均よりも上回っているという結果になっている。	授業に関して、好意的な意見が複数見られたが、授業内容について難しかったという意見もあった。	授業の内容を総体として高めていくために、プリントや視聴覚教材などの内容にも創意工夫を加えていきたいと考える。	1	1	1
教育課程論(1・2・3組)	山田秀江	全体的に低い評価となった。教員の話方や授業の工夫に関する評価が特に低く今後改善の必要がある。	指導計画の立て方など実践的で分かりやすいという意見がある反面プリント記入が分かりにくいという意見もあった。	残念な評価となったため今後は様々な工夫をし魅力のある授業を作っていきたい。	1	1	1
教育課程論(4・5・6組)	山田秀江	学生への対応が平均より低くなった。同じ科目を別のクラスでも担当しているがそちらのクラスと評価がかなり違って、一項目を除いて平均より高く、おおむねよい評価であった。	現場の話や指導計画の立て方など分かりやすかったという意見が多かった。	クラス間で評価に大きな違いがある。こちらのクラスは学生が非常に熱心で授業をよく聞いていたと思う。クラスの学ぶ雰囲気作りが授業評価に大きく影響すると思うので工夫していきたい。	1	1	1
保育内容演習(音楽表現)(1・2組)	永井 美穂	全項目で学内平均を下回る結果となっていた。授業の前半は保育祭の本番への制作・練習ということで、時間的にも余裕がなく、練習も試行錯誤の連続だったことが影響したのかもしれない。	回答数が大変少なかったが、楽しかったという意見が幾つかあった。保育祭に向けての練習時間が短い割には、求めているハードルが高かったため、練習時間を増やしてほしいという意見もあった。	学生が自主的に考えて創造的に取り組めるような演目を考えたいと思う。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
保育内容演習 (音楽表現) (3・4組)	泉 香叡	全ての項目において学内平均を大きく下回っており、非常に厳しい評価だった。後期が始まり、数回で本番を迎えるというハードなスケジュールの中で希望する役割になれなかった学生の多くから不満があり、意思疎通をうまくはかることができず反省点となった。保育祭が終わってからの授業回数も、リハーサルや本番の分の休講が続き、最後まで学生1人1人と向き合えなかった。	説明がわかりにくいという意見が多く、教員側からの伝え方を徹底すべきだと感じた。	学生全員に満足してもらえるよう工夫して、皆が納得のいく授業の方法を考えたい。			
保育内容演習 (音楽表現) (5・6組)	中谷 孝平	学生の積極的な参加が求められる授業内容であるため、教員の学生への対応、応答に対する評価が有ったので良かった。	授業内容が自分達の将来に役に立つという好意的なものがある中、課題の量を多く感じて、辛いと洩らす内容も少数であるが有った。	演習ということで、学生の自主性、自由度が自ずと高くなる授業ですので、その活動の環境を如何に整えるのか、その大切さを感じた。	1	1	1
保育内容演習 (造形表現)	香月欣浩	学内平均より下回っているものの、授業内容は理解しやすかったとはんだんできる	説明時間の長さなど具体的な意見を聞くことができた。	自分が思っていることと、受講している学生の感想は違うということ、いつも頭において授業を組み立てていく必要があると感じた	1	1	1
保育内容演習 (造形表現)	香月欣浩	学内平均と同じか上回っている評価であった。	私語の注意してほしいなどの意見が少数あった。	製作の授業であるため、時間が足りないことが全体の学生意見である。そのため説明時間を短縮してほしいという意見が多くあつと思われる。難しい問題だが改善していきたい。	1	1	1
保育内容演習 (造形表現)	香月欣浩	全ての項目で学内平均より下回っていて驚いている。	説明時間が長いという意見がいくつかあった。	評価があまりに低く驚いている。このクラスだけ特に理由は思い当たらないが、結果を受け止め更なる改善をしていきたい。	1	1	1
指導法の研究 (1・2・3組)	美越芳枝	授業の進め方等について昨年度の学生の意見を参考に進め方、内容等を参考に改善したが、効果があまり無い。基礎的なことにもっと絞込みが必要なものが？課題となる。 * 回答学生(20/51)以外の意見も知りたく思う。	「授業の進め方が早い」・「注意が多い」の意見や「声が大きく聞き取り易かった」「いい授業でした」とか「楽しかった」等もあり、今後の授業構成の参考としたい。	アンケート I 2. 3 の学生評価から授業への取り組み姿勢の甘さが気にかかる。全ての学生が授業への意識を高めていく為にも、授業内容の理解度を考慮し、工夫しながら進めていく必要性を感じた。毎回、全学生の評価の平均値を知りたいと思う。	1	1	1
指導法の研究 (4・5・6組)	美越芳枝	上記組よりもアンケートⅡに対する評価が低い、全て同様に取り組んでいるが、人数・再履修者の態度等の雰囲気にも左右されたのか？他の件については上記と同じ。 * 回答学生(18/59再履修者5名含む)以外の意見も知りたく思う。	「授業の進め方が早い」・「テスト範囲を狭くして欲しい」や、「再履修者が多く態度も良くないイライラした」等の意見や「声が大きく聞き取り易かった」「プリントや事例などで理解し易かった」また「楽しかった」等もあり、今後の授業構成の参考としたい。	アンケート I 2. 3 の学生評価から授業への取り組み姿勢の甘さが気にかかる。全ての学生が授業への意識を高めていく為にも、授業内容の理解度を考慮し、工夫しながら進めていく必要性を感じた。毎回、全学生の評価の平均値を知りたいと思う。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
情報機器演習	柳本哲	全体に学内平均と同じ程度の評価となった。前年度の反省より、改善すべく心掛けたが、欠席者も入れ替わりあり、前年度と同じ程度の評価に終わったといえる。	パソコンに慣れ、より馴染めて、理解も深まり、自信に繋がったという意見と、TTによる個別指導がよかったという意見が多かった。パソコンは便利という感想もあった。	理解の難しそうな内容については、よりゆっくりと丁寧に、より確実に指導するようにしたい。人数が多くても個別指導が行き届くように気をつけたい。	1	1	1
情報機器演習	柳本哲	全体に学内平均より低い評価となった。前年度の反省より、改善すべく心掛けたが、朝1限目で欠席者も全体的に多く、授業効果が低くなった。	パソコンに慣れ、より馴染めて、理解も深まり、自信に繋がったという意見と、TTによる個別指導がよかったという意見が多かった。楽しかったという感想が多く見られた。	理解の難しそうな内容については、よりゆっくりと丁寧に、より確実に指導するようにしたい。遅刻欠席が少なくなるように、またその補充指導にも留意したい。	1	1	1
情報機器演習	柳本哲	全体に学内平均よりやや低いが、まずまずの評価といえる。前年度の反省より、改善すべく心掛けた結果といえそう。	パソコンに慣れ、より馴染めて、理解も深まり、自信に繋がったという意見と、TTによる個別指導がよかったという意見が多かった。タイピング練習が楽しかったという感想もあった。	引き続き、理解の難しそうな内容については、よりゆっくりと丁寧に、より確実に指導するようにしたい。	1	1	1
情報機器演習	柳本哲	全体に学内平均より高く、いい評価となった。前年度の反省より、改善すべく心掛けたこと、欠席者が少なかったことの結果といえそう。	パソコンに慣れ、より馴染めて、理解も深まり、自信に繋がったという意見と、TTによる個別指導がよかったという意見が多かった。少しスクリーンの説明が速いという意見もあった。	引き続き、理解の難しそうな内容については、よりゆっくりと丁寧に、より確実に指導するようにしたい。	1	1	1
教育相談	堀口節子	Ⅱの項目は学内平均と同じ程度の評価となったが、Ⅰの項目「私語、メール、居眠り等」勉強への集中」が学内平均より大きく下回った結果となった。反省し改善して行きたい。	楽しかった。プリントとPCを使っの授業で分かりやすかった。毎回、事例問題があり実践的な勉強ができてよかったという意見が多かった。他方、説明が早い、学生の私語等への注意が足りなかったとの指摘があった。	学生が興味を持って勉強に取り組めるように、実践的な内容を中心に工夫改善して行きたい。また、学生が安心して、集中して勉強できる環境を整えることに努めたい。	1	1	1
教育相談	堀口節子	全体に学内平均より低い評価となった。特に、Ⅰの項目「私語、メール、居眠り等」勉強への集中」が学内平均より大きく下回った結果となった。反省し改善して行きたい。	楽しかった。プリントとPCを使っの授業で分かりやすかった。実践的な勉強ができた。他方、学生の私語がうるさくて集中できなかった、私語への注意が足りなかったとの指摘が多数あった。	学生が興味を持って勉強に取り組めるように、実践的な内容を中心に工夫改善して行きたい。また、学生が安心して、集中して勉強できる環境を整えることに努めたい。	1	1	1
教育相談	堀口節子	全体に学内平均より低い評価となった。特に、Ⅰの項目「私語、メール、居眠り等」勉強への集中」が学内平均より大きく下回った結果となった。反省し改善して行きたい。	楽しかった。プリントとPCを使っの授業で分かりやすかった。実践的な勉強ができた。他方、学生の私語がうるさくて集中できなかった、私語への注意が足りなかったとの指摘が多数あった。	学生が興味を持って勉強に取り組めるように、実践的な内容を中心に工夫改善して行きたい。また、学生が安心して、集中して勉強できる環境を整えることに努めたい。	1	1	1
教育実習指導 (1・2・3組)	山田秀江	学生自身の取り組みが平均より低くなっているのが残念。授業評価は平均より高くおおむねよい評価となった。	事前事後ともに実習に役立つ内容でよかったという意見が多かった。	今後も学生にとって学び多い有意義な実習となるよう工夫していきたい。学生が意欲的に取り組めるような工夫も考えたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
教育実習指導 (4・5・6組)	山田秀江	学生自身の取り組みも教員の授業評価も非常によい評価でよかった。	事前事後ともに実習に役立つ内容でよかったという意見が多かった。	今後も学生にとって学び多い有意義な実習となるよう工夫していきたい。	1	1	1
保育実習指導 I	合田 誠	学生本人の取り組みの姿勢及び教員の取り組みの項目全てに関して、「学内平均」以下の数値となったことは、「授業アンケート」を取り始めて、初めての結果であり、担当者としては非常に落胆している。なぜそのような評価をもらったのか、理解しがたいのが正直なところである。実習の事前指導のため、他の教科とは異なり、様々な課題をこなしてもらいながらの授業進行となるので、学生の受容能力をオーバーしているとしたら考えられない。もしそうならば、由々しき問題となる。	回答した半数以上の学生がコメントを記入してくれたが、授業評価の結果とは裏腹に「分かりやすい授業だった。」や「施設について詳しく理解でき、安心して実習に臨める。」などの記入であった。この記述内容と評価がどう結びつくのかが、不明である。	今回は初めて手厳しい評価となったが、授業内容は実習に臨むに当たった最低限度の学習内容であり、これを改善する余地はないに等しい。しかしながら、次年度もこのような状況は許されないので、説明の方法を工夫するようにしたい。	0	0	1
保育実習指導 I	合田 誠	他クラスと全く同じコメントとなるが、学生本人の取り組みの姿勢及び教員の取り組みの項目全てに関して、「学内平均」以下の数値となったことは、「授業アンケート」を取り始めて、初めての結果であり、担当者としては非常に落胆している。なぜそのような評価をもらったのか、理解しがたいのが正直なところである。実習の事前指導のため、他の教科とは異なり、様々な課題をこなしてもらいながらの授業進行となるので、学生の受容能力をオーバーしているとしたら考えられない。もしそうであるとしたら、由々しき問題である。	全く一方のクラスと同様に、回答した半数以上がコメントを記入してくれているが、「分かりやすい授業であった。」や「具体的に分かりやすい説明をしてくれた。」などの記述であった。中には「私の人生が変わるかも知れないきっかけを作ってくれました。」と記載した学生もおり、担当者としては大変励みになるコメントもあった。このように大多数を占める記述内容と授業評価のアンバランスさについて、なぜこのようなことが起こるのかが不明である。	他クラスと同じコメントとなるが、今回は初めて手厳しい評価となった。授業内容は実習に臨むに当たった最低限度の学習内容であり、これを改善する余地はないに等しい。しかしながら、次年度もこのような状況は許されないので、説明の方法を工夫するようにしたい。	0	0	1
保育実習指導 II (1・2・3組)	長谷秀揮	全ての項目で学内平均を下回っており特に教員の取り組み姿勢と授業の内容が理解できるように授業が工夫されていたかどうかの項目が学内平均より10%以上低い結果となった。	実習の事前の課題及びその指導、そして事後指導でのグループワークなど初めて取り組んだ内容が参考になり良かったという意見が多数あり大いに力づけられた。	学生の授業への取り組みの姿勢が学内平均を上回っており、この授業への関心の高さがうかがわれる。その期待に応えられるように授業の工夫改善にいつそう努めたい。	1	1	1
保育実習指導 II (4・5・6組)	長谷秀揮	ほとんどの項目で学内平均をわずかず下回る結果となった。特に授業内容の適切さを問う項目が他の項目と比べると、顕著に低い結果となった。	実習の事前の課題及び事後指導でのグループワークなど、取り組んだ内容が良かったとの意見が多数あり大いに力づけられた。あまり参考にならなかったという意見も若干みられた。	授業内容についての評価が他の項目と比べて顕著に学内平均を下回っており実習期間をはさんでの前後の授業の内容について工夫改善し、いつそうの充実に努めたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
保育実習指導Ⅲ	合田 誠	1年生の「保育実習指導Ⅰ」とは違って変わり、非常に高い評価をもらったのは担当者として光栄である。1年次と同じ実習内容は許されないの言うまでもないところで、本来の実習指導のベースとなる個々人の実習課題を明確に設定させ、事前指導でその内容を吟味し、実習で検証し、実習後に振り返りをさせる一連の流れをもつての授業を計画・実施したので学生にすれば様々な面を食らう場面もあったであろう。そのような中、このような高い評価を得たことを正直嬉しかった。	自由記述も素直に、「様々な勉強を事前・事後にできたので良かった。」など全て肯定的な記述ばかり書いてくれていた。	この評価に甘んじることなく、常に実習の「事前・事後指導」の授業内容に関して、学生が実習を通じて貴重な経験が可能となるような中身を考えていきたい。	0	1	1
保育・教職実践演習(1・2組)	合田・山田・鍛冶谷	(合田)取り組み姿勢は真面目であるが、意欲的に取り組むまでは至っていなかった。(山田)学びやすい環境作りが少し平均より低く、グループ討議の時間に関係のない話をする学生がおり、意欲的な学生の妨げとなったのかもしれない。(鍛冶谷)学生の発言への対応がやや低い評価で改善を考えた。	(合田)現場で役立つとの記述をした学生が多く、一応の目的は達していたと思える。(山田)各担当の専門を具体的に学べてよかったという意見が多かった。(鍛冶谷)事例には興味をもち、検討に取り組めたようである。	(合田)5回という短期間で有効な学習内容を今後も考えていきたい。(山田)今後も現場に出た時に役立つような実践的な内容を考えたい。(鍛冶谷)双方向のやりとりを充実させたい。	1	1	1
保育・教職実践演習(3・4組)	合田・山田・鍛冶谷	(合田)再履修生の関係で他クラスの学生もかなりの数があつたので雰囲気全体が普段と異なっていた印象があつた。(山田)おおむね良い評価でクラスの雰囲気も良かった。(鍛冶谷)私語が気になった学生が少数ながらいたよう留意したい。	(合田)現場に役立つ内容という記述をしてくれた学生もおり、目的を達成している面を感じられた。(山田)各担当の専門を具体的に学べてよかったという意見が多かった。(鍛冶谷)事例には興味をもち、検討に取り組めたようである。	(合田)再履修者による受講人数のアンバランスを可能な限り解消できれば願っている。(山田)今後も現場で役立つような実践的な内容を考えたい。(鍛冶谷)双方向のやりとりを充実させたい。	1	1	1
保育・教職実践演習(5・6組)	合田・山田・鍛冶谷	(合田)5.6組全体の雰囲気がよく、そのことが評価につながっていると思う。(山田)おおむね良い評価でクラスの雰囲気も良かった。(鍛冶谷)おおむね良い評価だった。	(合田)具体的な事例や援助方法について参考になったとの記述があつたのは良かった。(山田)各担当の専門を具体的に学べてよかったという意見が多かった。(鍛冶谷)授業内容が他の科目と重なっているとの意見があり、本科目の総仕上げ的な意義が伝わっていなかったことを残念に思う。	(合田)1回1回の授業内容を再検討し、より有効な内容を考えたい。(山田)今後も現場に出た時に役立つような実践的な内容を考え、実践と理論をつなげられるような取り組みをしたい。(鍛冶谷)事例の検討などでは2年次にふさわしい高度な内容を提示し、議論の充実に努めたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不足な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
卒業ゼミ	合田・淡路・曾和・工藤・長谷・山田・千田・香月・鍛冶谷	(合田)2年間の集大成として実りある授業内容であったのがよく分かる評価である。(淡路)前向きに取り組んでいる学生の姿が見える評価結果だと思われる。(曾和)すべての項目において授業平均が学内平均を上回っており、教員と学生の双方が授業に真摯に取り組んだものと評価する。(工藤)前向きに学生が取り組み成果につながっていることがわかり良い結果だと考える。(山田)良い結果となり、学生にとって有意義なゼミだったと感じた。(長谷)学生が意欲的・積極的に取り組んだ事がとてもよく反映されている評価といえる。(千田)学生が積極的に取り組んだことが見て取れる評価結果だと思う。(香月)学内平均の高さを上回っていることに驚いている。教員と学生両方が目標に向かっていたためかと思う。(鍛冶谷)学生の頑張りが評価に反映されていると思う。	(合田)ゼミによってはレポートのまとめの時間をもう少しほしいとの要望があり、今後留意したい。(淡路)ゼミ選択から決定への方法について、少数ではあるが気になる意見があった。(山田)もっと時間がほしかったという意見があり、内容を深めていくためのよりよい方法や時間の工夫を考えたい。(曾和・工藤・長谷・千田・香月・鍛冶谷)特になし。	(合田)「学問」の基礎をどのように伝えていくかが肝要となる。(淡路)結果を真摯に受け止めて今後の授業に臨みたい。(曾和)ゼミ研究の原点に立ち戻りつつ、より充実したゼミを展開するように努力したい。(工藤)学生のニーズを取り入れながら改善できるところからはじめたい。(山田)学生の意欲を伸ばせるような内容を考え、学生が充実感や達成感を感じられるような方法を工夫したい。(長谷)学生の意欲、積極性を十分に受けとめて、さらに工夫改善していきたい。(千田)より充実した授業内容になるよう私自身も研鑽を積んでいきたい。(香月)将来自ら学んでいく姿勢をつけてもらうために更に工夫していきたい。(鍛冶谷)課題探求の姿勢をさらに育てていきたい。	0	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
日本語表現表(ろ)	荊木治恵	全体に厳しい評価結果となった。学生の集中も学内平均をにまらなかつた。	難しかった、大変だった、プリントの整理に戸惑った、課題が多かった等のコメントがある一方、わかりやすかった、ためになった、言葉の使い方がよかった等の記述もある。板書を写しにくかった、居眠り学生を注意しすぎるといふ意見もあった。	15回の授業を通して、学生が求めていることとこちらが興味を持ったり、理解をしてほしいことが一致することが少なかったのではないかと反省している。授業内容を見直すとともに授業構成も工夫をしていきたい。	1	1	1
英語(英会話B)	奥田 純	今年の評価は学内平均を上回っていたが、受講者数が少ないこともあり、一人の学生の評価でかなり下がった。他の学生からは好評であったので、悪い評価は例外的なものとして解釈したい。	書いてくれた学生は「分かりやすかった」という評であった。	英会話Bは選択科目なので、英会話Aより教科書のレベルはかなり高いものを選んでる。現代口語英語を学ぶのに適した教材で、教え方を工夫し、何とかなじめるよう努力を続けたい。	1	1	1
教養の文学	荊木治恵	予想以上に良い評価が得られたが、比較的小人数の授業であり、また、有効回答数の少ないので、割引いて受け止めたい。私語に関しては、平均を下回った。	楽しかった、深くて難しかったけれどわかりやすかった、本を読んでみようと思えた、普段読まないジャンルの作品を知れた等の記述があった。	学生自身の解釈を聞きながら作品理解を進めたため、授業時の発言のしやすさという点で、私語のしやすさに繋がったと思われる。自由な発言と私語とのけじめをつけられるよう気をくげたい。	1	1	1
くらしと政経	伏木真理子	教員の話方に対してはあまり良くない、学生の質問や発言に対する対応、勉強しやすい環境作りにおいてどちらでもない、目標達成に適した授業内容についてもどちらでもないという評価だが、総合評価はやや良かったという結果であった。前年度は各項目の評価、総合評価とも良かった。	難しかったけど、この授業を受けて良かったです。政経のこととかまったく分からなかったけど、この授業を受けてすこし分かった気がしました。株式学習ゲームをやった楽しかったです。就活に役立つと思います。役立った。がんばった。	有効回答数が少ないため各項目の評価と総合評価が矛盾する結果となっているが、自由記述からみると授業内容が難しいと思われる。政経の専門用語、金融商品の利息の計算などがネックとなっているが、今後の生活や就活にも役立つという声があるので、レベルは下げずに噛み砕いて時間をかけていこうと思う。	1	1	1
くらしと陶芸	叶雅夫	もう少し楽しく制作出来るようにする。	早く出来る生徒、時間のかかる生徒、いろいろな生徒に対応できるようにする。	それぞれの生徒に対して臨機応変に対応する。	1	1	1
食空間のデザインと演出	播賢知	予想通りという訳ではないが、頑張っただけの評価をもらい、今後も同じように指導していきたい。	面白かった役に立ったなど興味を示してもらえた回答を得る。	2限、4限と同じ内容のものを同じように説明して差が出ているとどうすればよいのか困ってしまう。より身近なものを例に出してわかりやすく説明するよう心がける。	0	1	1
日本国憲法と人権	曾和信一	有効回答者が5名と少なく、結果における有意差について考慮する必要があるが、授業平均が学内平均を下回っているという結果になっている。	授業内容に関して、難しい意見が少なからず見られた。	授業内容面で、難しいことをわかり易くすることに心がけるとともに、掘り下げていきたいと思う。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力して下さい 授業の不十分な点が明確になった 授業改善への意識が高まった 授業の具体的改善に取り組む
スポーツ2	新野弘美	回答数が少なかったのですが、今年度前期及び昨年度と同様に概ねよい評価を頂いた。IIの教員の取り組み姿勢と授業内容で、2.の項目でどちらかといえばという回答、4.の項目でどちらでもないという回答があったので、受講学生さんにそれらの印象があったということは、今後の改善点です。5.のそう思うようになるように意識していきたい。	高校の体育と違った、楽しく運動が出来た、先輩との関わりが持てたという意見をいただきました。	教場での使用ツールは限られてはいますが、次年度も授業の前後で体重と長座体前屈の値を記録し、自らの体を観察していく予定です。大学の体育の授業ということで、運動の有用性や運動の正しい方法、そして女性の体の変化など、生涯スポーツにつながる情報と有効な方法を習得出来るように努めます。	1 1 1
キャリアプランニング	仁平章子 北村瑞穂 荊木治恵	「教員の取り組み姿勢と授業内容について」の全ての項目において学内平均を下回っていた。中でも学生の質問や発言に適切に対応した、の項目が低い評価となった。	模擬面接は、良かった、と評価している。また、授業をうけることによって就職に対する意識が高まった、という意見が多数あった。	働く、就業意識の向上を目指して授業を展開した。模擬面接を行うための準備として自己分析をおこなったが、なかなか自分を分析するまでの理解度と、経験が少ない学生が多く、苦労したようである。また、ビジネスの経験が無い為に、アルバイトではなく企業で正社員として働く理解が想像しにくかったのだと考えられる。さらに授業の工夫をしたい。	1 1 1
ライフデザイン基礎演習II	新田眞一 奥田 純 三木大史	数学の習熟度別クラス編成をして、就職筆記試験対策用の授業を行ったが、学生の評価は分散しており、平均としては学内平均を下回った。クラスは比較的少人数としたため、個々の学生への対応、またプリントの使用については、授業の理解度に関する評価より良かった。	出席者41名に対し、自由記述を書いってくれた学生は27名。前向きな評価が21(クラス分けが良かった。就職対策になった等)、一方マイナスあるいは注文のついた評価は6(理解しにくい、漢字をもっとやしてほしい)で、予想よりはプラス評価が多かった。	算数、数学の基礎的な力が全般的にかなり厳しい状況にあり、簡単にはレベルアップを期待できないのが実態である。ただ、習熟度別対応で間違っではおらず、レベルに応じた教材の開発、教え方の改善を地道に図りたい。	1 1 1
社会人の英会話	奥田 純	アンケートに答えてくれた学生が少なく、評価は参考として考えるほかないが、良好であった。本年度は社会人の方の数に対して学生数が多く、また一部学生の英語習熟度の問題もあり、全員参加した授業とすることが困難であった。	「英語の授業はもっと堅苦しいと思ったが楽しく勉強できた」「発音の練習も良かった」「スライドの意味とかが分かりやすく書かれていてよかった」と概ね好評であった。	教材は社会人にも学生にもよくあった日常会話を題材にしたもので、自ら英語を話して参加者の間で英語での会話の練習機会を増やせる授業構成、方法を今後とも考えていきたい。	1 1 1
ファッションマーケティング	中野恭子	学内平均及び前年度より全体的に評価は高かったが、生徒は、制作したマップの評価をまず求めているので、生徒間を比較ではなく、それぞれの生徒の個性を的確に育てることを心がけ、まとめの授業でマーケティングの4Pの理解を深めた。	潜在的な感性の芽を双葉、四葉へと育て、開花するには集中力が必要なため、「難しかったが、楽しく、マーケティングを深く理解できた。」との声が多かった。想像性と創造性を働かせ、自らブランディングする教育は日本では欠けているので、有意義だと考える。	企業のマーケティング部で、女性社員の採用が増えているので、マップ作成を通じて潜在的な感性を開花させ、さらにウェブデザインやCADの技術が連携されれば就職に有利と感じた。とくに本学生にはメンタルヘルスに貢献する審美的ライフスタイルの提案が期待できると感じた。	1 1 1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
プライダル総論Ⅱ	小野清和	学生の興味がある分野で、一度はやって見たい仕事であると思います。今後とも学生が一番知りたいた事を教えて行きます。	学生のより理解度と満足度が充実した勉強しやすい環境を再度構築して行きたいと思います。	時間の共有する意味、達成する喜び、人間関係の絆、すべては自発的や行動の結果から得られ、体験することでのコミュニケーションスキルの重要性を学ぶ事が大変多かった。との意見が多くあり授業の意味があった。	1	1	1
プライダル検定	小野清和	学生の総合評価は学内平均より高く良かったとの評価を頂く。	ABC検定対策なので、学生の質問や発言に対しては理解出来る様に対応・強化した事に評価はあった。	ABC検定受験者全員合格と言う結果は満足している。幅広い試験内容なのでより基本的な知識と応用力に対する強化に今後とも取り組む。	1	1	1
プレゼンテーション演習Ⅱ	服部美樹子	学生からは、昨年同様、良い評価をいただいた。要因として、受講者数が少ないこともあり、学生一人ひとりの疑問に対応できたからではないかと推察できる。	学生からは丁寧に教えてもらい、わかりやすかったとあった。これも、受講者数が少なかったために、学生一人ひとりの疑問に対応できたことが評価の結果につながったと考えられる。また、発表のテーマが難しいとあったが、昨年よりはるかにレベル的には下げている。	年々、学生の理解度が低下しているように思われる。そのため、今年度はシラバス通りに授業を進めることができなかった。したがって、内容をさらに基礎的なものにしていかなければならないように思われる。しかし、本科目はプレゼンテーション演習Ⅰからさらに応用させる性質の科目でもあり、内容の検討がさらに必要である。	1	1	1
医療事務Ⅱ	河口祐子	大方の学生の評価が良く、理解もできたようである。計算能力が伴う授業内容であるため、そこにハードルを感じる学生には難しいようである。	練習問題や宿題があったことで授業の復習ができ理解できたという意見がいくつかあった。今の授業時間だけでは足りないためもっと授業時間を増やしてほしいという意見もあった。質問に個別対応してくれたのがよかったという意見もあり、自分の努力が伝わったことを感じた。	ボリュームのある内容であるため、15回の授業で完結し、理解してもらう工夫が課題である。宿題の出し方、説明等見直したい。	1	1	1
医療秘書実務	東野國子	学生からは予想以上に良い評価をいただいた。	(多分)2年生の学生から実習に行くまでに(2年生の前期までに)この授業をとりたかったという意見があった。	もっとより良い授業にするために工夫をしていく。	1	1	1
社会福祉概論	保科和久	学生数が少ないこともあり、非常に高い評価をもらっているが、テストの結果との関連から授業内容が十分理解されているとは言えず、わかりやすい資料作り等の工夫の必要を痛感している。	特になし	1. の項目で書いた世に授業の難易度を少し下げながら、講義方法も工夫が必要である。	1	1	1
医学医療用語	河口祐子	普段耳にしない専門用語や、日本語でない用語等を理解しなければならぬが、予想以上の評価であった。テキストの導入、プリント、スライド等の導入効果があったようである。	難しかったが勉強になった。一つ一つの説明が丁寧であった。宿題により復習できたという意見をいただいた。2年後期ではなくもっと早くこの授業を取りたかったという意見があったが、来年度からはすでに対応済みである。	説明スタイルの授業であるため、90分集中できるよう、メリハリのある内容にしたいと思索している。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
診療情報管理論Ⅰ	河口祐子	この授業は専門的イメージしにくい内容である。思った以上の学生が理解できていることに驚いた。昨年度は理解度が低かったため、改善したことによる効果が表れてよかった。	プリントやスライドが活用されていて解りやすかったという意見が多かった。	「難しい＝苦手」にならないように、身近な視点に置き換えて説明するよう工夫したい。	1	1	1
医療事務コンピュータⅠ	倉戸啓子	全項目に5の評価がついていましたが、受講者数名中回答者が2名のみでした。他には特にありません。	自由記述用紙は全員提出されていますが「よかった」と一言書いてあるもの以外は白紙で、人数が少ないと、無記名でも書きにくいのかもかもしれません。	前期に引き続き、授業中、一部の学生に質問の機会が偏らないように配慮する。	0	0	1
医療事務コンピュータⅡ	倉戸啓子	受講者数名中回答者は4名のみで全項目について評価は5と3に分かれています。	「難しい」と「よかった」の記述があったが、白紙が多かった。	前期に引き続き、授業中、一部の学生に質問の機会が偏らないように配慮する。	0	0	1
診療報酬請求事務演習Ⅱ	河口祐子	いい評価をいただいたが、理解力と検定の合格に結びつかなかったことが残念である。	わかりやすかったとは書かれていたが、その場だけであり、根本的に理解できていたわけではなかった。	検定の合格が目標であるため、個々の学生の理解度に合わせた対応を検討したい。	1	1	1
医療事務のための医学知識Ⅰ	河口祐子	昨年度と比べ全ての評価がよくなっている。テキストの導入とまとめプリントの効果が見られた。理解度はよかったが、集中力は理解度よりも低いため、眠くならない工夫が必要であると感じた。	テキスト以外にスライドやプリントがありわかりやすかった。画像での説明がよかった。という意見をいただいた。医学は難しかったという少数意見があったが大方の学生が感じている意見であると思う。	難しいと眠ってしまう学生が多いため、興味をもてるような工夫をしたい。	1	1	1
アロマ&ハーブ(演習含む)	倉津三夜子	授業中の私語などについての他はよい評価であった。実習中心の授業で理論よりも香りや香り雑貨作成を楽しむことを中心にしたためか、1名からはマイナスの評価を受けた。理論と実習のバランスは前期後期を通して取るようにしたい。	はじめの香りやハーブの活用方法を知って、満足した印象や、興味を持つきっかけになった様子が伝わってきた。今期は実習面ではじめての試みも多く、その良い面が反映されていた。	演習を中心にしたことでの良い結果は得られたので、今後も文字よりも実際に香りを嗅ぎ、感じ取ること重点を置くようにしたい。一方で画像や実習材料を充実させたいと考える。	1	1	1
食生活と健康	奥田玲子	これまでとほぼ同等の高い評価をいただいた。聞き取りやすさ、学生の質問への対応の評価が学内平均をやや下回った。	自分の食生活を見直すよい機会になった、食生活と健康について知らなかった多くのことを学んだ。今後の生活に役立つ内容だった、という意見が多かった。	聞き取りやすさや質問への対応を改善する。学生の筆記のスピード、理解度を確認しながら、丁寧な授業を心がけて改善を試みる。	1	1	1
食の歴史と文化	坂口守彦	授業開始前に想像したよりも良好な評価を得た。調理済みの食品を試食させたり、プリントを配布して、カラー写真やビデオを示して授業を実施したことなどが好結果を生んだものと思われる。前年度の評価結果とあまり大差はない。	一般常識として既知であったり、高校の歴史の教科の中で、すでに学習したところは省略したが、一部にこれでは理解しがたいという意見があった。	授業は主としてプリントを配布して進めたが、ときおり写真、図表などを提示した。これらは学生の理解を助けるために不可欠である。プリントの説明、補助教材などを組み合わせて授業の要点を明示し、これまで以上によく理解させることに努めたい。	1	1	1
食の安全性	平田 孝	ほぼ全ての各項目で、最高評価から最低評価まで均等に分散した。これは、学生の本教科に対する意欲、興味等が極めて多様であることを示していると思われる。	内容が高度過ぎるとの指摘があった。	学生の期待は極めて多様であり、授業レベルを維持して全てに答えることは困難である。しかし、できるだけ基礎的事項の説明を丁寧に行い、理解度アップにつなげたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不足な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
食品材料の基礎知識	平田 孝	前期と同様の授業を行ったつもりであるが、前期に比べ評価は総じて低かった。前期と後期では、授業に向き合う学生の姿勢が異なると考えられる。	できるだけ板書をしてほしいとの指摘があった。	学期ごとに学生の意欲、興味を見極めて授業の進行・内容を適正に調整していきたい。	1	1	1
食空間のデザインと演出	播賢知	ここ数年学内平均を上回る点だったし、それ以上に丁寧に話してきたつもりだったのに平均より低い点だったので驚いている。	面白かった役に立ったなど興味を示してもらえた回答を得る。	2限、3限と同じ内容のものを同じように説明している差が出ているとどうすればよいのか困ってしまう。より身近なものを例に出してわかりやすく説明するよう心がける。	0	1	1
ブレッド&テーブル実習	中出真理子	学内平均を下回ったのは、授業中に私語、メールなどをしたかどうかの設問のみだったので、授業の評価はほぼ満足のいくものだったようだ。前年度の総合評価「良かった・100%」には及ばなかったのは残念ではあるが、前年度の有効回答数が少なかったためと考えられる。	毎回違うパンを一人でつくることが楽しかった、丁寧に教えてくれたので失敗なくおいしいパンができた等の感想があり、授業を取ってよかったと思ってもらえたようだ。	実習のため、どうしても私語なしで進めることは難しいとは思いますが、実習に無駄な時間が出ないように作業の進め方を工夫する。また、メールチェックをしないように指導したい。	1	1	1
食からの健康美(インナービューティー)	関宏美	総合評価として学内平均を上回る評価を頂き感謝しています。ただ、「私語をしなかったか?」については、した事を自覚されている結果となり、ワイワイ意見を発表する事とのメリハリをもっとつけてゆきたいと思えます。	”商品開発”という想定で、生徒自らが意見を出し合い、最終講義でプレゼンテーションをする事が緊張したがためになった。「先生方皆さん親しみやすく、講義も楽しかった」など。	講義中、意見を求めても下を向いてしまう生徒もまだ多い。(1人ずつあてるとしっかりと答えてくれる)もっともっと参加型にして、生活の中での食や健康美に大きな関心をもってもらえるような内容にしていきたい。	1	1	1
調理の基礎と科学	奥田玲子	学生の理解度、総合評価において、前年度に比べ高い評価をいただいた。しかし、話し方とスピード、教材への評価が学内平均を下回っており、改善が必要である。	調理のコツがわかり、よかった。厨房見学が興味深かった。などの意見が見られた。	プリントやパワーポイント、授業の「教え方」の改善に取り組む。	1	1	1
調理学演習Ⅱ	奥田玲子	全ての項目で前期の評価点、学内平均を、ともに上回る大変高い評価をいただいた。授業平均欠席数0.25と、殆ど休むことなく演習に集中して取り組み、調理への理解を深めながら技術の向上に努めたことがわかる評価結果であった。	今後の生活に役に立つ内容だった、楽しく美味しい演習だった、という意見が多かった。	今回は少人数であったため、きめ細やかな指導が可能であった。受講生が増えても、同等の評価が得られるかが今後の課題と言える。	1	1	1
調理学演習Ⅱ(調理機器含む)	末吉明美	学生の評価は予想を下回った。前年度は平均をはるかに上回って納得のいく結果であった。	もう少し短めの説明にして欲しい。沢山の料理が作られておいしかった。楽しかった。家でも作って喜ばれたなどの意見あり。	技術的には、全員レベルアップしたが、調理だけでなく、今日の元気と未来の健康を作るという食の大切さをしっかりと自覚させたい。	1	1	1
製菓材料の基礎知識	林真千子	学生からは予想以上に高い評価を頂いた。又、前年度より授業内容の理解度も向上していた。	授業のスピード、内容ともにちょうどよく、わかりやすく、お菓子についての基礎的な事柄が知れて良かったという意見を多数頂いた。	今回、全体的に良い評価を頂いたので、今後もより良い授業を提供できるように努めてゆきたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
製菓・ラッピング実習Ⅱ	岩崎初音	学生からは、前期に引き続き、教員の取り組み姿勢と授業の内容等、学年平均を上回る良い評価をいただいた。学生自身の取り組み姿勢も授業中、勉学に集中していると思うか?の評価も平均より上回っておりまして。今後も本講の内容をより充実させ楽しい授業を展開して行きたい。	記述の中に「前期はリボン結びは、難しいものと思っていたが、繰り返し結んでいたら結べるようになって良かった」「ふろしきを始めた皆さんの包み方が覚えて良かった。これからは忘れないようにします」など次世代に繋がる内容が書かれており、改めて日本の伝統文化を伝える大切さを感じました。	製菓・ラッピングの授業は、2013年度よりさらにレベルアップをしました。後期は、前期終了後にラッピングコーディネーターの資格試験に合格した学生のうち希望者には、後期終了後にラッピングコーディネーター上級資格試験を受験していただき見事全員合格されました。初めての上級資格試験でしたが、学生の意欲と努力で得た合格となり自信となりました。受験しなかった学生も後期の授業内容がかなりレベルアップしていたのにもかかわらず授業に集中しラッピングを自分のものにされ包み、結べるようになり大変嬉しく思っております。引き続きこれからもラッピングの技術向上、お菓子を作りラッピングにより付加価値を付ける楽しさを伝えて行きラッピングコーディネーターとラッピングコーディネーター上級資格試験の受験者が増える事を目標にしたいと思えます。	1	1	1
インテリア論	叶雅夫	予想以上に良い評価を頂いた。しかし有効回答数が少ないのが気になる。	導入をもう少し工夫してアイデアを現実の型(模型)にできるように導く。	個人のアイデアをしっかり聞いてよりよいアドバイスをしていきたい。	1	1	1
マリッジライフ	小野清和	授業の内容は理解しやすかったとの項目は平均値より高かったものの、授業の再度工夫を要する項目が平均値より低かった事で、より良い改革の検討・実行を目指します。	PowerPointを使用しての授業でより理解度を高める内容は良かったものの、授業の内容をより高度のものを求めている点次回の改良に活かしたい。	女性が生涯強く・優しく・美しい女性になる為の生き方を高度成長期の時代と現在の時代を比較してマナーと品格を修得する内容なので受けて良かったとの声が多かった。更に理解度を高めたい。	1	1	1
クロスカルチャー(比較文化)	中村真里絵	全般的に学内平均より高かった。唯一、総合評価は平均より若干低くなっているものの、有効回答数が10人で、そのうちの一人が低い点数を付けていたためだと考えられる。	記入した学生からは、好評であった。	現在の講義スタイルで問題はないと考えているが、話すスピードや声の大きさなどはもう少し配慮できると思っているので、今後は改善に努めたい。	1	1	1
情報機器利用プレゼンテーション演習	畑野清司	昨年の総合評価点4.67を上回り5.00となった。パーフェクトの評価をいただいたが、詳細は必ずしも満点ではない。学生の理解度向上のため、さらに努力したい。	1. 講義はスライドが見やすく分かり易かった。 2. 人の前で話せるようになった。 3. この授業受けて良かった。など、ほぼ全員満足している。	人の前で話すということは、簡単な事ではない。十分な準備と練習が要ることを理解してほしい。いろいろなレベルの学生がいるので常に柔軟に対応できるように心掛ける。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
マルチメディア論	畑野清司	昨年の総合評価点4.50をわずかに上回り4.56となった。基本的には同レベルの評価と考える。授業の内容はかなり難しいので教師も工夫したが、学生たちは、それを理解するためよくがんばった、と思う。	意見の多い順番に記すと以下ようになります。 1. 授業は分かり易かった。2. ノートを取る量が多くて大変だった。3. 授業内容には興味があった。4. 楽しかった。5. 先生の黒板の字がわかりにくい字があった。	この授業の進め方は、プリントに書き込むことによって、ノートを完成し、書くことにより理解を深める。大変だが達成感はあるようだ。学生の自由記述の5. で思い当たるのは、英文字の小文字を板書する時、丁寧にする必要はある。	1	1	1
ウェブデザイン I	三木大史	有効回答数が10であり、一人の回答が10%を占める。すべての項目で10人中8人以上が「否定的な回答」をしていない。	「授業内容が難しい」という趣旨の記述がほとんどで、その中に「難しかったが面白かった」という趣旨の記述も数人ある。「なぜそうなるのか」という説明がもっとほしい」「用語が英語なので、英語の勉強にもなった」という記述もあった。	ウェブページ表示とその元となるファイルの個々の記述の関係の説明がもっとほしいとの指摘があった。この点について、これまででもわかりやすい説明を心掛けてきたが、さらに丁寧にわかりやすい授業の組み立てを考え、改善して行きたい。	1	1	1
ウェブデザイン演習	三木大史	全般に高い評価となっている。	「何か新しいことを本を見ながら学修する方法を学んだ」という趣旨の記述があった。	3学期連続でウェブデザイン関連科目を受講した学生による評価は高く、満足度も高いようであるが、得た知識・技能の定着があったのかどうかは明らかではない。今後はこの点が課題だと考えている。	0	1	1
ウェブプログラミング演習	三木大史	有効回答数が10であり、一人の回答が10%を占める。集計結果より一人の学生にはこの授業内容の理解が非常に困難であったと予想できる。質問への対応等に関しては、「否定的な回答」はなかった。	全員が「授業内容が難しかった」という趣旨のことを記述している。しかし、「わかるようになった」「PCを使う上で必要だと思う」「助手と教員に支援されてわかるようになった」という趣旨の記述を付加している学生が相当数あった。	内容が難しいのは科目の性質から避けられないが、教材を厳選するとともに、授業内容が難しくても理解できるようになることを最初に十分に説明し、学修意欲を持続させることに注意したい。	0	1	1
秘書総合演習	仁平章子	評価は、学内平均とほぼ同じくらいの評価であった。中でも授業内容は理解しやすかった、の評価が低かった。	グループワークが楽しかった、実技がためになった、と記述している。	接遇の実技が良かったと評価している。普段行ったことのない事項を実技として取り入れることで学生の興味を向けさせることができた。講義のみでは、なかなか理解しにくい事項があるので、実技を取り入れながら授業を進行していきたい。	1	1	1
秘書総合演習	仁平章子	全ての項目において、学内平均値を下回っていた。自己評価では、集中していない、私語メールをしたことを正直に記述していると考えられる。	就職に役立つと思った。少人数の授業で楽しかった。	少人数のためにグループワークが、当初の計画通りに行かなかったこともあり、授業運営が難しかった。少人数の場合、問題解決型の学習計画を見直す必要があった。	1	1	1
オフィスマネジメント	仁平章子	概ね学内平均より上回っており、中でも教員の姿勢に関しては良い評価だった。	授業内容が面白かったと記述している。	履修学生が少なく、学生に合わせて授業を展開することを試みた。働く上では、ビジネスに関する知識を得ておく方が良いと思われるので、履修学生が多くなることを期待するのである。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
事務文書管理	仁平章子	全ての項目において、学内平均値を上回っていた。教員の声の大きさ、スピードに関しては特に高い評価であった。	テンポよく授業が進んでわかりやすかった、ビジネス文書の書き方に加えて漢字練習も復習できて良かった、と記述している。ビジネス用語が難しかったと記述していた。	ビジネス用語が難しかったと記述しており、ビジネスの経験がない学生にとっては、理解しにくい用語などが多々あったと考えられる。働く上での知識や用語について、わかりやすい授業になるように取組みたい。	1	1	1
メディア論	竹原信夫	回答数が少ないので、なかなか判断しにくい、良い評価をもらった。	一方的な情報の提供から皆の声を聞いたことで、楽しく勉強できたと言ってもらえた。	情報を伝達する教え方よりも、学生の考え方、創造力を伸ばす方向へさらに強めたい。	1	1	1
Reading	奥田 純	回答者数が受講者(10名)の半数以下であったが、回答してくれた学生の評価は良好であった。	内容(取り上げたリーディング)が面白かった、わかりやすかった、細かい意味まで勉強できたと好評であった。一方、教室のプロジェクトが暗くて見づらいとの声もあった。	多読用の一番簡単なレベルの教材を使っているため、一部の学生には簡単すぎるかもしれないが、教材はこのままとして、課題提出を工夫して、英語学習の実をあげたい。	1	1	1
International Communication	奥田 純	回答率は良好であった。評価は昨年比若干下がったが学内平均は上回る水準であった。英語の理解度に従って、評価が分散している気がする。	「難しいところを細かく分かりやすく教えてくれて良かった」「今の授業で大満足です」といったプラス評価が多かったが、「字がなんて書いてあるか分からないところ」が悪いとの指摘もあった。	ビデオを視聴する副教材付きで学生にはその点が目新しく、受け入れ度は良好なのだが、テキスト自体は学習用には扱いにくいところがある。プリントで補完する今のやり方の上に、さらに工夫を続けたい。	1	1	1
Travel English	奥田 純	回答率は昨年より悪かったが、評価は向上した。ただ、人数が少ないので参考として考えざるを得ない。なかなか英語の学習に集中できる場所までいかんかったのが実態だが、最終回のまとめの授業は大変手ごたえがあったことが印象に残るクラスだった。	「プリントととかスクリーンで細かくやって分かりやすかった」「細かいところまでしっかり教えてもらって良かった」「英語ちょっとわかった」というプラス評価に対し、「悪いところはスピードが速い」という評もあった。	教材はすべて取り組むとレベル的に無理があり、取捨選択しているが、今後は副教材のワークシートも利用して、自分で表現できる英語を使う機会が授業中増すよう工夫したい。	1	1	1
人間関係論	北村瑞穂	全ての項目において学内平均よりよい評価を頂いた。前年度より静かに授業を聞く学生が多く、その結果が評価にも表れていると思われる。	「質問に対して適切に答えてくれた」、「自分の生活でいかせるといった」などの意見があった。「授業の最後に書かせる感想はなくていい」という意見もあった。	授業の感想については、学生の理解度を把握したり、授業を集中して聞かせるという意図があることを、説明する。	1	1	1
臨床心理学	北村瑞穂	全ての項目において学内平均よりよい評価を頂いた。前年度より評価が高まっている。	「心の病気について勉強できたのがよかった」、「授業の内容は難しかったが、丁寧に説明してくれた」、「うるさい学生が迷惑」などの意見があった。	アンケートの評価は高かったが、実際の授業では、一部の学生の受講態度が明らかに悪かった。来年度は、この授業の意義を説明し、受講態度の悪い学生のモチベーションを高める。	1	1	1
社会心理学	田端拓哉	昨年度の評価よりは改善された。説明の仕方や話し方の改善が奏功したと考える。しかし学内平均よりは低かったため、さらなる改善が必要。私語の注意は行っており、私語はほとんどなかったが、それが評価に反映されていなかったように思われた。	具体的な指摘はなかった。	説明のために挙げる例や言葉の選択についてさらに改善を図り、図を用いて説明できる箇所は図を増やしたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
文化心理学	田端拓哉	昨年度と同様に回答率が低いことはふまえる必要があるが、昨年度よりも評価が低下し、学内平均よりも低かった。改善の効果がなかったように見えるため、さらなる改善が必要。私語の注意は行っており、私語はほとんどなかったが、それが評価に反映されていなかったように思われた。	具体的な指摘はなかった。	説明のために挙げる例や言葉の選択についてさらに改善を図りたい。	1	1	1
発達心理学	北村瑞穂	全ての項目において学内平均よりよい評価を頂いた。前年度より静かに授業を聞く学生が多く、その結果が評価にも表れていると思われる。	「子どもが生まれたときに役立つと思う」、「自分が子どもだったことを思い出しながら受講することができた」という意見があった。	静かに授業できたが、発言が少なかったり、消極的だと感じることはあった。来年度は学生参加型の内容を組み込む予定である。	1	1	1
恋愛の心理学	北村瑞穂	全体的によい評価を頂いたが、私語や居眠りの項目に関しては3.50と評価が低かった。	「恋愛について役立つことがたくさん聞けてよかった」、「これから勉強したことを使ってみたい」という意見があった。	前年度よりは静かに授業はできたが、一部の学生がノートを取らなかったり、居眠りをしていたことがあった。来年度は注意していく。	1	1	1
カウンセリング演習	鍛冶谷静	おおむね良い評価だった。学生が熱心に受講してくれた。	グループワークが楽しかったので事例検討はつまらなく感じてしまった、との意見があり、事例検討にも学生からの意見を取り入れられるような活発な授業展開を考えたいと思う。	さらに内容の充実を図りたい。	1	1	1
ピアヘルパー演習	北村瑞穂	全体的によい評価を頂いたが、私語や居眠りの項目に関しては3.63と評価が低かった。理解に関しても3.88と低めであった。昨年度より評価が低くなっている。	保育学科の学生から「保育学科とライフデザイン総合学科の授業スケジュールが違うので、授業が取りにくかった。もっと検定試験対策をしたかった。」という意見があった。	保育学科の学生には、事前にピアヘルパー演習のスケジュールを知らせることにする。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
こころと科学	近藤祐子	学生からの評価は概ね良好であった。項目分析においては、授業中の態度(私語・メール・居眠り)についての項目が、授業平均全体の中でも評価が低かった。	レジュメ・プリントを使用して授業を進めていったが、プリント学習についてなじみにくいと記述が少数あった。	今年度が初めての授業という事で、授業中の態度についての指摘をどの程度まですることが望ましいか自分自身も迷っていた部分がある。マナー・態度についても来年度は適宜サポートをするようこころがける。	1	1	1
くらしと情報	岡本久仁子	学内平均をすべて上回っていたので、学生からはかなりよい評価をもらったと思う。	説明・プリントがわかりやすかったとの評価をうけた。また、タイピングの速度があがったなど、よい評価をもらった。	学生からは良い評価をもらったが、手応えとしては不満が残った。基本的な内容をもう少し丁寧に授業していきたい。	0	0	1
日本語表現法	荻木治恵	学生からは予想以上によい評価が得られた。しかし、授業の工夫という点において、「1、そう思わない」という評価もわずかにあった。	良かった、楽しかった、わかりやすかったの意見があるとともに、課題が大変だった、文章の書き換えが難しかったとの意見があった。課題については、大変だが、やってよかったとの意見もある。	学生とのコミュニケーションがとれるクラスの雰囲気だったので、授業は進めやすかった。学生が興味を持てるよう授業の工夫をしていきたい。	1	1	1
社会のあり方とマナー	伏木真理子	教員の話し方、授業の工夫、学生の質問や発言に対する対応、勉強しやすい環境作りにおいてどちらでもない、目標達成に適した授業内容、理解しやすさについてもどちらでもないという結果であった。前年度は、各項目の評価、総合評価ともあまり良くないだった。	マナーのことが分かりました。敬語は本当にためになると思った。すごく楽しかった、ありがとうございました。マナーに関することをもっとしてほしい。なぞり書き形式のプリントはなくても良かったのではないかと考えます。ビデオ教材が良かった。なぞり書きがうざかった。全体的にノートをとるなりした方がいい。わかりにくかった。プリントなど課題をする時は説明しないでほしい、集中できない。話ききとりにくい、言い方がイライラする、めんどくさい。何もよくなかったと思う。私語をもっと注意してほしい。マナーよりアナウンサーみたいでした。プリントより教科書を使うほうがよい。意味がわからないことが多々あったので、もう少しゆっくりしてほしいです。	課題やプリント、クラスワークの意図がわかった学生にとっては良いが、わからなかった学生には良くないという二極化の状態であった。今年度は前年度より授業の目標や内容についてゆっくり時間をかけて説明し、わからなかった学生には、全体に向けての説明の後、個別に説明するようにしたので、わかった学生が増えたと思う。二極化状態の場合は、この対応でいこうと思う。毎回プリントを配付すると、整理できない学生もいるので、ある程度まとめて配付するの一手かもしれない。但し、次回も使うのもってくるように、授業時に口頭と、前日くらいにユニパで連絡しても忘れる学生もいるので、悩ましいところである。	1	1	1
卒業研究	石川 肇	受講者が少ない中でも総合評価にて高い評価をいただいていた。授業を進めると言うより、論文を仕上げるまでのアドバイスが主であったので、「教員の取り組み姿勢」の評価と現実とのかい離があるよう思う	論文の仕上げに関して様々なアドバイスをを行ったことに関する謝辞があったことが印象に残っている	半期と言う短い時間で論文を仕上げることに学生が戸惑わないように、事前の準備や仮説の立て方、照明に仕方など丁寧な指導に心がけたい	1	1	1
介護福祉総合	榊原和子	今回は、学生個々の予習が必要な授業方法をとった為、結果的に自己評価も満足のいった学習になったのではと推察され、その結果の評価であると思う。	前回、授業の進め方が早く、板書が追いつかないという意見が少数あった為、留意して授業を展開したが、同様の意見が散見された。	授業の理解度の向上目的で、資料を作成したが、学生の授業内容の工夫の評価から、更なる工夫の必要性がある。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の不足な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
社会の理解Ⅰ	石川 肇	Ⅱ類のA)、B)において4.5以上の評価をもらっている。授業内容は社会学を中心としたもので、学生にとっては介護、福祉系の内容と異なるもので戸惑いもあったと思うが、非常に強い関心を持ってもらえたようである	現代社会を理解するために現在リアルに起きている事実、事例、教員の経験談等とテキストの内容が繋がってわかりやすかったとの意見が多く見られた	現代社会を理解するために現在リアルに起きている事実、事例、教員の経験談等が理解を促す結果になったことを多くの学生が記述してくれていたため、今後も具体的な事例と理論とを結びつける授業にしていきたい	1	1	1
介護の基本C (介護を必要とする人の理解)	植北康嗣	すべての項目について、学内平均を上回る評価を受けることができた。また、学生自身の取り組み姿勢についても私語や居眠りしたという学生も少なかった。	授業内容はわかりやすかったという感想が多かった。あと、自己の学習への取り組み姿勢を振り返り、反省や自身の成長について述べている学生も多く見られた。	授業の進行や内容については、現状が維持・向上できるように今後も研鑽を続けたい。	1	1	1
介護の基本F (安全確保と健康管理)	石川 肇	Ⅱ類のA)、B)、C)において高い評価をしてくれている。特に総合評価で高い得点で、あったのでこれからもわかりやすい授業を心がけていきたい	内容的には難しかったが丁寧に説明してくれたので理解が出来た。就職してから役立つ知識(感染症対策)が多く参考になったと言う意見が多かった	リスクマネジメントにおける法的な理解の仕方は難しかったようだが、就職後必要なことだと認識してくれていたし、感染症対策については非常に興味。関心を持ってくれたので症例等を通じて理解が深まるような授業をしていきたい	1	1	1
コミュニケーション技術Ⅱ	小室八千代	教え方は学内平均より下回っている。声のスピードが早すぎた。授業中の中は理解しやすく勉強に集中している学生が多かった。有効回答数は少なく18名中12名。	前期はグループが多かったが後期は書くことが多く大変だった。テストの範囲が多すぎ。授業が早すぎ。分かりやすかったという意見もあった。	定期試験問題がページ範囲数も多く、全問記述式にしたので、学生には不評だったと思う。私も難しすぎたと思う反面、国家資格なのでこの位はできて欲しいと思うことで迷います。	1	1	1
生活支援技術B (身じたく)	植北康嗣	すべての項目について高い評価を得ることができた。学生自身の取り組み姿勢についても私語や居眠りしたという学生も少なかった。	身じたくの必要性について、考えるようになったや口腔ケアなどの体験から方法によって不快感や痛みが出やすいことがわかったという意見があった。	演習科目であったが、多くの学生が集中して授業を受けていた。引き続き体験機会を大切にするとともに、授業の進行や内容については、現状が維持・向上できるように今後も研鑽を続けたい。	1	1	1
生活支援技術E (清潔)	吉井珠代	今回の総合評価は4.44、特に「授業が工夫されている」は4.63の結果を得た。学生の自己評価も4.56、4.50で学内平均を上回った。当該授業は、理解を促すために実技演習を多くして、機械浴槽入浴という実体験回数を増やし、学生の興味を引き出す工夫を心がけたことの評価ではないかと思う。	「介護技術が上達した」、「説明がわかりやすく、重要なところは強調して教えてくれる」、「事前準備の大切さが理解できた」や「機械浴槽が気持ち良くて、実技演習が楽しい」など好意的な意見が多かった。	多くの学生が学内における介護実習室での実技演習に興味を示してくれているので、今後も実技体験の機会を多くして、技術の向上を図るとともに、学生の学習意欲を高める工夫をしたいと考えている。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力して下さい 授業の不十分な点が明確になった 授業改善への意識が高まった 授業の具体的改善に取り組む
生活支援技術F (排泄)	吉井珠代	授業評価は、学内平均を上回る4.46だった。学生の理解を促すために実技演習を多くして、常に学生の興味を引き出す工夫を心がけたのであるが、排泄の実技演習は、学生自身に抵抗があって、繰り返し練習するような熱心な学生が少なく、回答率が72%にとどまった。ただし、回答した学生の自己評価は4.54と高い評価であった。	今年は、男子学生もいて、羞恥心を感じさせないように演習班を組み替えたりしたが、「いろいろな技術が身についた」と好意的な記述が多かった。ただし、「介護実習でうまくできる自信がない」などの意見もあり、正直、排泄援助は難しいテーマであると思う。	学生は、介護実習室での実技演習に興味を示してはいるが、排泄援助の技術に関してはそうとは言えず、約3割の学生がアンケート回答を拒否していることから読み取れる。次年度は、全員の回答を求めるよう説明したい。	0 1 1
生活支援技術I (終末期)	植北康嗣	すべての項目で学内平均を上回る高い評価を受けた。前年度に比べ、学生の取り組み姿勢も向上し、授業の満足度も上がっている。	最終実習で見て来ていたので、終末期ケアの必要性や取り組みがよくわかったと授業の時期も良かったと記述ある。終末期ケアを自分がすることに不安を感じているが、少し和らいだという意見もあった。	授業の進行や内容については、現状が維持・向上できるように今後も研鑽を続けたい。	1 1 1
生活支援技術J (介護予防とレクリエーション)	植北康嗣	すべての項目について高い評価を得ることができた。演習機会も多いことから、学生自身の取り組み姿勢で私語や居眠りしたという学生も少なかった。	参加型の授業構成のため、ココの学生が主体的に取り組めたという意見が多かった。また、レクリエーション支援が単なる遊びでなく、奥深く意味があることを知ったという意見もあった。	学生自身が楽しみながら授業に参加できていたため、クラスの雰囲気や連携も履かれていたと感じた。授業の進行や内容については、現状が維持・向上できるように今後も研鑽を続けたい。	1 1 1
介護過程Ⅱ	吉井珠代	私自身、当該科目は初めての担当であるが、全般的に学内平均を上回る評価を得た。当該授業は、具体的な個別援助計画立案できるスキルを身につけさせるための知識を伝える講義科目ではあるが、学生の理解を促すためには、介護計画立案の演習を取り入れる必要を感じ、学生の興味を引き出す工夫を心がけたことの評価ではないかと思う。	当該授業は1年前期の「介護過程Ⅰ」に連動しており、前期で修得した知識を活用する必要があるが、自由筆記では「後期になって初めて前期での説明や手法が理解できた」、「みんなで考えた介護計画・ケアプランがよくわかった」との感想を得ることができた。	介護過程という科目は、介護福祉士としての専門性が発揮できる理論(スキル)といわれるが、科学的な根拠を説明するには、あらゆる知識の統合が必要で、理解しにくい科目である。前期の授業での学生の反応を受け止め、講義だけでは説明が十分に届かないことを知り一部演習を取り入れたことにより、学生の満足度(理解度)が向上したと思う。この方法を次年度も続けたい。	1 1 1
介護過程Ⅴ	吉井珠代	学内平均を上回る、高い総合評価(私自身の過去最高点4.69)を得ることができた。同科目の昨年の評価が低かったため、特に、初回授業の説明内容を工夫して、きめ細かく例を示したことが要因ではないかと考える。当該授業で学生は、自分の最終段階の介護実習の成果を「介護事例研究」の形で論文作成していくが、作成段階での個別指導に力を入れたことで、完成に近づく期待感と、完成後の研究成果発表会を体験したこと、より強く達成感を味わえたようである。	自由記述は、当日の出席者全員から回収できた。それによると、介護事例研究:論文作成と事例発表そのものが「難しく、大変だったが達成感があった」や「自分がこれだけの文章が書けると思わなかったが、完成して自信ができた」、「論文作成することで実習を振り返ることができ、勉強になり満足している」の感想もあった。	熱心に取り組む学生が多く、良好な態度であったことから、今年の記入見本や初回授業の説明は受講者に伝わったと考える。	1 1 1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について	2. 学生の自由記述の内容について	3. 1と2の結果より今後の改善点について	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	(自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい。)	(アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
介護総合演習Ⅱ	植北康嗣	すべての項目について高い評価を得ることができた。学生自身の取り組み姿勢についても私語や居眠りしたという学生も少なかった。	実習報告会を通じて、他の学生の考えや他施設の様子が理解できてよかったとの数名の記述があった。	授業の進行や内容については、さらに実習への不安軽減と目標の明確化を大切にして、現状が維持・向上できるように今後も研鑽を続けたい。	1	1	1
介護総合演習Ⅳ	植北康嗣	すべての項目について比較的高い評価を得ることができた。学生自身の取り組み姿勢についても私語や居眠りしたという学生も少なかった。ただ、学生への注意や指導については全体で見るとやや低く、適度な指導注意をしてほしいと思わせる数値でした。	実習先の介護技術を振り返る演習時間が良かったという記述が複数あった。実習施設によっては実践機会が不足しており、介護技術に不安を感じている学生が多いようだ。	授業の進行や内容については、現状が維持・向上できるように今後も研鑽を続けたい。また、引き続き介護の実技を振り返る機会を持てるようにしたい。	1	1	1
認知症の理解Ⅰ	岡田 律	学生からは解りやすかったと評価をもらったが、今後授業内容に視聴覚教材など多くて工夫する必要を感じた。	毎回の小テストが認知症について理解できたという意見が多かった。	授業内容は理解しやすかったようだが、板書や視聴覚教材を増やして、より内容がわかりやすい様工夫していきたい。	1	1	1
障害の理解Ⅱ	石川 肇	Ⅱ類のA)、B)、C)において高い評価をしてくれている。総合評価で高い得点ではあったが他の教科と比較すると若干点数が低くなっているため、その原因をこれから考えたい	内容的には難しかったが丁寧に説明してくれたので理解が出来たと言う意見があった一方、板書の量が多い、字が読みにくいと言う指摘もあった。	板書の量や書字の汚さなどが総合評価を低くしている原因の一つかと思われるので、資料の配布や適切なテキストの活用を心がけたい	1	1	1
こころからのしくみD(入浴・清潔)	吉井珠代	全般的に学内平均を上回る結果がでた。当該科目は医学知識や、看護知識など覚えなければならない専門知識が多く、私自身、沢山のことをわかりやすく伝えようと熱が入る科目である。学生も、その手ごたえを感じてくれているようで、高い評価につながったと考える。	「ビデオがわかりやすくて良い」、「医学知識は、自分の健康にも役立つので、一所懸命勉強した」と「説明がわかりやすく参考になる」、「新しいことを覚えるのは大変だが、知識が増えて嬉しい」、「小テストが良かった」など、好意的な意見が多かった。	「総合評価」が4.29と高かった。一昨までは、もう少し低い評価点だったが、昨年は授業内容を精査して、伝える内容を少なく・確実に教える方法に変化させた。また、小テストで理解度を確認させたので、高い評価が得られるようになったと考える。	1	1	1
医療事務総論	倉戸啓子	概ね4.5の評価が多いが、教材の工夫などで3の評価もありました。	難しくわかりにくかった。難しかったが、やっていくうちに理解できるようになってうれしかった。わかりやすく説明してもらったのでよかったという感想がありました。	次年度の担当はありません	0	0	0
在宅保育	真下摩里	授業をいろいろ工夫したつもりだったが、学生の意欲があまり感じられず評価も前年度に比べると全体的に下回っていた。回答数が多いにも少ないので疑問に思う。全体の学生の意見を聞きたい。	この授業への関心は高まっているように思う。聞き覚えのない言葉や知らないことを丁寧に教えてもらい、理解が深まったという評価も数多くあるが、板書が追いつかないや進め方が早いという意見もあった。	DVDの視聴を取り入れることで、より理解を深めているようなので、今後も取り入れたい。また、遊びの実技も評価が高いので引き続き導入しようと思う。板書の書き方や進め方は少し工夫したいと思う。	1	1	1

2013 年度前期「授業についてのアンケート」実施要領

2011 年度前期から新しい方式での授業についてのアンケート調査を実施しております。実施に際しましては、下記の手順に従ってご進行下さいますようお願い申し上げます。従来のマークシート方式は廃止し、主に携帯電話を利用し補足的にパソコンを使用してのアンケート実施となります。実施時間の目安は 15 分です。

授業コードの確認

封筒の担当科目の授業コードをご確認下さい。同じ科目であっても、曜日と時限でコードが異なる場合があります。ご注意下さい。

授業コードの告知

正確を期するため授業コードを板書して下さい。(コードを間違えて告知した場合は、正しいコードで再実施し、コード入力ミスがあった旨を事務室までお申し出下さい。)

アンケートの実施

携帯電話を使用する場合

学生に携帯電話を用意させ、すでにブックマークしてある「授業についてのアンケート」のページを開かせ回答させて下さい。

学生からの質問への対応

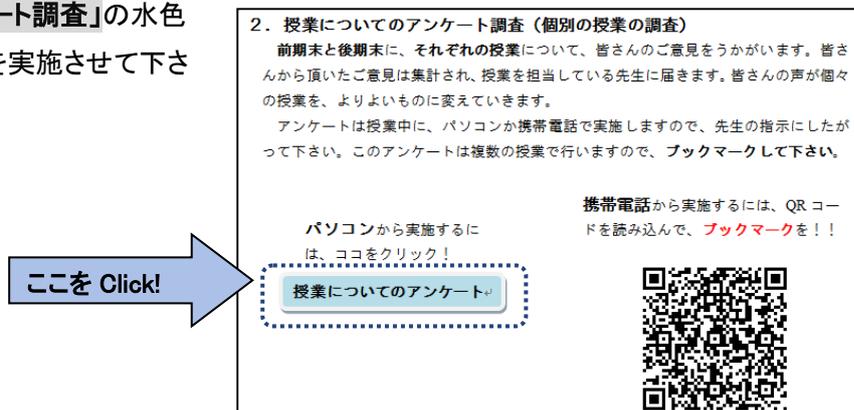
- 「ブックマークを消してしまった」
 - 「所定の自由記述用紙」(後述)に印字しています QR コードを読み取らせて下さい。
- 「携帯の電池が切れた」
 - 友だちの携帯を借りるようご指示下さい。
- 「ネット接続できない携帯なので、毎回は友だちに借りることができない」
 - 短大の学内リンクのページから FD 委員会のページに行き、授業についてのアンケートを実施するようご指示下さい。授業コードは、UNIPA の「時間割」のページなどから確認ができることも併せてお伝え下さい。
- 「授業コードを間違えて送信した」
 - 正しいコードで再度回答させて下さい。

パソコンを使用して実施する場合（パソコン教室を使用する授業）

- ① 短期大学の「学内リンクのページ」から「FD 委員会」をクリックして下さい。



- ② 2つめの「授業についてのアンケート調査」の水色のボタンをクリックしてアンケートを実施して下さい。



※1つめの「入学時動機調査」、3つめの「授業についての満足度調査」は今回対象外ですのでお間違いないようお願い致します。

学生からの質問への対応

- ◇ 「授業コードを間違えて送信した」
 - 正しいコードで再度回答させて下さい。

自由記述式アンケートの実施

「所定の自由記述用紙」を学生に配布し、実施ください。下記のように、黒板やホワイトボード等に、学生に尋ねたいことを記載して頂いても結構です。

(例)

- 「授業で分かりにくかった部分は？」、「課題の内容と量は適切だったか？」
- 「学生の私語への注意は適切だったか？」、「興味をもった授業内容は？」

学生からのコメントはお持ち帰り頂き、授業改善に活用して下さい。

※ 後日「自己点検報告書」においてこの自由記述の内容についてもコメントを頂きます。

自己点検報告書の提出

後日、アンケートの集計結果をお届けします。このアンケート集計結果と自由記述式アンケートの内容を整理し、授業改善に活用頂くとともに、自己点検報告書として FD 委員会にご提出頂きます。

なお、自己点検報告書は、FD 委員会や学科で相互に検討を加える資料として使用する場合があります。またインターネット等で公開し、閲覧できるようにしております。

「教員による自己点検報告書」－学生による授業アンケート調査結果を受けて－

ファイル名は「年度/〇期/担当者名」で保存して下さい。例:「2013前期四條花子」

※データが紛失した場合に備えてバックアップをお願いいたします。

※ワークシートは複数作らず、このシートにのみ記載して下さい。シート名を含め、シートの体裁を変えない下さい。但し、行が足りない場合は下に追加して下さい。

例

※ご担当科目の自己点検報告をこの行より下にご入力下さい

年度	前期・後期	授業コード	科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。前年度に同一科目担当の場合は、前年度の評価結果との比較についても言及して下さい。)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてはなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい。)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力して下さい		
								授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
2013	前期	2200000	授業評価	四條花子	学生からは予想以上により評価を頂いた。しかし授業内容の理解が学内平均を下回っており…	授業の進め方が早く、板書が追いつかないという意見が少数あった。	授業の理解度が悪いと、内容を基礎的なものに変更し、理解度アップに努める…	1	1	1
2013	前期									
2013	前期									
2013	前期									

授業評価報告書 2013

—よりよい授業への改善を目指して—

©2014 年 9 月発行

編集 四條畷学園短期大学 FD 委員会
FD 委員長 奥田 純
FD 委員 石川 肇 鍛冶谷 静 北村瑞穂

発行 四條畷学園短期大学
〒574-0001
大阪府大東市学園町 6-45
TEL : 072-876-1321